

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
英作文法初等用	竹中利一	・五〇	〇	京極書店	赤坂
高等英作文	伊坂辰次郎	・一〇〇	〇	日英社	神田
系統的分類・和文英譯問題集	戸島俊三	・五〇	〇	中央印刷出版	本所
英作文講話	堀口香洋	・一〇〇	〇	弘道閣	神田
受驗研究・上級生の英文作文の要項精解・受驗生の英文作文の要項精解	法邑清三 外二名	・二〇〇	〇	泰文館	同
高專入試・和文英譯の研究	鈴木芳松	・二〇〇	〇	日英社	同
根柢和英問題集	北山太平	・二〇〇	〇	有朋堂	同
和文英譯基礎問題集	佐川春水	・二〇〇	〇	尙文堂	同
高等學校類別・和文英譯問題新解釋	神崎保太郎	・三〇〇	〇	好文堂	同
詳解新和文英譯法	三浦太郎	・八五	〇	泰文堂	同
誤譯訂正式・和文英譯の研究	長澤英一郎	・二〇〇	〇	昇龍堂	同
Concise Commercial School Composition 卷一・二・三	加賀谷林之助	・六〇	〇	三省堂	同
New Star English Composition 卷一・二・三	阿久津謙二	各	〇	興文社	日本橋
New English Composition Senior course	佐川春水	各	〇	帝國書院	神田
同	同	各	〇	同	同
同 Junior course	同	各	〇	同	同
Standard Commercial School Composition 卷一・二・三	上條辰藏	各	〇	帝國書院	神田
New School Composition 卷一・二・三	武信由太郎	各	〇	開成館	小石川
ホーンビ英文練習帖第二集	岡田實麿	・一〇〇	△	同	同
二年生の家庭英作文	同	・一〇〇	△	開拓社	神田
新初等アート・オヴ・イングリッシュ・コンポジション詳解	同	各	〇	青々書院	同
ボジション	同	各	〇	學生の友社	小石川
青木氏英文法作文	竹内清海	・三〇	〇	修文館	神田
The Dawn English Composition	鈴木謙吉	・三〇	〇	敵文館	同
Fundamental Exercises in English Composition 卷一・二・三	鈴木得二	各	〇	盛林堂	日本橋
Drill-Books of English Composition Advanced Steps	津田芳雄	各	〇	三省堂	神田
The New Era School Composition	上田八一	各	〇	六盟館	日本橋

(才) 英文法

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
Further Steps in English Composition	長澤英一郎	・一〇〇	〇	中等教科書出版	神田
New Higher English Composition	松下正壽	・八〇	〇	大洞書房	澁谷
New Method English Composition	吉本正秋	各	〇	修文館	神田
Beginners' New Choice Composition	小日向定次郎	各	〇	英進社	同
New Introduction to the Art of English Composition 卷一・二・三	村井知至	各	〇	泰文堂	同
The New Art of English Composition 卷一・二・三	今井信之	各	〇	同	同
New Century English Composition	石井眞峰	・八〇	〇	興文社	日本橋
高等英作文	同	・五〇	〇	同	同
高等英文法	高谷實太郎	・三〇〇	〇	泰文社	牛込
初等英文法概論	久野朔郎	・一〇〇	〇	開隆堂	同
女學校用小英文法教科書	山田巖	・六〇	〇	北星堂	同
Girls' English Grammar	山田巖	・四〇	〇	北星堂	神田
The Mercury English Grammar Girls' Floral	深澤由次郎	・六〇	〇	帝國書院	同
A Complete English Grammar	佐川春水	・六〇	〇	同	同
A New Concise School Grammar	市河三喜	・六〇	〇	三省堂	神田
Apractical English Grammar	長澤英一郎	・五〇	〇	開成館	小石川
A Brief English Grammar	神保格	・六〇	〇	興文社	日本橋
A Short English Grammar	石田憲次	・六〇	〇	泰文堂	神田
New Essence Grammar	福崎和一郎	・六〇	〇	開成館	小石川
A Primer of English Grammar	河口眞一	・四〇	〇	有朋堂	神田
English Grammar	山田巖	・六〇	〇	北星堂	同
New Standard Grammar For Higher Classes	武信由太郎	・四〇	〇	開成館	小石川
Revised Exercises in English Grammar	石川哲一	・三〇	〇	上田泰文堂	澁谷
Okada's New English Grammar	岡田實麿	・六〇	〇	開成社	神田
Saito's Practical English Grammar	齋藤秀三郎	・五〇	〇	正則英語學校	同
New Standard Grammar	武信由太郎	・四〇	〇	開成館	小石川
Girls' English Grammar	山田巖	・四〇	〇	北星堂	神田

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	所住
Kanda's New Standard Grammar Herald School Grammar	神田 乃武	卷一 六〇〇	三	三省堂	神田
Otsuka's English Grammar	片山 寛	六〇〇	三	泰文堂	同
片山氏ヘラルド・スクールのグラマ詳細解	大塚 高信	六〇〇	三	同	同
Saito's Monograph on Preposition	齋藤秀三郎	五〇〇	三	東京成功社	神田
		五〇〇	三	正則英語學校	神田

〔四〕獨逸語

(ア)獨逸語學習・研究

最新獨逸語講座 第六卷	權田保之助	二〇〇	有	朋堂	神田
増補・初等獨逸語 獨逸語學研究會	井汲 卓一	一五〇	二	武田芳進堂	牛込
プロレタリア語學叢書 獨逸語篇	三浦吉兵衛	一五〇	三	南	北書院
高等獨逸語講座 第三卷	早川 文哉	八〇〇	一	南	山
袖珍獨逸文典	澤井 要一	一五〇	二	南	山
獨和動詞辭典					

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	所住
獨和・和獨動詞辭典	澤井 要一	二五〇	四	三省堂	神田
近代獨逸文典	六笠 武生	二五〇	三	賢文館	神田
新獨逸語文法教程	關口 存男	三〇〇	三	三省堂	同
獨逸文法讀本	佐藤 通次	六〇〇	七	江	堂
最新獨逸語文法	角 信雄	六〇〇	二	大學書林	同
現代獨逸文典	早川 文哉	一五〇	八	南山	堂
階梯獨逸文典	佐藤 通次	五〇〇	四	南	江
雙用獨逸文典	松岡 敏幸	二〇〇	二	南	江
獨逸語論文作法研究 諸種獨逸文構成法	榎本恒太郎	一八〇	二	太	陽
詳解獨逸文章論	田中 康一	二〇〇	二	高	陽
増補・獨逸文章論	齋藤 基	一五〇	二	竹	中
獨逸語 征伐	多田 榮造	一八〇	五	大	倉
繪單語應用 獨逸語三十日	桃井 鶴夫	一五〇	三	ア	ル
初等獨逸語讀本	島田 昌三	一〇〇	四	金	原
獨逸語研究 双書配語法と複文章の新研究	橋本清之助	一七〇	四	南	陽
獨文教學本體系	駒谷 麟	一〇〇	三	南	陽

(イ)獨文讀物

書名	著譯者	定價	頁形數體	發行所	所住
工學獨逸語解釋研究	坪井 道三	三〇〇	三	太	陽
獨逸醫文の書き方	磯部 幸一	一五〇	一	大	學
Eichbaum Lesebuch	堀田 正次	一〇〇	〇	日	獨
獨文ゲーテと現代	高橋 禎二	五〇〇	〇	大	學
獨文シュニツツレルとワツセルマン	紅露 文平	五〇〇	〇	同	同
獨文驚異と動物	西郷 啓造	一〇〇	一	同	同
獨文修養論文第二編	小笠原 稔	一五〇	〇	日	獨
Über das Wesen und den Ursprung des Menschen	兼子 尙積	〇	一	三	島
獨文・人間の本质及根源	ケルプフヘン	九〇〇	〇	金	門
Deutscher Unterricht	青山 郊汀	二〇〇	〇	二	南
シユテフワン・ゲオルゲ	富士田 英三	八〇〇	〇	二	南
獨文ステルベン	吉田 豊吉	五〇〇	〇	三	大
獨文フェルザルツ	成瀬 清	四〇〇	〇	三	大
獨文戦争話柄					
獨文ワンステルブリヒカイト					

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
支那古器圖攷兵器篇	原田 淑人	七・五〇	△	東京文化學院	本郷
金文餘釋之餘	郭沫若	二・五〇	△	文求堂	同
民俗學入門	高橋 實	三・〇〇	一四〇	共生閣	同
民族年輪文化誌論	後藤 興善	二・〇〇	一三〇	郷土研究社	小石川
民族問題教程	下澤 瑞世	八・〇〇	二四七	輝文堂	同
墓碑史蹟研究第九卷	磯ヶ谷紫江	〇	〇	後苑社	本郷
日本傳説研究第五卷	藤澤 衛彦	二・五〇	〇	六文館	同
(二) 世界史					
(ア) 西洋史一般					
西洋史研究第一輯	齊藤 茂三	七・〇〇	一七〇	東北帝國大學	仙臺
西洋史研究第二輯	齊藤 茂三	七・〇〇	一五〇	同	同
西洋歴史講義	齋藤 茂三	三・〇〇	〇	文藝春秋社	日本橋
世界小文化史	ウエーブルス 茂助	二・〇〇	〇	白楊社	同
西洋史精講	高布 慶雄	二・三〇	〇	三省堂	同
趣味の世界歴史	笹子 修三	三・四〇	〇	及會	同
新西洋史讀本	歴史研究会	一・五〇	〇	目黒書店	同
埃及王統譜	丸川 仁夫	一・五〇	〇	新生堂	同
希臘文化史	德政 金吾	二・〇〇	〇	カムト社	大阪
羅馬文化史	同	五・〇〇	〇	刀江書院	同
日佛文化新編	日佛會館	一・〇〇	〇	同	同
カビタン博士講演集	平竹 傳三	三・〇〇	〇	同	同
露西亞考古	坂口 昂	三・五〇	〇	岩波書店	同
獨逸史學史	山中 謙	二・八〇	〇	三省堂	同
列國史叢書獨逸史	廣瀬 哲士	三・五〇	〇	厚生閣	同
フランス全史	川原 貞男	〇	〇	同	同
世界大戰概史附圖	ポロフスキー 廣島 定吉	一・五〇	〇	白楊社	同
マルクス主義世界史	藤澤 基一	二・五〇	〇	同	同

世界革命史 落合 二郎 二・〇〇 三九

マルクス主義世界史 山田 幸夫 一・五〇 〇三三

入・初期ブルジョア革命史

(三) 日本史

(ア) 日本史研究・雜説

更訂・國史の研究 各説・上 黑板 勝美 三・五〇 〇三〇 岩波書店

改訂版 昭和三十六年の國史學界 橋本 辰彦 二・八〇 〇三三 友社

日本母系時代の研究 渡部 義通 一・三〇 〇一八 白楊社

古代文化研究第一輯 内藤 藤一郎 七・〇〇 〇七二 古代文化研究會

日本文化史序説 西田直二郎 五・〇〇 〇六五 改造社

概観日本文化史 藤崎 俊茂 二・八〇 〇三〇 弘道館

川合教授還曆記念論文集分册史學論文集 平泉 澄一 一・〇〇 〇三六 慶大文學部研究室

國史學の骨髄 下村 宏 五・五〇 〇二七 朝日新聞社

日本民族の將來 德富猪一郎 二・〇〇 〇四〇 民友社

史境 遍 歴 辻善之助 四・〇〇 〇二五 金港堂

日本人の博愛 辻善之助 四・〇〇 〇二五 金港堂

(イ) 東洋史一般

東洋史稿 内藤虎次郎 七・〇〇

東洋史レクチュア 第五册 矢吹 慶輝 一・五〇 〇

燉煌出土古寫佛典に就て 佐久間貞次郎 二・八〇 〇四五 立命館

支那風俗春秋 翁 仲 一・二〇 〇一五 同

支那革命外史 佐伯 好郎 六・五〇 〇四九 成瀨

元主忽必烈が歐洲に派遣したる使節の旅行誌 郭沫若 七・五〇 〇 文求堂

金文叢攷 全四册 岡崎 文夫 五・〇〇 〇七九 弘文堂

魏晉南北朝通史 木戸忠太郎 〇〇 〇八二 丙午出版

達磨と其諸相 白庫 庫吉 〇〇 〇三〇 新求會

東洋史上に於ける滿蒙民族獨立の位置 北川 鹿藏 一・〇〇 〇一八 日本ツラン協

滿洲地之略沿革記 滿洲地之略沿革記 滿洲地之略沿革記 滿洲地之略沿革記 滿洲地之略沿革記

(歴史・地理) 世界史・日本史

一八一

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
校注・梅牟禮實錄	郷土史料研究會	一・五〇	〇	睦美書房	大分	改訂増補・蟹江史譚		一・五〇	〇	歴史研究所	愛知
秋田五十年史	安藤 和風	一・五〇	〇	秋田郷土會	秋田	異本對照・大塔物語		一・五〇	〇	信濃郷土研究會	長野
増補・豊後傳説集		一・五〇	〇	郷土史蹟傳説研究會	大分	兵庫縣郷土資料一		一・五〇	〇	岡久穀三郎	神戸
相馬傳説黄金の山	齋藤 笹舟	一・〇〇	〇	相馬郷土史研究會	福島	備後叢書第八卷	馬屋原呂平	一・〇〇	〇	備後郷土史會	広島
大館叢書第一卷		一・〇〇	〇	大館史談會	秋田	吉備文庫第六輯	重帶	一・〇〇	〇	山陽新報社	岡山
江戸淺草	磯ヶ谷孝治	一・〇〇	〇	大館史談會	秋田	増補吉備物語	在田軒道貞	一・〇〇	〇	尾道市教育會	尾道
城輪柵	上田 三平	一・〇〇	〇	城輪柵保存會	山形	尾道郷土史論		一・〇〇	〇	尾道市教育會	尾道
補修・會津白虎隊	宗川 虎次	一・〇〇	〇	會津弔靈義會	福島	阿蘇の歴史	平野 流香	一・〇〇	〇	合志芳太郎	熊本
西大寺名所古蹟と會津の由來	桂 又三郎	一・〇〇	〇	文獻書房	岡山	蕃郷風物記	小泉 鐵三	一・〇〇	〇	建設社	豊島
熊本市史	堀江 保藏	一・〇〇	〇	熊本市役所	熊本	甲州街道の今昔	石井 正義	一・〇〇	〇	多摩郷土史研究會	東京
明治大正大阪市史概要	松好 貞夫	一・〇〇	〇	大阪市役所	大阪	鹿沼の碑文附鐘銘	本田富世彦	一・〇〇	〇	小太刀源吉	栃木
同 大阪商法會議所手形取引再興建議	佐々木 孝一郎	一・〇〇	〇	同	同	忠臣足助重範と其一族	愛知縣教育會	一・〇〇	〇	京都縱橫公論社	京都
西目村の話	大橋 良一	一・〇〇	〇	西目村役場	秋田	北駿史考		一・〇〇	〇	愛知縣教育會	愛知
郷土愛		一・〇〇	〇	郷土史蹟宣揚會	京都	長崎の傳説と由來		一・〇〇	〇	池谷源吉	静岡
洛北洛西京都納涼史		一・〇〇	〇	京都史蹟宣揚會	京都	異本北野天神縁起		一・〇〇	〇	九州及九州人	長崎
		一・〇〇	〇	京都史蹟宣揚會	京都	廢藩置縣前後の莊内秘話	千葉彌一郎	一・〇〇	〇	審美書院	京橋

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住	書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
河内忠勤つばら	岩田 大中	一・五〇	〇	林 夫	大阪	しのぶ草	中山 五郎	一・五〇	〇	茨城縣教育會	茨城
天岩戸開・三才踊		一・五〇	〇	太古書院	富山	明治聖代佐渡略史	富山郷土研究會	一・五〇	〇	池田商店	新潟
橋の香・上巻		一・五〇	〇	橋の香社	大阪	越中舊事記		一・五〇	〇	中田書店	富山
宇治名蹟史	氏家榮太郎	一・五〇	〇	京都史蹟宣揚會	京都	富山郷土史研究資料	牛山 雪鞋	一・五〇	〇	古谷常藏	同
昔の金澤		一・五〇	〇	金澤文化協會	金澤	諏訪湖氾濫史		一・五〇	〇	牛山清五郎	松本
京都らしい名蹟史		一・五〇	〇	京都史蹟宣揚會	京都	浪越をどり		一・五〇	〇	藤原兵衛	長崎
播州小河地方の昔話	坂庭清一郎	一・五〇	〇	高田十郎	奈良	五島近古年代記		一・五〇	〇	萬華通信社	名古屋
明治の昔話		一・五〇	〇	坂庭清一郎	埼玉	飯田縁日史		一・五〇	〇	太田孝太郎	盛岡
志津川聞老談	中島吉太郎	一・五〇	〇	渡邊喜一郎	宮城	盛岡碑文集		一・五〇	〇	飯田史談會	長野
傳説の上州		一・五〇	〇	中島吉太郎氏遺稿刊行會	前橋	飯田縁日史		一・五〇	〇	關西時報社	尼崎
文化の小岩		一・五〇	〇	江戸川新報社	江戸	姫路藩略史		一・五〇	〇	辻本武太郎	八王
甘利山と鈴蘭の由來		一・五〇	〇	向山淺次郎	山梨	善右衛門儀作	桂 又三郎	一・五〇	〇	文獻書房	岡山
源太郎傳説		一・五〇	〇	盛 運 堂	大阪	岡山民俗叢書一岡山縣名木珍石傳説集	喜納 綠村	一・五〇	〇	琉球研究社	那覇
江戸の今昔寫真帖	歌川 廣重	一・五〇	〇	湯島寫真場	本郷	琉球歌物語		一・五〇	〇	櫻井寺	奈良
池上町史	池上町史編纂會	一・五〇	〇	大 林 閣	豊島	三勝半七寶錄		一・五〇	〇	人吉尋常高等學校	熊本
二宮先生遺跡案内	古屋 安定	一・五〇	〇	櫻井尋常高等學校	神奈川	相良七百年		一・五〇	〇	小 梅 原 三	千津
岩磐文化		一・五〇	〇	福島縣師範學校	福島	安濃津昔話		一・五〇	〇	梅 原 三	千津
郷土研究第二輯		一・五〇	〇	福島縣師範學校	福島	竹鼻城と三七松	青山 松任	一・五〇	〇	縦 観	庄原

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
岡山傳説集	池田白草子	・二五〇	〇〇	文獻書房 岡山	岡山
福岡の又左衛門傳説	赤松文二郎	・四〇〇	〇〇	後藤徹大分	大分
大分縣史蹟傳説	中津小幡紀念館	・七〇	〇〇	中津	中津
郡誌後材扇城遺聞	早龜岩治島根	・六〇	〇〇	早龜岩	島根
母里藩史	橋川佐一郎	・五〇〇	〇〇	橋川佐一郎	長崎
壹岐政情史	本田親典	・二〇〇	〇〇	本田親典	宮崎
高岡郷土史	抱正	・二〇〇	〇〇	抱正	大阪
大阪市を中心としたる日本史後篇	松本宗司	・三〇〇	〇〇	松本宗司	大阪
郷土の歴史	奥野慶治	・二〇〇	〇〇	奥野慶治	群馬
館林の話	小林尋常高等校	・二〇〇	〇〇	小林尋常高等校	群馬
新撰 莊内史	アサヒ印刷所	・二〇〇	〇〇	アサヒ印刷所	群馬
牧野原と小夜の中山輝く郷土史	北島勇一郎	・二〇〇	〇〇	北島勇一郎	群馬
松澤村史	松澤村役場	・二〇〇	〇〇	松澤村役場	世田谷
濃飛郷土史	清水金八	・二〇〇	〇〇	清水金八	世田谷
川越市沿革史概要	川越市役所	・二〇〇	〇〇	川越市役所	川越
郷土の史蹟傳説	小澤常高等校	・二〇〇	〇〇	小澤常高等校	滋賀
京都らしい時代祭史	猪坂直一	・七〇〇	〇〇	京都史蹟宣揚會	京都
眞田三代年表	林與一	・三〇〇	〇〇	生絲の國社	上田
崇徳院と讃岐	林與一	・二〇〇	〇〇	東文堂	香川
國史郷土史對照表	林與一	・二〇〇	〇〇	東文堂	香川
平野村誌上・下卷	平野村役場	・二〇〇	〇〇	平野村役場	長野
大井町史	大井町役場	・二〇〇	〇〇	大井町役場	品川
静岡市史餘録	拓植清	・二〇〇	〇〇	拓植清	静岡
三河島町郷土史	入本英太郎	・二〇〇	〇〇	入本英太郎	荒川
徳島市郷土史論	島田泉山	・二〇〇	〇〇	泉山會	徳島
大津町志	大津町	・二〇〇	〇〇	河合角太郎	大阪
續尾北郷土資料寫真集	郷土趣味讀本	・二〇〇	〇〇	小牧中學校郷土室	愛知
郷土趣味讀本	宇佐美辰治	・二〇〇	〇〇	宇佐美辰治	新潟
深田石佛	眞名長者傳説	・二〇〇	〇〇	宇佐美辰治	大分
岩手縣金石志	敬討緣起	・二〇〇	〇〇	敬討緣起	盛岡
攝州崇禪寺馬場	郷土史年表	・二〇〇	〇〇	郷土史年表	盛岡

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
福岡縣郷土史年表	三松莊一	・三〇〇	〇〇	文照堂	福岡
近世郷土年表	今村源四郎	・一〇〇	〇〇	飯田史談會	長野
皇國年表	倉富了一	・一〇〇	〇〇	倉富了一	久留米
國史對照	安藤次郎	・一〇〇	〇〇	安藤次郎	名古屋
和魯年表稿本	勸學園	・一〇〇	〇〇	勸學園	大阪
富山式國史年代表	富山正義	・二〇〇	〇〇	勸學園	大阪

(四) 人物傳

(ア) 日本人

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
大日本人物史	新田宗盛	・三〇〇	△	國際聯合通信社	總町
高山彦九郎先生墓前日記	宮本仲五	・一〇〇	〇〇	上毛郷土史研究會	前橋
佐久間象山	石井眞峯	・一〇〇	〇〇	岩波書店	神田
法然上人略傳	矢吹慶輝	・二〇〇	〇〇	教學週報社	芝
法然上人	佐伯定胤	・三〇〇	〇〇	岩波書店	神田
山陽先生遺光	古	・二〇〇	〇〇	今書院	同
學習文庫一 聖德皇太子	古	・二〇〇	〇〇	今書院	同
雲井龍雄遺骨 移葬に關して	徳富猪一郎	・一〇〇	〇〇	高木藤太郎	京都
人間山陽と史家山陽	澤田謙一	・一〇〇	〇〇	地踏社	小石川
北條時宗と日蓮	中村直勝	・一〇〇	〇〇	阿部野神社	大阪
北島親房	同	・一〇〇	〇〇	星野書店	京都
明恵上人臨終記	徳富猪一郎	・一〇〇	△	民友社	京都
日本科學の先覺 宇田川榕菴	吉川芳秋	・一〇〇	〇〇	C A 趣味社	名古屋
良寛と千代と蓮月	相馬御風	・一〇〇	〇〇	春秋社	日本
地上の人釋迦	小瀧淳	・一〇〇	〇〇	松堂	神田
大楠公と頼山陽	木崎好尙	・一〇〇	〇〇	新松堂	牛込
教育叢書一 日本女性之典型大楠公夫人	池田光政	・一〇〇	〇〇	史蹟名勝天然紀念物保存協會	大阪
池田光政公傳上下卷	渡邊幾治	・二〇〇	〇〇	早稻田大學出版部	牛込
文書より觀たる 大隈重信侯	徳富猪一郎	・一〇〇	〇〇	民友社	京都
苦學力行の 人國學の大成者	徳富猪一郎	・一〇〇	〇〇	民友社	京都
藤樹先生年譜	徳富猪一郎	・一〇〇	〇〇	藤樹頌徳會	荒川
岩倉具親公	貝島太市	・一〇〇	〇〇	貝島炭礦會社	下關
乃木大將を憶ふ	貝島太市	・一〇〇	〇〇	貝島炭礦會社	下關

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
福澤諭吉傳第四卷	石河 幹明	八〇〇	八〇〇	〇	岩波書店	神田
義人 群像	本山 荻舟	一八〇	五三	〇	四條書房	同
文書より觀たる 大隈重信侯	渡邊幾治郎	四八二	四八二	〇	故大隈侯國民會	牛込
帝國現代人物誌	松本 利勝	一五〇〇	四六	〇	敬慕會	牛込
歴代内閣大臣國人記	齋藤 貢	一三〇〇	三〇	〇	東亞出版協會	奈良
轉換日本の人物風景	齊藤 貢	一三〇〇	三〇	〇	東亞出版協會	奈良
大東京年誌附録	齋藤 貢	一三〇〇	三〇	〇	東亞出版協會	奈良
犬 養 毅 傳	鴉崎 鸞城	三八〇	五三	〇	誠文堂	神田
床次君八面觀	德富猪一郎	二〇〇	四	〇	近代社	神田
史實考證	妻木 忠太	二〇〇	五八	〇	有朋堂	神田
農村救濟之偉人	二宮翁と石川翁	三二〇	七六	〇	兒玉庄	秋田
名士の横顔第二編	岡田 純夫	二〇〇	三〇	〇	斯文書院	牛込
澁澤翁を語る	小原 正忠	一〇〇	三六	〇	帝國在郷軍人會	同
一戸 將軍	野口 英世	八〇	二七	〇	小林 榮	神田
非常時日本に 關する人々	國民新聞政	八〇	二七	〇	日東書院	神田

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
木堂 犬 養 毅	片山 景雄	三〇〇	七二	〇	日米評論社	米國
木堂先生寫眞傳	鷺尾 義直	一五〇	〇	〇	木堂雜誌社	本郷
後藤靜香功罪論	比留間力藏	一〇〇	一六	〇	香堂	中野
新聞王本山彦一傳	關 豊作	一〇〇	二六	〇	新聞解放社	京橋
謄寫版の發明家	堀井新治郎	一〇〇	三六	〇	日統社	芝
詩人河野鐵兜	内海 青潮	七〇	四	〇	龍吟社	赤坂
玉塚天保錢翁	松浦 天外	一〇〇	四三	〇	其編纂會	日本橋
滿鮮の郷土人	松浦 天外	一〇〇	四三	〇	其編纂會	日本橋
株界の第一人者	沼間敏朗	一〇〇	四二	〇	日統社	芝
阿波名家墓所記	松浦徳次郎	一〇〇	四二	〇	日統社	芝
岩崎俊彌傳	島田 信次	一〇〇	三九	〇	旭硝子會社	一徳島
下關町と人物	島田 信次	一〇〇	三九	〇	旭硝子會社	一徳島
田村正寛翁	新田 直藏	一〇〇	三九	〇	其編纂會	觀町
土佐人物誌談	重松 實男	一〇〇	三九	〇	其編纂會	觀町
續吉田松陰の研究	廣瀬 豊	二〇〇	三三	〇	高知縣教育會	高知
木口小平	長岡 常男	一〇〇	三三	〇	武藏野書院	小石川
千代尼の一生	中本 恕堂	一〇〇	三三	〇	木口小平傳記	同

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	所住
因伯立志偉人傳	岩田 勝市	・三〇	〇	〇	六 橫山書店鳥取	更訂東海道人物志
天 草 四 郎	村井 東仙	・三〇	〇	〇	六 光 明 社 札幌	工學博士高松豐吉傳
過海大師東征傳		・三〇	〇	〇	四 北川智繁奈良	上野偉人傳
栗原母子傳		・三〇	〇	〇	三 渡利亭 小石	莊田平五郎
藤井善助傳		・三〇	〇	〇	三 熊川千代喜麻布	田 中 次 郎
聖雄・押川方義	大塚 榮三	・三〇	〇	〇	三 押川先生文書 荏原	長尾 精一 傳
日比野雷風傳	日比野正明	・三〇	〇	〇	一 心 劍 會 王子	奮闘の人、 水原嘉兵衛小傳
一貫齋國友藤兵衛傳	有馬 成甫	・三〇	〇	〇	武藏野書院 小石	大吳市代表的 人物風景
紀南の人及事業		・三〇	〇	〇	三 二 日 報 社 和歌	藤津郡人物小誌
上野偉人傳第二輯		・三〇	〇	〇	六 金 谷 英 雄 群馬	池田經三郎傳
覺信尼公の御生涯		・三〇	〇	〇	大谷派宗務所 京都	大和古今孝子傳
佐久間眞一小傳	豊原 又男	・三〇	〇	〇	秀英會内故佐久間 君胸像建設事務所 牛込	關を破つて 盲人牧師自叙傳
澁谷嘉助翁	岡本作富郎	・三〇	〇	〇	東洋ビル、 澁谷金助傳記 麹町	キウリ夫人傳 科学界の女王
大坂金助傳		・三〇	〇	〇	編纂 矢内原方藤井 青森	改訂増補版 地湧の人・乞食桃水
藤井武君の面影		・三〇	〇	〇	武全集刊行會 大森	長岡教授の面影
跡見花溪女史傳	高橋 隆介	・三〇	〇	〇	東京出版社 本郷	逝ける井上中尉夫人

受 驗 必 勝 の 鍵 は 本 書 に あり

入學難の叫びは、師範校に於ては、競争の激しさをいふに足らぬ。その競争は、入學試験に於ては、筆記試験のみに止まらず、口試、面接、実地試験など、多岐にわたる。その競争に勝つためには、本書に於ての「受驗必勝の鍵」を握らねばならぬ。本書は、師範校入學の要諦を、簡明扼要に解説し、試験の傾向を分析し、解答のポイントを提示する。これこそ、受驗必勝の鍵である。

<p>一 師範部 綴り仕上げの要点</p> <p>菊判洋装三〇頁 定價一圓二十錢 送料金十二錢</p>	<p>一 師範部 二科仕上げの要点</p> <p>菊判洋装四〇頁 定價一圓二十錢 送料金十二錢</p>	<p>一 師範部 算術仕上げの要点</p> <p>菊判洋装三〇頁 定價一圓二十錢 送料金十二錢</p>	<p>一 師範部 讀方仕上げの要点</p> <p>菊判洋装三〇頁 定價一圓二十錢 送料金十二錢</p>
---	---	---	---

全 國 師 範 試 験 問 題 集

發行所 大坂府立岸和田高等女學校 大坂

發行所 大坂府立岸和田高等女學校 大坂

發行所 大坂府立岸和田高等女學校 大坂

書良の行發堂友文

大阪帝國大學講師 重森文彦先生著 四六判總布製五百七十頁 定價貳圓參拾錢送料大錢

最新知識 自動車寶典

我が國自動車界の權威重森先生が各種自動車の構造操縦法故障修繕其他全般の知識を最も簡單明瞭に誰にも直ぐ覚えらるる様長年の蘊蓄を傾けて著はされたもので全國自動車學校及工業學校方面の教科書に指定され獨習者無二の良書

大阪帝國大學講師 重森文彦先生著 四六判總布製六百五十頁 定價參圓五拾錢送料大錢

最新知識 自動車修繕工學

サービスマンの虎の巻! セールスマンの必携書! 各種自動車の修繕工具と設備及材料の知識 各種自動車の故障検査と調整及修繕の仕方

大阪帝國大學講師 重森文彦先生著 四六判總布製四百六十頁 定價參圓五拾錢送料大錢

最新知識 自動車實務要項

内容概略 營業の管理 車輛の構造及保全作業 車庫の構造及其設備 從業員に其の待遇及實例 自動車税及保險 交通事象の解決及其判例 交通整理と其施設 道路の

通俗植物 講演集 花シヤウブの話

著者は本邦植物分類學者として實に世界的の權威者である本書は花シヤウブに就て唯れにも判るやう通俗的に話された講演集であつて獨り植物研究家 園藝家に必要なるのみならず文學家も亦必讀すべきものである

東京帝國大學講師 牧野富太郎先生著 菊判並製 三十一頁 送料四錢

通俗植物 講演集 秋の七草の話

秋の七草は山上憶良が歌に詠んで以來千餘年の今日に至るまで人口に膾炙してあるものであるにも拘らず之を正しく解するもの詳しく知るものが少ない。この意味に於いて博士は該博なる知識と豊富なる經驗とに基いて趣味深き良書

大阪商科大學教授 虎尾正助著 菊判總布函入 二百三十頁 定價參圓貳拾錢 送料十四錢

英實踐商業通信

著者は英語商業通信文の權威者にして、實地上の經驗と豊富な知識を以つて實際業務上活用し得るやう執筆せられたるものに於いて通商貿易業者の日常缺くべからざる良參考書たるは勿論高等商業學校程度教科書として絶好の良書

法學士加茂正一先生著 菊判上製二百五十頁 定價貳圓五拾錢送料大錢

多クライターの知識と練習

著者が親しく手をとつて教へる如く巧妙に解説を加へ豊富な實例を掲げ如何に素人の方にも趣味深く興味を持つ様な練習方法に依り容易にタイプライターが自由に扱へるやう書かれた無二の良書で好評を得

法學士加茂正一先生著 菊判上製九十二頁 定價壹圓送料十二錢

英文多クライターの手引

英語を知らぬでも英文タイプライターが自由に扱へるやうに説明したのが本書である。何故? それはローマ字さへ知つて居れば直ぐ自由に取扱が分りタイピストにも容易にならる事が出る。獨習手引に好適の良書

大阪實業學校 植松尙男著 四六判上製 百二十頁 定價壹圓 送料六錢

邦速記術手ほどき

著者が大阪市立實業學校專修科に於て六ヶ年間速記術を教授した經驗に基き、最も判り易く、唯でも覚えられやうに書いた速記術獨習書である。練習例題として併句百數十句の遺傳に關する問答 胸腺の嘆き

最新法醫學叢話

(内容概略) 血液型の話 指紋の話 双胎兒の話 多胎妊娠の話 嬰兒殺し 處女性の鑑定 替玉事件 子争事件 人形への戀 骨及び遺留品に依る身許鑑定の一例 血液型の遺傳に關する問答 胸腺の嘆き

川柳久良 渡邊虹衣著 四六判 上製函入 五八〇頁 定價貳圓五拾錢 送料十四錢

川柳家庭行事

家庭に於ける年中の行事を叙するに川柳とその註釋を以てしたもので初代川柳家の撰になる誹風柳多留並に誹風柳多留拾遺に收められた句から求め現代に於て新しく制定され創始された行事には著者自作の句を以て充てよる

醫學博士 土肥衛先生著 四六判總布製 四百七十頁 特價壹圓九拾錢送料十八錢

圖解妊娠と育児のしるべ

産婆志望者は豫備知識として必續せよ。妊娠から出産育児と母として知らねばならぬ一切の心得が分り易く説明され、それら一見して直ぐ分る様に詳しい挿圖を百數十個も載せ一讀忽ち出産と育児の方法がわかる良書

廣 一一五

書良の行發堂友文

大阪帝國大學講師 重森文彦先生著 四六判總布製五百七十頁 定價貳圓參拾錢送料大錢

最新知識 自動車寶典

我が國自動車界の權威重森先生が各種自動車の構造操縦法故障修繕其他全般の知識を最も簡單明瞭に誰にも直ぐ覚えらるる様長年の蘊蓄を傾けて著はされたもので全國自動車學校及工業學校方面の教科書に指定され獨習者無二の良書

大阪帝國大學講師 重森文彦先生著 四六判總布製六百五十頁 定價參圓五拾錢送料大錢

最新知識 自動車修繕工學

サービスマンの虎の巻! セールスマンの必携書! 各種自動車の修繕工具と設備及材料の知識 各種自動車の故障検査と調整及修繕の仕方

大阪帝國大學講師 重森文彦先生著 四六判總布製四百六十頁 定價參圓五拾錢送料大錢

最新知識 自動車實務要項

内容概略 營業の管理 車輛の構造及保全作業 車庫の構造及其設備 從業員に其の待遇及實例 自動車税及保險 交通事象の解決及其判例 交通整理と其施設 道路の

通俗植物 講演集 花シヤウブの話

著者は本邦植物分類學者として實に世界的の權威者である本書は花シヤウブに就て唯れにも判るやう通俗的に話された講演集であつて獨り植物研究家 園藝家に必要なるのみならず文學家も亦必讀すべきものである

東京帝國大學講師 牧野富太郎先生著 菊判並製 三十一頁 送料四錢

通俗植物 講演集 秋の七草の話

秋の七草は山上憶良が歌に詠んで以來千餘年の今日に至るまで人口に膾炙してあるものであるにも拘らず之を正しく解するもの詳しく知るものが少ない。この意味に於いて博士は該博なる知識と豊富なる經驗とに基いて趣味深き良書

大阪商科大學教授 虎尾正助著 菊判總布函入 二百三十頁 定價參圓貳拾錢 送料十四錢

英實踐商業通信

著者は英語商業通信文の權威者にして、實地上の經驗と豊富な知識を以つて實際業務上活用し得るやう執筆せられたるものに於いて通商貿易業者の日常缺くべからざる良參考書たるは勿論高等商業學校程度教科書として絶好の良書

廣 一一五

書叢解詳生學の社版出本日

詳解幾何學	詳解代數學	詳解生理衛生學	詳解化學	詳解植物學	詳解動物學	詳解一般理科	詳解日本文典	詳解西洋歷史	詳解東洋歷史	詳解日本歷史	詳解世界地理	詳解日本地理
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六

詳解古事記	詳解方丈記	詳解十六夜日記	詳解樂山紀	詳解常遊記	詳解東山遊記	詳解玉草紙	詳解枕の草紙	詳解太平記	詳解源平盛衰記	詳解保元平治物語	詳解平家物語	詳解大鏡	詳解增鏡	詳解徒然草
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四

廣 一一七

二町保神表田神京東 八六五五二京東替振 **社版出本日** 二南堀長西區西阪大 二三一四三阪大替振

書叢生學もつとも易り分の社版出本日

古事記の解説	十六夜日記と方丈記	大鏡の解説	益軒十訓の解説	常山紀談の解説	東西遊記の解説	玉草紙の解説	花月草紙の解説	枕の草紙の解説	太平記の解説	保元平治物語の解説	平家物語の解説	增鏡の解説	徒然草の解説	國文の新解釋法
錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	圓一金價定
山縣辰蔵	晴山西松	更谷龜太郎	更谷龜太郎	晴山西松	伊藤與一	伊藤與一	西山熊夫	西山熊夫	畑中顯三	更谷南室	更谷南室	畑中顯三	松本一雄	著者
英作文の要領	三角法立體幾何學	平面幾何學	算術	代數	化學	植物學	動物學	西洋史	東洋史	日本地理	世界地理	日本地理	日本地理	書名
錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	錢十料送	圓一金價定

柴田隆著 分り易きもつとも 國文學叢書

分り易きもつとも 學生叢書

廣 一一六

二町保神表田神京東 八六五五二京東替振 **社版出本日** 二南堀長西區西阪大 二三一四三阪大替振

刊

新 受 驗 學 習 要 點 欄 目

新

- 日本史全
- 東洋史全
- 西洋史全
- 日本地理上
- 世界地理上
- 植物學
- 動物學
- 生理衛生學
- 礦物學
- 物理學上
- 化學上

飛 突 破 格 中 等 參 考 書 的 壓 卷 出 現 予

本 書 特 色

- 一、最新中等學校教授
- 一、要目に據り編纂せり
- 一、内容新豊富にし
- 一、値は頗る低廉なり
- 一、三六版なれば携帯
- 一、に至極便利なり
- 一、解説特に懇切なれ
- 一、記憶理解易し
- 一、試験問題の種類及
- 一、傾向を知るに便なり
- 一、索引丁寧なれば難
- 一、所を見出すに便なり
- 一、學習上努力と時間
- 一、との經濟なり
- 一、各科共最近高専の
- 一、試験問題を添付せり

定 價 各 書 圖

破 格

實 費 提 供

定 價 各 六 十 錢 送 料 各 六 錢

行 發 店 書 川 堂 五 四 八 東 通 橋 寺 堂 區 南 市 阪 大

三 體 千 字 文

藝 術 復 興 を 目 的 として
八 大 聖 書 の 力 筆
三 體 千 字 文 の 提 供

筆 者	書 名	冊 數	定 價	送 料
日下部 鳴鶴	三體千字文	半大 一冊	各一圓	八錢
玉木愛石	三體千字文	半大 一冊	六十錢	四錢
山口半峯	三體千字文	全半 一冊	九十錢	六錢
湯川裕密	三體千字文	全大 一冊	一圓	六錢
村田海石	三體千字文	全半 一冊	六十錢	六錢
巖谷一六	三體千字文	全大 二冊	一圓	八錢
長三州	三體千字文	全半 一冊	八十錢	六錢
小野鶯堂	三體千字文	全半 一冊	八十錢	六錢

惡 筆 は

一 生 の 大 損

博識有爲の秀才も惡筆なるが故に、人格を見下げられ、低能視せらる……

能 筆 は

無 形 の 資 産

よし平安の三筆たらすとも、能筆の士は、萬人の尊敬をうけ、人格を高潔化し、秀才の士たらしむ。

習 字 は

千 字 文 か ら

筆聖鳴鶴先生を甫め一流大家の千字文を提供す。好機を逸せず筆硯に親しまれよ。

廣 一 一 九

大 阪 南 區 堂 寺 三 町 三 三 五 振 替 大 阪 一 區 堂 寺 三 町 三 三 五 振 替 中 田 宋 榮 堂 東 京 東 區 神 田 四 丁 九 八 二 振 替 多 摩 市 一 町 八

文進堂の良書選抜

著者	書名	形態	定價	著者	書名	形態	定價
田中光彦	一年生の代數學	四六版	送料七〇六錢	若山牧水	和歌講話	四六版	送料一〇〇六錢
同	二年生の代數學	同	七〇六錢	熊谷八俣	池の坊生花の手引	菊版	送料一〇三〇六錢
同	一、二年生の幾何	同	八〇〇六錢	南浦仙舟	池の坊生花の挿し方	同	一〇三〇六錢
同	學生の代數學	同	八〇〇六錢	同	池の坊生花のをしえ	同	一〇三〇六錢
同	學生の幾何學	同	八〇〇六錢	小林鸞州	投入花と盛花	同	一〇三〇六錢
數學院長 山崎猛一	算術 重要問題 精解	同	二、三〇六錢	保田不談庵	投入盛花實現挿法	同	二、四〇六錢
同	算術 重要問題考へ方解き方	同	一、〇〇八錢	裏流宗家	茶の湯道しるべ	四六版	二、四〇六錢
小島和泉	特許商標登録の受け方	同	二、〇〇十錢	坂田智軒	煎茶法式	同	一、二〇六錢
文進堂 編輯部	特許、意匠、商標、新案法	同	一、五〇八錢	宮脇義臣	歌まなび	同	二、三〇六錢
金子燕園	歌に入る道	同	一、〇〇六錢	鈴木重胤	和歌うひまなび	同	二、五〇六錢

前田文進堂 大坂市南区橋東町新但目丁七堀横區南市阪大 (角辻ノ南詰東橋町新但)

山鳥吉五郎先生著

好評噴々重版成る

最新鑛物岩石學講義

菊版クロ
一ス
函入り美装
定價三・五〇
送料・二四

文檢受驗指針書

增補改訂

理科教育評

鑛物學、岩石學、地質學の含む良參考書の有否の照會に屢々接するが、その都度推奨すべき好參考書のなき爲その答に苦んでゐた。幸に本書の公刊に依つてこの憂は一掃された。されば斯學研究に多大の裨益を與へるであらう。文檢受驗者には最も好伴侶たると共に小學校の理科教授にも適切なる參考書である。斯界の權威者が蘊蓄を吐露せる絶好の參考書！著者積年の經驗と蘊蓄を傾け全卷悉く讀むべき文字。全編を鑛物學、岩石學、地質學に分ち講述すこぶる平易、趣味と科學と實用とを調和し、教職員諸氏には教材を一般研學の士には斯界の難解なる術語を詳述し鑛物を學ぶ者には勿論又、地理、物理、化學、農學の研究者にも必讀書たり。

發行所 京都二市通條小富路東入 杉本書店 株式會社 (大坂九七一七)

定評ある佛敎各宗聖典

浦上隆應校閱 長松俊恭編	望月信道編	來馬琢道編	浩々洞編輯	柴田一英共編 山田一英共編	稲田海素共編 淺井要麟共編	本多日生編著	佐々木月樵編
眞言宗聖典	淨土宗聖典	禪宗聖典	眞宗聖典	日蓮宗聖典	日蓮聖人全集	改訂聖語錄	浩々洞編 佛敎辭典
一、六〇〇頁	一、四八〇頁	一、二〇〇頁	一、三〇〇頁	一、二〇〇頁	三、二〇〇頁	五〇〇頁	一、四〇〇頁
特製 定價金三圓八十錢 送料金二圓七錢	特製 定價金三圓七十錢 送料金二圓七錢	特製 定價金三圓五十錢 送料金二圓七錢	特製 定價金三圓五十錢 送料金二圓七錢	特製 定價金三圓六十錢 送料金二圓七錢	上製 定價金二圓八十錢 送料金一圓廿錢	上製 定價金二圓一錢 送料金廿一錢	特製 定價金三圓五十錢 送料金二圓七錢

廣 一三三

東京市中央区東洞院三條上 平樂寺書店發刊 振替口座大坂 番五六一〇

京都帝國大學教授 作田莊一	京都帝國大學教授 作田莊一	廣島文理科大學教授 長田新	京都市立堀川高等女學校校長 野田一郎	圓能齋宗匠 淡々齋宗匠 西象庵著	小酒井儀三	小酒井儀三	小酒井儀三
商法要論	經濟綱要	改訂ベルグソンの哲學	ベスタロッチーの教育思想	隨見隨錄 歐米巡遊	茶道銀杏之木蔭	最新參考國史	最新參考東洋史
洋函菊布入判 460	洋函菊布入判 338	洋函四六判布 175	洋函四六判布 152	洋函四六判布 404	和函菊布入判 230	洋函菊布入判 463	洋函菊布入判 392
三、七〇	二、五〇	一、五〇	一、五〇	二、〇〇	三、五〇	二、〇〇	一、八〇
一般に商法の梗概を知らんと欲する人の爲に書いたものである。	經濟生活に於ける國民及び國家の地位を適當に取扱ひたる國民經濟學の地參考書なり。	ベルグソンの直觀法について論及せる名論「形而上學序論」と「變化の知識」とを系統的に翻譯したる名著なり。	ベスタロッチー百年記念祭に際してその思想を紋細に検討敘述したるものなり。	著者獨特の麗筆になる興味本位の巡遊記にて各所に自提の寫眞を豊富に收録せり。	本書は茶道の形式的方面の説明を徹し、茶道の精神を説き、更に之を徹底せしめるためにその傳説を詳述せるものにして、茶道研究者必讀の良書なり。	中等學校參考書高等專門學校受驗用として編纂せしものなり。	中等學校參考書高等專門學校受驗用として編纂せしものなり。

廣 一三三

東京市都京 區京上 堂港金澤永 電話 番六四三二 番五三二

神聖館 阿部熹著作 **四柱推命大奧極秘傳** 五和裝 定價金六圓也 送料金十二錢

神聖館 阿部熹著作 **四柱推命極意秘密皆傳** 三和裝 定價金八圓也 送料金二十二錢

神聖館 阿部熹著作 陽陰曆 對照 **萬年曆鑑** 一和裝 定價金二圓也 送料金六錢

神聖館 阿部熹著作 推命學 活用 **吉凶開發傳** 二和裝 定價金三圓五十錢 送料金十四錢

岩原 諦信著 南山 進流 **聲明の研究** 一洋裝 定價金七圓五十錢 送料金三十錢

服部 如實著 **大般若理趣分讀加持法** 一次第形 卷 定價金一圓也 送料金四錢

京都市寺町通五條上ル

舊都老書林 山城屋佐兵衛事 藤井佐兵衛書店

電話 下五八五番 振替 大阪三一五番

文學博士 齋藤唯信先生著 改訂新版

佛敎學概論

本書は凡そ佛敎學概論と名づけ得る論著の濫觴として初刊以來二十有七年、今猶好評噴々學徒渴望の書、而も舊刊絶版に歸して久しく古書肆の店頭にすら容易に見當らない。これ今回先生に加筆訂正を煩し重版刊行し以て大方の要求に應へる所以である。

●圖書目録呈

菊判クロス三六〇頁 定價金貳圓五拾錢 郵税金拾四錢 發兌 法文館 京大市都 振替番 電話番 〇九一二下

【内容目次】

緒言、第一編、緣起論、第一業感緣起論(十章)、第二阿頼耶識論(十一章)、第三眞如緣起論(十章)、第四法界緣起論(五章)
第二編、實相論、第一現象差別論(九章)、第二實體平等論(五章)、第三現象實體關係論(五章)、第四萬象鑿融論(五章)、結論

大谷大學教授 柏原祐義先生

八宗綱要解説

八宗綱要は佛敎各宗の歴史、教理、實踐法等を最も簡明に且つ組織的に叙述せるものにして、古來佛敎研究者の必ず先づ繙讀せし好著である。本書は章節項等に分ちて原文の組織連絡を了解し易くなし、讀み方、辭解、通解、餘義の各欄を設けて總振り假名を附け、いかなる初學者と雖も一讀直に原文の奥義に通達せしめんと目的を以て、解釋亦懇切と簡明と平易とに努めたるもの、原文の華麗と相應じて暢達の筆致は讀者の勞を忘れしむるものがある。本書の價値以て知るべく、敢て一讀を勧むる所以である。

菊判クロス五〇〇頁 定價金參圓五拾錢 郵税金貳拾貳錢

澤圓諦章譜、濱口惠璋編

(佛教圖書目錄呈上)

廣 一三六

增補改訂

第十九版

昭和改訂 眞宗聖典

菊判半截形極上紙
一千二百餘頁函入
皮表紙金參圓五拾錢
クローヌ
金貳圓五拾錢
送料各十四錢

類書中最も完全なる而かも内容完備せる實用的眞宗聖典、
本聖典には眞宗の教典聖教悉く網羅す。(内容見本呈)

京大教授
龍大教授

羽溪了諦著 □ 佛教の現代的意義

佛教の持つ眞義たる業、縁起、無常等の
佛教的術語を平易に現代の生活及び思想
に對して與ふる正しい指導原理を説く。

金拾參圓
送料四錢

進徳高
女長

永井龍潤著 □ 大聖釋尊の生涯

世界生靈の救済主、大聖釋尊の一代を平
易に、内容を信仰と史實、傳記と修養を
取入れたる眞の釋尊生涯傳。

金拾貳圓
送料四錢

井上哲雄編 □ 前田慧雲師語錄

佛教界の碩學、前田博士の全生涯を語録
集成す信念の披瀝であり、信仰修養の溢
る、佛教界の寶玉である。

金拾貳圓
送料四錢

同志社大學教授 PHD古屋美貞	大阪商大教授 田崎仁義	大阪商大教授 田崎仁義	經濟學博士 田崎仁義	法學博士 故雉本朗造	廣島高師教授 文幸三郎	廣島高師教授 文幸三郎	文幸三郎	元大谷大學教授 橋川正	聖典研究會 代表者 甲斐靜也	同志社大學教授 荒木良造	醫學博士 多愛次郎 佐渡靜夫共著
米國經濟學の 史的發展	支那經濟思想及制度	王道天下之研究	民事訴訟法論文集	文化哲學概論(生の形式)	教育哲學	新日本佛教年表	日日聖典	詭辯の研究	傳染病の話		
菊 判 四・八〇 七〇〇頁	菊 判 四・〇〇 六三四頁	菊 判 四・五〇 七三〇頁	菊 判 五・〇〇 一、四五〇頁	菊 判 四・〇〇 六四〇頁	四 判 二・〇〇 二八〇頁	三 判 一・二〇 三六〇頁	袖珍型 〇・二五 五〇〇頁	四 判 一・〇〇 四六〇頁	四 判 一・二〇 四七六頁		
前人未踏の廣漠たる米國經濟思想の發生的、體系的叙 述にして準備・創說・發展の三篇に分たれかのロッシ ヤの「獨逸經濟學史」にも比すべき名著	滿洲國の生誕を祝して重版せる新裝版は滿洲國支那の 研究書として好評注文殺到す以て眞價を知るべし、本 書は古代支那經濟の過程發展を叙述し、	其姉妹篇たる王道天下の研究は、同じく古代支那國家 社會の一大組織たる王道天下を考究論明せる大著にし て前書と共に讀者の必讀を勸む	錯雜多端な我民事訴訟の上に截然たる批判と解決を與 へ一世を指導せる名論文を初め遺稿數十篇大集收録し たるものにて實に全篇珠玉の大著	文化教育學の權威シユプランガー氏の名著「生の形式」 の全譯。文化哲學概論として文化教育學の基礎論とし て絶好無比の良著	著者快心の教育學體系論並に教育精神論である。1教 育學の認識論的考察、2人生の形而上學的考察、3教育 の形而上學的考察	佛教史の概要を一目下に展觀し得べき年表は極めて重 要である本書は正しく佛教の殿堂を開く鑰鍵なり。	教界の權威者相寄り無限の佛典中最も感銘を受けし譬 喩物語佛傳訓話教理等を蒐集三百六十五日に排列按配 せるもの日々吟誦玩味三省すべき名著	討論に當り詭辯の陥穿に陥るなよと著者は云ふ最も陥 り易い曖昧語の詭辯、比喩、引證の詭辯其他約四十種 三百の實例を列擧し詭辯の看破に資す	兵庫縣衛生課が防疫施設に資し叙述せられしを乞ひて 一般頒布す法定十種傳染病の傳染徑路豫防法患者の取 扱方法保菌者心得消毒法患者食事調理法		

廣 一二七

京西 都院 市條 外出版印刷株式會社 振替口座 大坂 三三番 九三番 三三番 一三番

發行所 京都 都院 市條 小坂 正路 上面 興教書院

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
地理学概論	遠藤 金英	二・五〇	二四八	〇	教育研究会總町	所住
地理学論叢	帝大文学部 地理学教室	二・五〇	四六	〇	古今書院神田	所住
人文地理学の基礎的知識	浅井 治平	三・〇〇	四六	〇	目黒書店同	所住
世界経済地理誌	香川 幹一	四・〇〇	六〇	〇	有文書院同	所住
経済地理講義	樋口 清	二・〇〇	二六〇	〇	阿部書店花橋	所住
景観区分・世界	西龜 正夫	二・七〇	二六六	〇	共立社神田	所住
経済地理北米篇	河田 喜代助 中島 嘉次郎	三・〇〇	三二〇	〇	古今書院同	所住
社会地理学	藤田 元春	四・二〇	四九三	〇	刀江書房同	所住
日本地理学史	萬有科学大系 正篇一地理	二・五〇	△三三三	〇	新光社同	所住
地理学叢話	山崎 直方	一・八〇	二二六	〇	古今書院同	所住
政治地理・境界論	飯塚 浩二	二・〇〇	二二七	〇	同	所住
社会地理学の動向	納富 重雄	一・八〇	二二九	〇	古今書院同	所住
地勢と文化	藤原 咲平	一・八〇	二二二	〇	同	所住
地渦・地裂及地震	武者 金吉	四・八〇	△四二六	〇	岩波書房同	所住
地震に伴ふ發光現象の研究及び資料	青山 信雄	一・七〇	〇	二二二	古今書院同	所住
地球の起原と發達						

(二) 世界地理

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
人文地理講話	佐藤 弘	二・二〇	三二	〇	神田ビル内	所住
人文地理学	遠藤 金英	二・五〇	〇	二二	高陽書院	所住
世界経済地理小誌	ホラビン 中島清洲夫	三・〇〇	〇	〇	教育研究会總町	所住
現代商業地理年鑑	東京府立第一 商業学校地理 研究会	〇	〇	〇	古今書院神田	所住
地震研究所叢報	第十號第一册	〇	〇	〇	公文館同	所住
最新地理術語解説	耕崎 正男	二・〇〇	〇	〇	東京帝國大學本郷	所住
コンサイス科学叢書	白湯濱崎 温泉と地熱	〇	〇	〇	浅見文林堂	所住
地理学に綜合せる世界の地理上卷	森 信美	一・八〇	〇	〇	古今書院神田	所住
岩波文庫アルプスの氷河主に科學的布哇と比律賓	野崎 圭介	一・八〇	〇	〇	岩波書店同	所住
南支那海之一大寶庫・海南島	後藤 元宏	三・五〇	〇	〇	二二 武道社	所住
パラナ州に於ける地理氣候人文移植民及農業概況	比島と日本	二・〇〇	〇	〇	日伯協會神戶	所住

(三) 日本地理

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
増訂最新支那地理	西山 榮久	五・〇〇	〇	〇	大阪屋號書店	所住
満洲國中心支那地理	西龜 正夫	三・四〇	〇	〇	厚生閣總町	所住
最新動態満洲支那地理	橋本 辰彦	二・五〇	〇	〇	三友社四谷	所住
満洲國紀要		八・〇〇	〇	〇	開成館小石	所住
支那満洲主要人名地名一覽		三・〇〇	〇	〇	有終會芝	所住
満洲物産原誌	田中 末廣	三・〇〇	〇	〇	日本原料政策會議野	所住
新満洲國地誌	田中 秀作	二・五〇	〇	〇	古今書院神田	所住
日本地理講話	佐藤 弘	二・二〇	〇	〇	古今書院神田	所住
日本人口地理	及川甚之丞	三・〇〇	〇	〇	厚生閣總町	所住
大日本帝國委任統治地南洋群島地理風俗大觀	南洋地理學會	五・〇〇	〇	〇	文新社神田	所住
地理文庫・日本の諸問題關東州滿鐵沿線滿洲問題	北垣恭次郎	二・〇〇	〇	〇	明治圖書會社京橋	所住
北日本之石器		〇	〇	〇	小倉倉之助旭川	所住
瀬戸内海の成因と島嶼の鑛物植物	浦上 仁一	二・九〇	〇	〇	香川縣教育會社高松	所住

(イ) 郷土誌・市町村

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
近畿景觀三・近代大阪						
臺灣大觀	北尾録之助	三・〇〇	〇	〇	創文社芝	所住
岡山縣地理概要		六・九〇	〇	〇	日本合同通信社	所住
臺灣重要問題に就て		〇	〇	〇	吉備商業學校岡山	所住
紀州大觀	竹内 良雄	三・〇〇	〇	〇	新紀州新聞社山	所住
日本の南端・紅頭嶼	稻葉 直通	三・〇〇	〇	〇	生き物趣味の會	所住
中部日本大觀	瀨川 孝吉	一・八〇	〇	〇	名古屋新聞社	所住
統計から見た東北	古和口虎雄	一・〇〇	〇	〇	東北事情調査會	所住
米子區裁判所管内里程表		〇	〇	〇	高木長次郎米子	所住
江戸地誌解説稿	長澤規矩也	三・八〇	〇	〇	長澤規矩也	所住
大東京の現勢		三・〇〇	〇	〇	東京毎夕新聞	所住
大東京物語	東京市地理教育研究會	二・八〇	〇	〇	社	所住
大東京の全貌	岸田 菊伴	一・五〇	〇	〇	現代パンフレット通信社	所住
静岡縣市町村便覽		〇	〇	〇	静岡新報社	所住
大阪市概観		〇	〇	〇	大阪市役所	所住

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
鹿兒島縣郷土史	郷土教育研	二・五〇	〇四三	松下重資	鹿兒島	阿波誌	岡田啓六	七・〇〇	〇五〇	芳川堂	徳島
大系三島津創業史	郷土教育研	二・〇〇	〇三三	同文書院	四谷	新撰美濃志	岡田啓六	六・五〇	〇六〇	一信社	岐阜
郷土研究室人物の巻	西龜 正夫	一・八〇	〇二四	厚生	關西町	郷土讀本	三重縣四郷等 常高等小學校	五・〇〇	〇〇〇	古川出版部	日本橋
郷土地理の調べ方と實例	大野 武男	二・〇〇	〇二四	大同	館神田	京都府郷土讀本	市川小學校	三・七〇	〇〇〇	富山房	神田
郷土史及郷土地理調査と其實例	新舊對照・大東京	〇・八〇	〇一八	神榮	館下谷	市川郷土讀本				三共出版社	鶴町
大東京新舊町名對照便覽	新舊對照・大東京	二・〇〇	〇二〇	大日本國民教育會	龜町	川崎郷土讀本卷二				文教社	川崎
大東京市新町名一覽	新舊對照・大東京	二・五〇	〇三二	都正	社牛込	鶴村郷土讀本	網干尋常小學校	二・五〇	〇〇〇	郷土研究會	岐阜
新舊對照・大東京市全區町名便覽	大東京區別町名索引表	二・五〇	〇三二	九段書房	龜町	網干郷土讀本	新湯市小學校 校員會	二・三〇	〇〇〇	目黒書店	神田
大東京區別町名索引表	東京市之立體的考察	一・七〇	〇一七	名古屋市東區名古	所屋	郷土讀本上卷				日本教育出版	札幌
名古屋市東區便覽	縱横から見た東京	前田 善教	二・三〇	昭文	社龜町	郷土讀本				出水郡教育會	鹿兒島
東京市之立體的考察	中信市町村全誌	五百石町誌	〇	井口清作	松本	盛郷土讀本上卷	野中 凡童	五・〇〇	〇七四	盛尋常高等小學校	愛媛
縱横から見た東京	廣島縣誌	越智剛二郎	〇	五百石尋常高小學校	富山	大京都誌	菊地勝之助	三・〇〇	〇〇〇	東亞通信社	京都
廣島縣誌	高崎附近の地誌	齋藤長五郎	〇	自治調査會	芝	宮城縣郷土誌	高田 吉人	一・五〇	〇三六	學習社	神田
高崎附近の地誌				須藤延芳	高崎	北安曇郡郷土誌	中村 明月	三・〇〇	〇二四	郷土研究社	小石
						稿四・俗信俚語篇				青松詩社	小樽
						禮文山水と趣味と傳説					

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住	書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
田縣の官見聞録	丹羽 欽治	〇・三〇	〇三〇	味岡村役場	愛知	片上村誌				同刊行會	福井
香落溪由來記	澤 桃 源	〇・三〇	〇三〇	成文社	三重	朝倉郡官民郷土誌	安岡 大六	〇・三〇	〇三〇	其社	福岡
八幡長者				小林辰藏	兵庫	霧ヶ峰をかたる				安岡 大六	高知
金樂寺と吉備神社				京報社	京都	田野郷土誌	小室 繁夫	△一・〇〇	〇〇〇	進脩社	長野
京極沿革史				美篤新報社	長野	信濃の誇り				河瀬正次郎	大阪
飯田町近世年表略	伊藤 百助	三・〇〇	〇六八	三秀舎内	神田	改訂・西大阪現勢誌				日本今熊野新	京都
男大迹部志	上田 三平	〇・三〇	〇三〇	南越花筐會	石川	一橋學區大觀	松井福次郎	〇・三〇	〇三〇	日本今熊野新	京都
狐山古墳				狐山古墳保存會	品川	我等の郷土靜岡縣	河合 喜重	〇・三〇	〇三〇	谷島屋書店	酒松
品川町史中卷				品川町役場	品川	花岡郷土誌	瀧井 儀作	〇・三〇	〇三〇	野村元助	山口
福富村郷土誌				福富村役場	品川	傳説補遺・沖繩歴史	島袋源一郎	一・五〇	〇三四	沖繩書籍會社	那覇
自圖演習用				新泉社	牛込	鳥取縣郷土文獻目錄	田伯史話會	二・〇〇	〇一三	横山書店	鳥取
讚岐郷土叢書一崇徳上皇の御遺跡と遺物	岡田 唯吉	三・〇〇	〇三〇	香川縣教育會	高松	三橋村誌	横溝 平助	二・〇〇	〇一四	昭和書房	埼玉
新註播州峰相記微考	太田 陸郎	一・七〇	〇五〇	兵庫縣民俗會	神戸	福地村史概要				福地尋常小學校	愛知
鳥取縣郷土史				鳥取縣廳	鳥取	郷土史講話				山形縣聯合會	山形
福井縣郷土史	徳山國三郎	三・〇〇	〇四六	貴信房	福井	品川町史上卷				品川町役場	品川
國史對照・香川縣郷土史年表	仁木 匠	〇・八〇	〇折疊	香川縣教育會	高松	岡山縣小田郡中川村誌				高槻次郎	岡山
高知之手引				土佐之手引社	高知	井上 敬道				精華高女校友會	京都
田染村志				田染村役場	大分						

書名	著者	定價	頁數	形態	發行所	所住
郷土研究一 先史原史時代調査	本多 精夫	・三〇	二二	△	山梨縣北巨摩郡教育會	山梨
都城史抄	合志 芳太郎	・三〇	三三	○	郡義勇會	宮崎
岩磐文化 郷土研究第一輯	合志 芳太郎	・三〇	三三	○	福島縣師範學校	福島
改訂合志川芥	合志 芳太郎	・三〇	三三	○	合志史談會	熊本
紀伊北牟婁郡誌	合志 芳太郎	・三〇	三三	○	合志史談會	熊本
正得村史料	合志 芳太郎	・三〇	三三	○	合志史談會	熊本
瀧宮村誌	合志 芳太郎	・三〇	三三	○	合志史談會	熊本
萬澤村誌	合志 芳太郎	・三〇	三三	○	合志史談會	熊本
西目村の話前編	佐々木 孝一郎	・三〇	三三	○	西目村役場	秋田
石の巻辯・語彙篇	辨天 丸孝	・三〇	三三	○	郷土社書房	宮城
郷土の山岳と探勝	磯野 三郎	・三〇	三三	○	磯野 三郎	金澤
全郡山百番附	磯野 三郎	・三〇	三三	○	磯野 三郎	金澤
概観島前地誌	磯野 三郎	・三〇	三三	○	磯野 三郎	金澤
上池田村誌	磯野 三郎	・三〇	三三	○	磯野 三郎	金澤
郷土物語十一 美彌之巻	吉村 藤舟	・三〇	三三	○	郷土史研究會	下關
國史参照 日向郷土史年表	日野 巖	・三〇	三三	○	文華堂	宮崎

書名	著者	定價	頁數	形態	發行所	所住
信濃郷土叢書第一期 基礎觀念養成 岐阜の地理	信濃郷土文化普及會 白山尋常高等小學校	・三〇	二六	○	白山尋常高等小學校	長野
やはたはま	井上 徳治	・三〇	二六	○	井上 徳治	愛媛
磯波町村資料	高島 幸吉	・三〇	二六	○	中越印刷會社 同刊行會	富山
刈谷町誌	刈谷町役場	・三〇	二六	○	刈谷町役場	愛知
東大阪猪飼野町々名 地番改正紀念一覽表	生進 社	・三〇	二六	○	生進 社	大阪
能代港町・案内圖	晴 卓	・三〇	二六	○	晴 卓	札幌
臺灣の寶庫と沖繩縣	與儀 清一	・三〇	二六	○	球洋出版部	那覇
大日本名勝特産誌	梶谷 福一	・三〇	二六	○	今田猪太郎	岡山
我等の埼玉 上巻	埼玉縣教育會	・三〇	二六	○	埼玉縣教育會	埼玉
河川改修沿革誌	關町役場	・三〇	二六	○	關町役場	岐阜
青森	青森市役所	・三〇	二六	○	青森市役所	青森
郷土資料	一色 西部尋常小學校	・三〇	二六	○	一色 西部尋常小學校	青森
われらの神田	橋本尋常小學校	・三〇	二六	○	橋本尋常小學校	神田
兩鄉村郷土誌	大塚 英吉	・三〇	二六	○	大塚 英吉	栃木
久世町誌	石井 常太郎	・三〇	二六	○	同刊行後援會	岡山
濟州島實紀	金斗 奉	・三〇	二六	○	濟州島實蹟研究會	大阪

書名	著者	定價	頁數	形態	發行所	所住
神奈川縣郷土史の歌	石野 瑛	・二〇	二〇	△	神奈川縣郷土史の歌	横浜
沖繩郷土誌教本	豊川 善暉	・三〇	三三	○	沖繩縣教育會	那覇
郷土讀本細説	奥野 清介	・三〇	三三	○	奥野 清介	札幌
宗谷郷土地理讀本	奥野 清介	・三〇	三三	○	奥野 清介	札幌
濱松郷土讀本	濱松市役所	・三〇	三三	○	濱松市役所	濱松
宇都宮讀本前後編	宇都宮市小學校	・三〇	三三	○	宇都宮市小學校	宇都宮
郷土史年表	郷土史年表	・三〇	三三	○	郷土史年表	福地
南村山村地質圖並 地質圖説明書	南村山村地質圖並 地質圖説明書	・三〇	三三	○	南村山村地質圖並 地質圖説明書	山形
新大館町全圖	新大館町全圖	・三〇	三三	○	新大館町全圖	山形
和泉古瓦譜	和泉古瓦譜	・三〇	三三	○	和泉古瓦譜	大阪
香川縣師範學校郷土紀要 第一輯教科書物の作成資料 各種グラフと分布圖上巻 圖表中心	香川縣師範學校郷土紀要 第一輯教科書物の作成資料 各種グラフと分布圖上巻 圖表中心	・三〇	三三	○	香川縣師範學校郷土紀要 第一輯教科書物の作成資料 各種グラフと分布圖上巻 圖表中心	高松
香川縣郷土地理	香川縣郷土地理	・三〇	三三	○	香川縣郷土地理	高松
落合町誌	落合町誌	・三〇	三三	○	落合町誌	徳島
多家長村の展望	多家長村の展望	・三〇	三三	○	多家長村の展望	徳島
牧石村誌	牧石村誌	・三〇	三三	○	牧石村誌	徳島
久留米市誌	久留米市誌	・三〇	三三	○	久留米市誌	久留米

書名	著者	定價	頁數	形態	發行所	所住
小原地内入山沿革志	武田 正義	・三〇	二六	○	小原地内入山沿革志	福岡
秩父多摩山總の海	高橋源一 郎	・三〇	二六	○	秩父多摩山總の海	東京
市郡合併紀念 大崎町誌	市川 渡	・三〇	二六	○	市川 渡	富山
富山縣地理文獻集	市川 渡	・三〇	二六	○	市川 渡	富山
大崎町總覽	太田 欽吾	・三〇	二六	○	大崎町總覽	品川
福井縣高濱町要覽	高濱町役場	・三〇	二六	○	高濱町役場	福井
佐見村案内	佐見村役場	・三〇	二六	○	佐見村役場	岐阜
隅田町誌	隅田町役場	・三〇	二六	○	隅田町役場	向島
隅田町役場	隅田町役場	・三〇	二六	○	隅田町役場	向島
王子區誌	王子區	・三〇	二六	○	王子區	王子
とやま	とやま	・三〇	二六	○	とやま	富山
笠間町鑑	笠間町鑑	・三〇	二六	○	笠間町鑑	茨城
根尾村案内	根尾村案内	・三〇	二六	○	根尾村案内	茨城
大治見	大治見町役場	・三〇	二六	○	大治見町役場	同
新宮町郷土誌	新宮町郷土誌	・三〇	二六	○	新宮町郷土誌	和歌山
下谷と上野	下谷と上野	・三〇	二六	○	下谷と上野	下谷

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
大東京市 併合記念大島町誌	川本 衆兒	〇四七三	〇四三	大島町役場城東	日立助川を語る 第一輯
大柳 井	〇一〇四	〇一四	〇一四	平井印刷所山口	大分市民讀本
佐野町勢案内	〇一〇四	〇一四	〇一四	手束寫眞館栃木	後樂園と岡山城
豊島區町名一覽	〇一〇四	〇一四	〇一四	朝日タイムス社 近津尋常高等 小學校	奥州南部 榊部順禮次第
福島縣近津郷土誌	〇一〇四	〇一四	〇一四	勝山小學校山梨	山の國・鹿角の里
中津水害畫報	〇一〇四	〇一四	〇一四	黎明社岐阜	川から見たる越中
勝山村附近の 地形・地質・植物	〇一〇四	〇一四	〇一四	深田千太郎福岡	大牟田市大觀
宗像郡誌 下編	伊東尾四郎	〇一〇四	〇一四	二塚尋常高等 小學校	松山 泉城
塚の里誌	石黒 芳男	〇一〇四	〇一四	大分あづさ會大分	井上 忠雄
郷土趣味雜話 記號入番號	市場直次郎	〇一〇四	〇一四	吉村愛治郎奈良	佐藤 與一
消印地名表	齋藤 外二	〇一〇四	〇一四	宇都宮書店金澤	桂 又三郎
石川縣の地誌	齋藤 外二	〇一〇四	〇一四	鳥屋部地理研 究會	岡田良太郎
鳥屋部角柄折地誌	松原健之助	〇一〇四	〇一四	沼津通信社沼津	海老澤 亮
香貫山	茂野 榮三	〇一〇四	〇一四	中田書店富山	山上 雷鳥
越中地誌	青木 北海	〇一〇四	〇一四	高野尋常高等 小學校	岡田 光雄
たかのむら	青木 北海	〇一〇四	〇一四	高野尋常高等 小學校	岡田 光雄

(四) 紀行・寫眞・地圖
(ア) 各地紀行・寫眞

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
ヒマラヤの旅	長谷川傳次郎	〇一〇四	〇一四	中央公論社	江崎 梯三
歐羅巴女一人旅	馬郡沙河子	〇一〇四	〇一四	朝日書房	原 靜村
練習艦隊北米巡航記	磐手乘組醫 科士官	〇一〇四	〇一四	横濱貿易協會横濱	江崎 梯三
歐米管見	木津谷 榮三郎	〇一〇四	〇一四	大阪市電氣局大阪	眞鍋 儀十
兩米三巡	永田 稠	〇一〇四	〇一四	日本力行會板橋	江見 水蔭
南遊記念叢書比律賓	非賣	〇一〇四	〇一四	前田實治郎中野	九州四國中國紀行
米國ロスアンゼルスは語る 第十回國際オリビック大會 開催地	中村 秋季	〇一〇四	〇一四	新 生 堂	北九州の旅
A Trip to America	シム・アイマス	〇一〇四	〇一四	善 橋 日本	秋風帖紀行
ヒマラヤに挑戦して	伊藤 愿	〇一〇四	〇一四	黒百合社大阪	參 陵 錄
北米國立公園遊記	中村 秋季	〇一〇四	〇一四	新 生 堂	山縣郡巡り道中記
爪哇見聞記	宮武 正道	〇一〇四	〇一四	宮武 正道奈良	藤樹神社寫眞帖
南北分水嶺を越えて	小原喜三郎	〇一〇四	〇一四	千倉書房京橋	瀬戸内百圖談
改訂版滿洲縱橫記	篠原 義政	〇一〇四	〇一四	國政研究會龜町	寫眞帖富山縣吳東編 郷土の山水
新滿洲の旅	富久 樂	〇一〇四	〇一四	河本芳治郎大阪	鹿兒島市文化寫眞帖
團體漫遊記	富久 樂	〇一〇四	〇一四	武山純造名古屋	佐古龍ヶ洞寫眞集
東海道旅行物語	村田峯次郎	〇一〇四	〇一四	博 美 社	滿鮮視察記念寫眞帖
伊豆半島の旅	水島 芳靜	〇一〇四	〇一四	日本遊覽案内 刊行會	大東京寫眞大觀

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
東京市内名勝案内	東京市電氣局 乗客課	〇・五	〇・五	東京市電氣局 乗客課	麹町
空の旅案内	後藤朝太郎 ロシヤ語編	〇・五	〇・五	日本航空輸送 會社	芝
支那及滿洲旅行案内	後藤朝太郎	〇・五	〇・五	日本航空輸送 會社	芝
露文日本案内記	ロシヤ語編	二・〇〇	一・四	橋書店	日本橋
北陸案内	北陸案内社	〇	〇	北陸案内社	金澤
百万名古屋	名古屋文化協 會	二・〇〇	〇・三	名古屋文化協 會	名古屋
大東京案内	全國旅館案内 所	〇	〇	全國旅館案内 所	下谷
大東京遊覽案内	三雄社	四・〇〇	〇・二	三雄社	神田
ドライブ案内	團體タクシー 商會	〇	〇	團體タクシー 商會	小石川
三崎近郊案内	泰山丸商店	二・五	〇・二	泰山丸商店	神奈川
標準・大東京便覽	ロボット社	二・五	〇・二	ロボット社	東京橋
市内近郊遊覽案内	シネマガイド 社	〇	〇	シネマガイド 社	神田
東京名所案内	名所寫真案内 社	〇	〇	名所寫真案内 社	芝
Japan A Pictorial Travel pretation 名勝寫真帖	朝日新聞社	三・〇〇	二・三	朝日新聞社	麹町
驛名總覽	鐵道業務研究 會	二・五	一・六	鐵道業務研究 會	神田
新大東京案内	交通調査會	二・五	〇・六	交通調査會	豊島

(ウ) 史蹟・名勝案内

案内	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
案内圖 下關 Glimpses of Hyogo Prefecture	下關市役所 兵庫縣大鑑編 輯所	一・〇〇	〇・八	下關市役所 兵庫縣大鑑編 輯所	下關
よろづ案内佐世保	民衆社	二・〇〇	〇・八	民衆社	佐世保
四倉町案内	吉田壽三郎	二・〇〇	〇・五	吉田壽三郎	福島
島原半島一週常覽	國粹新聞社	二・〇〇	〇・五	國粹新聞社	佐世保
東京から一二泊 の氣まなな旅	日本遊覽案内 刊行會	二・〇〇	〇・五	日本遊覽案内 刊行會	神田
交通詳解 大東京案内中央西部	平凡社	二・〇〇	〇・五	平凡社	日本橋
同 中央東部	同	二・〇〇	〇・五	同	同
同 城西部	同	二・〇〇	〇・五	同	同
同 城西北部	同	二・〇〇	〇・五	同	同
同 城東部	同	二・〇〇	〇・五	同	同
交通詳解大東京案内	同	二・七〇	〇・〇	同	同
八鹿町案内	西谷忠雄	二・五〇	〇・〇	西谷忠雄	同
桐生市案内	桐島印刷所	〇	〇	桐島印刷所	兵庫
半田町案内圖繪	兩毛織物新聞 社	〇	〇	兩毛織物新聞 社	桐生
最新三重縣案内	半田町役場 愛知	〇	〇	半田町役場 愛知	半田
福島市案内	伊勢新聞社 津市	二・〇〇	〇・七	伊勢新聞社 津市	津市
増補・美川案内	美川商工會 石川	二・五	〇・六	美川商工會 石川	石川
下田名所案内	秋間不二男	二・五	〇・〇	秋間不二男	下田
大津みやげ	市原陸郎	二・〇〇	〇・〇	市原陸郎	大津
改訂・茨城大觀	前田厚	二・〇〇	〇・二	前田厚	茨城
都城の輪廓	同	二・〇〇	〇・二	同	同
大能代の權威	同	二・〇〇	〇・二	同	同
京都八幡宮詣	春木厚	二・〇〇	〇・二	春木厚	京都
新編箱根案内記	同	二・〇〇	〇・二	同	同
神社參拜記念帖 近畿之部	日向郷土會	二・七〇	〇・〇	日向郷土會	日向
靈峰霧島山 日向第八・九合輯	仁尾環	二・七〇	〇・二	仁尾環	日向
長崎の史蹟と名勝 雲仙及其附近	赤松景福	二・七〇	〇・二	赤松景福	長崎
茨城名勝	同	二・七〇	〇・二	同	同
栗林公園誌	同	二・七〇	〇・二	同	同
アサヒグラフ臨時増 刊・國立公園號	同	二・七〇	〇・二	同	同
大東京百景	同	二・七〇	〇・二	同	同

書名	著者	定價	頁數	發行所	所住	書名	著者	定價	頁數	發行所	所住
犬鳴山の美を語る	原 静村	・三〇	×	南海民友新聞社	大阪	日本に名所が又一つ	久保太四郎	・三〇	×	小田垣印刷所	大阪
北東線に沿える	藤澤 直枝	〇	〇	上田温泉社	上田	下呂温泉と飛騨案内				千葉縣商工水産課内房總觀光協會	千葉
九中を中心とし		〇	〇	府立第九中學校三五會	東京	海光の千葉縣				小山倉太郎	群馬
碓氷の紅葉と	泉 寅夫	・二五	〇	碓氷名勝案内	長野	名勝榛名案内圖				毛野研究會	同
八女津媛山	馬場 豊二	・七〇	〇	八女顯勝會	福岡	赤城山大觀				赤目峽保勝會	三重
旅は紀州路		〇	×	知事官房統計課内和歌山縣統計協會	和歌山	八ヶ岳火山群	平賀 文男	・三〇	×	木 星 社	豊島
京の神まゐり		〇	〇	京都市史蹟宣揚會	京都	昭和の大日光	有賀 四郎	〇	〇	關根義三	京都
廣江殿峰をめぐりて	福井 正滿	〇	〇	三鹽嘉平下關會	和歌山	紀伊・長島	松井 青水	・二〇	〇	紀勢新報社	和歌山
十津川郷	西田 正俊	〇	〇	同發行所	和歌山	湯崎白濱を探る	原 静村	・三〇	×	南海民友新聞社	和歌山
神都めぐり		〇	〇	伊藤梅次郎	島根	趣味の博多	三松 莊一	・三〇	〇	協和會	福岡
箱根遊覽・勝地漫畫		・三〇	〇	勝地漫畫刊行會	京橋	陵墓參拜寶典	東村日出男	・三〇	〇	歴代皇陵參拜會	大阪
京成から水郷へ		・三〇	〇	同	同	吉野と古典	宇垣 武治	・三〇	〇	東洋生命會社	神戶
日光の旅		〇	〇	奥田正造	豊島	花と哀史の吉野山	庄司 嘉	・三〇	〇	櫻井誠文堂	奈良
大和の名所舊蹟		〇	〇	奈良縣奈良	同	吉備めぐり	宇垣 武治	・三〇	〇	保險會社	同
浪華名勝獨案内	松川 半山	・三〇	〇	淺妻屋書店	大阪	雲は低し夏山の旅				山口諭助	本郷
京の紅葉史		〇	〇	京都市史蹟宣揚會	京都	俵山温泉と髯				藤井旅館	山口

書名	著者	定價	頁數	發行所	所住	書名	著者	定價	頁數	發行所	所住
銀山の銀と温泉	田中 豊	・三〇	〇	田中 豊山形	山形	静岡縣小笠郡	濱田武八郎	△		大日本帝國市町村地圖刊行會	小石川
俵山温泉		〇	×	俵山温泉組合	山口	平田村土地寶典	辻 眞機太	×		二宮文鮮堂	兵庫
北陸の温泉と		〇	〇	東亜工廠	大阪	軍港・吳案内				郷土教育研究會	同
温泉と登山		〇	〇	圖書撰獎會	若松	高砂案内	秋守常太郎	〇	〇	秋守常太郎	大阪
福井縣蘆原温泉誌	島崎 圭一	・七〇	〇	自 在 館	新潟	旅行叢書五				吉野山岳會	奈良
朽尾又温泉案内		〇	〇	上越日日新聞	群馬	小笠原土産				東京市役所	東京
伊香保温泉案内		〇	〇	布施廣雄	同	吉野群山及熊野地方の風景探勝案内				東京市役所	東京
温泉とところへ		〇	〇	南海民友新聞	和歌山	上野恩賜公園動物園案内				静岡電氣鐵道會社	静岡
神祕境	原 静村	・三〇	〇	日本三景	同	廣島縣特産品名勝案内				静岡電氣鐵道會社	静岡
青森縣		〇	〇	天の橋立案内	同	静岡清水遊覽案内				山本三省	京都
風景の驚異	仲摩 照久	・二五	△	濟州島案内記	同	大田驛を起點とする秋穂及大田案内	金斗 奉	〇	〇	濟州實蹟研究會	大阪
科學畫報叢書一		〇	〇	須賀川案内記	同	いそぶし案内記				竹田元作	山口
岩波文庫アルプス	矢島 祐利	・四〇	×	須賀川案内記	同	須賀川案内記				中村久治	水戸
水河と萬年雪の山	小島 鳥水	・七〇	〇	須賀川案内記	同	須賀川案内記				須賀川發行所	福島
山口縣史蹟名勝案内		〇	〇	須賀川案内記	同	須賀川案内記				千葉縣商工水産課内房總觀光協會	千葉
南總の山水		〇	〇	須賀川案内記	同	須賀川案内記				同	同
箱根遊覽と	水島 芳靜	・三〇	〇	須賀川案内記	同	須賀川案内記				同	同
富士五湖廻り		〇	〇	須賀川案内記	同	須賀川案内記				同	同
那須のしるべ		〇	〇	須賀川案内記	同	須賀川案内記				同	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
新潟縣名勝舊跡案内			〇三六	〇	無料圖書閱覽	新潟
京都西山名所			〇二〇	〇	泥中庵藏六文	京都
西芳寺の古園を誇る			〇四	〇	金剛山葛城神	奈良
天下の靈峰・金剛山			〇四	〇	伊豫史籍刊行	松山
石鐘連峰と面河溪	秋山 英一	二〇〇	〇六	〇	會社	松山
日本ラインの犬山			〇二六	〇	犬山町役場	愛知
國立公園富士箱根			〇四〇	〇	山岡印刷所	甲府
文藝筑波山全景	高木 蛙明	二〇〇	〇〇	〇	白線社	下谷
京都名勝			〇七五	〇	京都市觀光課	京都
景勝の室蘭			〇七一	〇	市役所内	室蘭
室蘭宣傳協會			〇七一	〇	室蘭	室蘭
補遺						
藩國官職通考	湯淺 祇庸		〇三三	〇	石川縣圖書館	金澤
ペー トル	米川 正夫	二五〇	〇三四	〇	三省堂	神田
回顧 七年	濱口儀兵衛		〇八四	〇	濱口儀兵衛	千葉
加藤木三老兄弟	湯野尻 初太郎		〇三〇	〇	電氣之友社	京橋
人物風景	上杉 玉舟		〇一七	〇	毒鼓社出版部	山口
大阪市			〇八六	〇	商業興信所	大阪
神戸市經濟便覽			〇一五	〇	宮音	松原
探蹟雜藁第一輯			〇三	〇	教育會館内	富山
國立公園候補地			〇三	〇	ルプス國立公園富山縣期成同盟會	富山
立山及黒部峡谷			〇三	〇	山縣期成同盟會	富山

第八類 政治・外交・軍事・法律

(甲) 政治・外交・軍事

(一) 政治研究・政界

(ア) 政治學研究

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
政治科學原論	高橋 清吾	五〇〇	〇七九	〇	有斐閣	神田
獨裁政治論叢書一	今中 次鷹	九〇	〇二四〇	〇	大畑書店	同
現代獨裁政治學概論	鈴木 安藏	三〇〇	〇七五	〇	希望閣	同
レニオン小文庫六	黒龍	一〇〇	〇一八五	〇	政研俱樂部	大阪
現代政治の實際知識	堀 眞琴	二〇〇	〇二五	〇	南郊社	牛込
政治讀本	小池 四郎	二〇〇	〇二〇〇	〇	先進社	本郷
議會政治は失敗か	今中 次鷹	二〇〇	〇三二	〇	大畑書店	神田
獨裁政治論叢書二	大井 一哲	二〇〇	〇二七	〇	日本社會問題研究所	麹町
憲政を破壊する政黨政治						
民主政治と獨裁政治	西島 芳二	八〇〇	〇八二	〇	岩波書店	神田
國際政治と戰爭	水谷 吉藏	五〇〇	〇一九	〇	平凡社	日本
國際政治辭典改訂版	小出 民聲	一三〇〇	〇三五	〇	白楊社	神田
イェリネツク	大西 邦敏	二〇〇〇	〇三〇	〇	敬文堂	牛込
一般國家學第一卷	水垣 清次	一〇〇〇	〇八九	〇	理想社	麹町
國家論	植田 清次	一〇〇〇	〇三三	〇	改造社	芝
改訂版近世	木下 半治	一〇〇〇	〇三三	〇	同	同
近世クイデーター論	同	一〇〇〇	〇三三	〇	同	同
新聞政治外交記事の基礎知識	小川 節	二〇〇〇	〇七三	〇	栗田書店	神田
The Waseda Journal of and Economics		一五〇〇	〇二六	〇	早稲田大學政經學會	澁橋
日本自治史觀	長野 朗	一三〇〇	〇一七	〇	建設社	豊島
自治民範	權藤 成卿	二八〇〇	〇五〇	〇	平凡社	日本
君民共治論	同	一五〇〇	〇三六	〇	文藝春秋社	麹町
公民叢書二日本						
政治現狀概觀卷上						
我等と共に闘へ	頼母木桂吉	二〇〇	〇四	〇	春秋社	日本

(イ) 政治小論

書名	著者	定價	頁數	發行所	所住
昭和日本の使命 かくて日本は甦へる	荒木 貞夫	・三〇	三〇	社會教育協會	小石川
國民に問ふ	犬養 毅 三土 忠造 外二 名	・三〇	八〇	國民講演協會	本那
演説と講演	犬養 毅 若槻禮次郎	・三〇	三〇	明治圖書出版協會	神田
大衆政治讀本	佐々 弘雄	・三〇	四〇	大日本講演會	同
自治日本の建設	長野 朗	・三〇	二七	中央公論社	豊町
生活問題から見た	安部 磯雄	・三〇	三〇	支那問題研究所	彦谷
世界審判の岐路に	尾崎 行雄	・三〇	九	日本講演協會	豊町
立つ日本	安部 磯雄	・三〇	二六	千倉書房	京橋
産業奉還論	赤松 克麿	・三〇	三〇	東京中央講演會	芝
中央講演六	中野 正剛	・三〇	二五	千倉書房	京橋
新國民運動の基調	犬養 毅	・三〇	二九	新聞解放社	同
轉換日本の動向	多賀 豊城	・三〇	三	財界通信社	同
吾輩の主義と主張	柄澤 利清	・三〇	二	日本國民社會黨北	新潟
難局打開と	牧野 良三	・三〇	八九	赤光社	本所
犬養内閣の使命					
無産戦線打解策					
労働者農民の代議士山宣					
は如何に議會で戦つたか					
政民兩黨の政策比較					

書名	著者	定價	頁數	發行所	所住
破綻の政友か 建設の民政か	若槻禮二郎	・二〇	三〇	春秋社	日本橋
政變の表裏を語る	澤本 與一	・三〇	三〇	平凡社	同
聯盟脱退と 我が南洋の運命	蟻川 新	・三〇	三〇	自衛社	彦谷
政友か民政か	田中治五平	・三〇	三〇	吉田忠喜中野	同
國難打開日本 更生の四大政策	駒井 重次	・三〇	三〇	日本新進青年	小石川
國難に直面して	黒澤圭一郎	・三〇	三〇	石原廣一郎	京都
岐路に立つ日本	本多熊大郎	・三〇	三〇	日本講演協會	豊町
東亞日本の使命	久保田雄三	・三〇	三〇	軍事通信社	四谷
新滿蒙の建設	千々岩 富士夫	・三〇	三〇	全國町村長會	同
世界の不安と 日本の立場上下	久保田雄三	・三〇	三〇	星合方	平野町
不景氣内閣は 没落した	鈴木 亨	・三〇	三〇	公論社	牛込
日本は輝く	斯波 武	・三〇	三〇	不鳴庵	盛岡
國難打開の第一歩	大田 正孝	・三〇	三〇	日本國民中堅	杉並
日本危し					
犬養内閣は 何をやるか					
これを是れと弄はれた金本位					
制と政友會内閣の不況對策					

書名	著者	定價	頁數	形態	發行所	所住
滿蒙の新天地に純粹國家主義を確立せよ 文明協會ニノーズ 日本と世界	中村 浩太	・二〇〇	三	〇	大化會出版部	牛込
(イ) 國際聯盟・リットン報告						
國際聯盟規約論	立 作 太郎	・四〇〇	四〇〇	〇	國際聯盟協會	龜町
再び聯盟退却我が委任統治地との關係を論ず	蟻 川 新	・九〇	九	〇	自衛社	澁谷
國際聯盟と我南洋の委任統治地	同	・二〇〇	二	〇	同	同
軍縮條約草案とその解説	影 井 泰 庚	・二〇〇	二	〇	國際資料協會	京橋
戰爭か平和か國際聯盟はどう出る?	石 丸 藤 太	・八〇〇	二	〇	日 月 社	龜町
國際平和關係條約集	松 田 道 一	・三〇〇	三	〇	外交時報社	同
日支時局と國際聯盟	山 川 端 夫	・四〇〇	一	〇	國際聯盟協會	同
近世軍縮史觀	安 富 正 造	・三〇〇	三	〇	同	同
軍縮會議と海軍問題	三 枝 茂 智	・三〇〇	三	〇	海軍省	同
國際軍備縮小問題	金子堅太郎	・三〇〇	三	〇	新 光 社	神田
秘密外交・日露戰爭の思ひ出	同	・三〇〇	三	〇	大日本アジヤ	同
國際聯盟を暴露するその正體と功罪	同	・三〇〇	三	〇	軍事教育社	同

書名	著者	定價	頁數	形態	發行所	所住
私の眼に映じた滿洲 芽生えた滿洲	中西 正	・二〇〇	三	〇	武藏毎日新聞社	中野
大滿洲國讀本	澁谷 近藏	・四〇〇	一	〇	育英書院	牛込
滿洲國獨立の精神	笠木 良明	・二〇〇	二	〇	白 鳳 社	神田
滿洲の産業とその資源	滿鐵東京支社	・二〇〇	二	〇	同	同
黎明の北滿	白 髮 隆 孫	・一〇〇	一	〇	月 旦 社	龜町
民族問題より觀たる滿洲國の將來	小室敬二郎	・三〇〇	三	〇	自衛社	澁谷
滿洲事變早わかり	同	・三〇〇	三	〇	同	同
大 滿 洲 國	長 井 修 吉	・二〇〇	二	〇	地 踏 社	小石
滿蒙と日本帝國主義	許 興 凱	・一〇〇	一	〇	白 楊 社	神田
滿洲國の黎明	松浦 圭三	・三〇〇	三	〇	駿 南 社	京橋
滿洲國の解剖	直木三十五	・一〇〇	一	〇	新 光 社	神田
新國家大滿洲	趙 欣 伯	・二〇〇	二	〇	東 京 書 房	京橋
黎明の滿洲國	逸見 敬子	・二〇〇	二	〇	逸見後援會	京橋
滿洲	片山 義勝	・二〇〇	二	〇	四 條 書 房	神田
滿蒙再認識と新國家論	藤 岡 仁	・二〇〇	二	〇	富士志乃步	大阪
滿蒙獨立建國論	高木翔之助	・三〇〇	三	〇	國民外交協會	龜町
滿蒙統治の王道原則	安岡 正篤	・二〇〇	二	〇	金 鷄 學 院	小石

書名	著者	定價	頁數	形態	發行所	所住
新滿洲國要覽	東亞同文會	・一八〇	六	〇	斯文書院	牛込
滿蒙經營の抱負を語る	筑紫 熊七	・三〇〇	三	〇	興文社	日本橋
どうなるか滿洲國	津崎 尙武	・三〇〇	三	〇	日本植民通信社	龜町
滿蒙事變に關する世界の叫び	同	・三〇〇	三	〇	同	同
滿洲建國と滿洲上	門多 榮男	・三〇〇	三	〇	信濃日報社	松本
投資價值から見た滿蒙事業會社總まくり	同	・三〇〇	三	〇	廣瀨經濟研究所	中野
滿蒙商取引總覽	參謀本部	・三〇〇	三	〇	明 文 堂	神田
滿蒙資源要覽	同	・三〇〇	三	〇	兵用圖書會社	龜町
再び黃塵を浴びて	羽生田俊次	・三〇〇	三	〇	高橋聯隊區司令部	高崎
滿洲建國と	同	・三〇〇	三	〇	部内帝國在郷軍人會	高崎
滿洲上海大事變史	同	・三〇〇	三	〇	下野新聞會社	宮都

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
上海事變實戰記	山縣 八郎	・五〇	〇二二	テレスコープ社	中野
上海事變を語る	村松 梢風	・一〇〇	〇二二	平凡社	日本橋
上海戦線を視察して	松田 雪堂	・五〇	〇二〇	海軍省	豊島
滿洲事變の真相	和田 三造	・五〇	〇二二	文化書房	本郷
日支事變戦線繪行脚	林 疑今	・二〇〇	〇三三	大阪朝日新聞社	大阪
Sino-Japanese Data-ngements 1931-2	志村 吉雄	・八〇〇	〇二八	白楊社	神田
上海の怒號	浦路耕之助	・一八〇	〇四九	愛國會編纂部	豊島
滿洲上海事變忠誠錄	田中 國重	・二〇〇	〇四七	松山歩兵第二聯隊	豊島
日支事變忠誠錄	中村亦四郎	・五〇	〇二六	宮井書店	和歌山
江南の戦塵	六聯隊	・五〇	〇二二	東洋書院	本郷
上海事變	鈴木 氏亨	・七〇	〇二二	先進社	同
昭和七年春出征記念	山崎 賢一	・七〇	〇二二	紀陽閣	芝
江南乃戰	藤澤健之介	・一〇〇	〇三三	富山日報社	富山
上海陸戦隊の華	植木 信行	・一〇〇	〇二八	高踏社	淀橋
滿洲上海事變忠誠錄	豊島 次郎	・五〇	〇二六	金蘭社	豊島
上海事變出征美談集	横田 曉川	・二〇〇	〇四三	昭和出版社	札幌
	鳴呼忠烈	・五〇	〇二八	日本忠孝教育普及會	奈良
	爆彈響の三勇士	・五〇	〇二八	和佐野春聲	福岡
	肉彈の三勇士	・五〇	〇二八	大阪朝日新聞社	大阪
	譽れの肉彈三勇士	・五〇	〇二八	セノオ音楽出版	芝
	爆彈三勇士の歌	・五〇	〇二八	佐藤庄太	江戶
	爆彈三勇士の歌	・五〇	〇二八	文泉閣	荒川
	嗚呼三勇士	・五〇	〇二八	文泉閣	荒川

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
噫壯烈古賀聯隊長	石黒 宇宙	・一〇〇	〇二二	東洋出版社	大阪
嗚呼軍神肉彈三勇士	木村 長峽	・一〇〇	〇二二	東洋出版社	大阪
肉彈三勇士	千葉 茂平	・五〇	〇二二	東洋書院	本郷
古賀聯隊長	三井 信衛	・五〇	〇二二	金の星社	同
火線を越して	鈴木 氏亨	・七〇	〇二二	先進社	同
滿洲上海事變美談集	山崎 賢一	・七〇	〇二二	紀陽閣	芝
武勳に輝く	藤澤健之介	・一〇〇	〇三三	富山日報社	富山
有馬大將を語る	植木 信行	・一〇〇	〇二八	高踏社	淀橋
富山勇士上海血戦記	豊島 次郎	・五〇	〇二六	金蘭社	豊島
鐵かぶと滿蒙事變	横田 曉川	・二〇〇	〇四三	昭和出版社	札幌
爆彈三勇士	鳴呼忠烈	・五〇	〇二八	日本忠孝教育普及會	奈良
爆彈響の三勇士	爆彈響の三勇士	・五〇	〇二八	和佐野春聲	福岡
肉彈の三勇士	譽れの肉彈三勇士	・五〇	〇二八	大阪朝日新聞社	大阪
譽れの肉彈三勇士	爆彈三勇士の歌	・五〇	〇二八	セノオ音楽出版	芝
爆彈三勇士の歌	爆彈三勇士の歌	・五〇	〇二八	佐藤庄太	江戶
爆彈三勇士の歌	嗚呼三勇士	・五〇	〇二八	文泉閣	荒川
嗚呼三勇士	肉彈三勇士の歌	・五〇	〇二八	文泉閣	荒川

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
少年航空兵志願準備全書	平山 敬止	一・〇〇×	〇	日本航空協會	淺草
陸海軍官費少年航空兵志願寶典	箕輪 香村	〇	〇	極東飛行協會	神田
海軍少年航空兵受驗案内	山崎 一二・八〇	〇	〇	航空社	埼玉
航空志願者の指針	受驗研究會	〇	〇	大阪國民書院	大阪
陸海軍人少年航空兵受驗講義	憲兵練習所	〇	〇	川流堂	豊島
憲兵須知 上・下卷	南海 居士	〇	〇	武揚社	澁谷
幹候短現志願兵必携	二神 眞敬	〇	〇	大日本文化普及社	松山
改訂増補徴兵讀本	同	〇	〇	同	同
男女青年在郷軍人必携歌謠集第一輯	豊橋陸軍教導所 學校將校集會	〇	〇	新得村青年團	北海
昭和七年十月改訂在郷軍人須知	鈴木春次郎	〇	〇	友愛堂	豊橋
國家の干城・新入營者の入隊前後の心得	同	〇	〇	成武堂	豊橋
學校教練軍事講話	同	〇	〇	織田書店	同
學校教練軍事講話提要	同	〇	〇	大光館	神田
中等學校軍事講話提要	同	〇	〇	成武堂	豊島

(四) 地方行政

(ア) 自治研究・選舉・自治績・町村制

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
少年團教範	矢島 實	二・八〇	〇	東學社	澁谷
青年訓練教練必携	田澤 義鋪	二・五〇	〇	帝國兵事協會	豊島
非常時局と青年團	昭和模範青年	〇	〇	日本青年館	四谷
寫真大鑑追録	同	〇	〇	陸軍壯丁教育會	芝
日本自治史觀	長野 朗	六・〇〇	〇	支那問題研究所	澁谷
公民教育資料	櫻田 三郎	五・〇〇	〇	斯文學院	世田
地方自治要諦	小島 憲	五・〇〇	〇	全國町村長會	四谷
非常時と地方自治の振興	挾間 茂	五・〇〇	〇	同	同
地方自治に關する行政學的考察	大塚 辰治	五・〇〇	〇	同	同
町村の議決機關に就て	川村 芳次	五・〇〇	〇	同	同
町村自治運營の建直	篠田 皇民	五・〇〇	〇	東京都民新聞	同
自治團體之沿革	中村 如水	五・〇〇	〇	伊勢新聞社	津市
町村の進むべき道	同	〇	〇	同	同

地方自治の沿革と其人物	濱崎 秀司 <th>一・〇〇〇 <th>〇 <th>自治通信社 <th>熊本 </th></th></th></th>	一・〇〇〇 <th>〇 <th>自治通信社 <th>熊本 </th></th></th>	〇 <th>自治通信社 <th>熊本 </th></th>	自治通信社 <th>熊本 </th>	熊本
政戰の塵語	同	〇	〇	信濃民友社	長野
政戰の後	横山 孝一	〇	〇	公民親政社	埼玉
熊本縣官權彈壓の事實集後篇	鎌田 金藏	〇	〇	東北更新會	宮城
政戰に於ける感激	金澤 松葉	〇	〇	千葉縣統計協	千葉
議員必携	郡仁 清司	〇	〇	自治新報社	静岡
町村會議便覽	同	〇	〇	福岡縣支部聯	福岡
靜岡事件の顛末と岳南自由黨の沿革	同	〇	〇	立憲民政黨大	大分
伊藤四郎野黨の沿革	同	〇	〇	分縣支部	同
福岡縣會を如何に開つたか	同	〇	〇	鎌田 金藏	熊本
第三次普選大分縣選擧干渉調査録	同	〇	〇	國民教育社	豊島
熊本官權彈壓の事實集中篇	同	〇	〇	全國町村長會	四谷
沖繩縣政五十年	太田 朝敷	〇	〇	山口縣町村長	山口
町村會議員の信條	原田 知壯	〇	〇	名古屋市役所	名古屋
宣言決議及議決事項顛末	同	〇	〇	すかも新聞社	豊島
縣會議員總選舉概況	同	〇	〇	東京市役所	豊島
府會議員選舉人名簿・集鴨町	同	〇	〇	同	同
大東京新編入區域世帯及人口・新町丁別	同	〇	〇	同	同

大東京に課せられたる諸問題と其解決方策 <td>栗原 治績</td> <td>五・〇〇</td> <td>〇</td> <td>市政會館内</td> <td>豊島</td>	栗原 治績	五・〇〇	〇	市政會館内	豊島
北海道第二期拓殖計畫の解説	片山 敬次	二・〇〇	〇	野村公平	宮城
日本帝國司法省第三十二行刑統計要旨・昭和五年	同	〇	〇	北海出版社	札幌
同 統計年報	同	〇	〇	司法省行刊局	豊島
白熱化する特市問題	鈴木 武文	五・〇〇	〇	大阪市役所内	大阪
市營八墓地墓籍圖	澤 有三郎	〇	〇	大阪市特別市制期成同盟會	大阪
煙草製造關係要覽	鈴木 武文	五・〇〇	〇	名古屋市勢會	名古屋
郷土科學パンフレツト都市動態の研究	石川 榮耀	七・〇〇	〇	專賣協會	豊島
東京市在職者生計調査	同	〇	〇	東京市役所	豊島
專賣制度前の臺灣の酒	同	〇	〇	東京市役所	豊島
神社行政要綱	都築 春吉	一・〇〇	〇	日進堂	名古屋
淀川左岸水害豫防組合誌後編附圖附表共	同	〇	〇	豫防組合	大阪
第三回全國都市問題會議和七年名古屋議事要録	同	〇	〇	市政調査會内	豊島
男女雇員考課表	同	〇	〇	市政調査會内	豊島
第三回全國都市問題會議研究報告	同	〇	〇	市政調査會内	豊島
同 第二議題編	同	〇	〇	市政調査會内	豊島

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
水道統計及報告 第二十號		四・五〇	〇 五三	東京水道局内 上水協議會	總町
大藏省主税局第五 十七回統計年報告		四・五〇	△ 七九	内閣印刷局	同
拓務要覽昭和六年版		〇 六六	〇 六六	拓務大臣官房 文書課	同
松本市計畫 街路網一般 行動綱領規約	篠田八十八	三・〇〇	〇 〇	日本交通總聯 盟	京橋
戶籍事務協議會 決議類纂	杉山 貞治 進藤 英造	一・五〇	〇 〇	小寺印刷所 旭川	同
第三回全國都市問題會議 會參考資料		〇 〇	△ 〇	市政調査會内 全國都市問題會議 事務局	總町
道路行政研究資料 第一輯	飯村 二郎	〇 〇	△ 〇	内務省内 道路改良會	同
改正内務省土木事業 從業員旅費關係規則		〇 〇	〇 〇	内務省内 道路改良會	同
昭和四年度 直轄工事年報附圖 我が區役所と	片岡文太郎 小館 長右衛門	〇 〇	〇 〇	本郷區役所 本郷	同
百姓は嘆く		〇 〇	〇 〇	縣政評論社 岩手	同
視察事務要綱		〇 〇	〇 〇	兵庫縣水上郡 春日部村役場	兵庫
町村會議員虎の巻	堂森 實藏	〇 〇	〇 〇	谷島屋書店 濱松	同
市税はなぜ高いか	須賀 兼嗣	〇 〇	〇 〇	福島民報支局 福島	同

(イ) 縣市町勢一般

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
市郡併合問題に就て 五百萬都民に訴ふ 地方財政に於ける 一二の問題に就て 横須賀市震災誌 附復興誌	丸山 鶴吉 大村 清一	二・〇〇 一・〇〇	〇 〇	幸ビル三階内 大衆自治社	總町
幡屋村治績		三・〇〇	〇 三六	横須賀日日新聞 關社	同
宇部市制十年誌	山本 秀市	〇 〇	〇 〇	宇部市役所 宇部	同
京都市政便覽	坂 健一	三・〇〇	〇 〇	中央日日新聞 社	京都
大阪都制案		〇 〇	〇 〇	大阪市役所 大阪	同
直方市制記念誌		〇 〇	〇 〇	筑豊之實業社 福岡	同
改正市町村制詳解	行政法研究 會	〇 〇	〇 〇	網島書店 日本	同
町村制の話	中里 民平	〇 〇	〇 〇	東京府廳内 社會教育會東京府 支部	同
那覇市政史		〇 〇	〇 〇	高安 高俊 那覇	同
川越市勢要覽 昭和七年版		〇 〇	〇 〇	川越市役所 川越	同
四日市市勢要覽		〇 〇	〇 〇	四日市市役所 四日市	同
神戸市統計書七 金融及會社		〇 〇	〇 〇	神戸市役所 神戸	同

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
滋賀縣神崎郡勢要覽		〇 〇	〇 〇	町役場内 神崎郡統計協會	滋賀
福井市勢一斑 昭和六年小樽市 統計書		〇 〇	〇 〇	福井市役所 福井	同
門司市勢要覽		〇 〇	〇 〇	小樽市役所 小樽	同
岸和田市統計書 昭和七年版		〇 〇	〇 〇	門司市役所 門司	同
横濱市第廿五回 統計書		〇 〇	〇 〇	岸和田市役所 岸和田	同
鹿兒島市勢要覽		〇 〇	〇 〇	横濱市役所 横濱	同
土岐郡狀勢一般 八戶市勢要覽 (昭和七年版)		〇 〇	〇 〇	鹿兒島市役所 鹿兒島	同
文部統計摘要 (昭和五年版)		〇 〇	〇 〇	日本橋區勢要覽 (第五回)	同
福井市統計一斑 埼玉縣比企郡 小川町勢要覽		〇 〇	〇 〇	最近の和歌山縣 島根鳥取縣勢要覽	同
大宮町勢要覽 昭和六年 青森市勢一覽表		〇 〇	〇 〇	中津市勢要覽	同
岡崎市勢要覽		〇 〇	〇 〇	津山市勢要覽	同
市勢要覽昭和七年 濫谷町勢一斑 (昭和七年)		〇 〇	〇 〇	千葉縣勢要覽 (昭和七年版)	同
		〇 〇	〇 〇	大阪市民と特別市制 東京市勢統計原表 世帯及人口上下 統計上より觀たる 千葉縣の地位 佐世保市勢要覽 (昭和七年)	同
		〇 〇	〇 〇	神戸市勢調查 統計上から 大阪見れば 葉堂手記 入船町名誌 昭和五年日本 帝國死因統計 昭和五年金澤市統 計書(第一一七編)	同
		〇 〇	〇 〇	土屋 玉葉	同
		〇 〇	〇 〇	神戸市役所 神戸	同
		〇 〇	〇 〇	大阪府 大阪	同
		〇 〇	〇 〇	内閣統計局 麻布	同
		〇 〇	〇 〇	金澤市役所 金澤	同
		〇 〇	〇 〇	神戸市役所 神戸	同
		〇 〇	〇 〇	日本橋區役所 日本	同
		〇 〇	〇 〇	知事官房統計 和歌山	同
		〇 〇	〇 〇	西伯都資力調 査會 米子	同
		〇 〇	〇 〇	中津市役所 中津	同
		〇 〇	〇 〇	津山市役所 津山	同
		〇 〇	〇 〇	千葉縣統計協 會 千葉	同
		〇 〇	〇 〇	大阪府内 特別市政期成會 大阪	同
		〇 〇	〇 〇	東京市役所 總町	同
		〇 〇	〇 〇	千葉縣 千葉	同
		〇 〇	〇 〇	佐世保市役所 佐世保	同
		〇 〇	〇 〇	大阪市役所 大阪	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
清水市例規集		〇四七三		清水市役所	清水
橫濱市勢要覽 (昭和六年)		×二四		橫濱市役所	横濱
Statistical Abstract for Osaka		〇三二		大阪市役所	大阪
下松町勢要覽 (昭和七年版)		×三三		大松町役場	山口
上京區勢要覽		〇七〇		上京區役所	京都
静岡市統計書 (昭和六年)		×一七		静岡市役所	静岡
市勢要覽 (昭和七年刊行)		×		同	同
米子市勢要覽 (昭和七年版)		×		米子市役所	米子
昭和六年函館商工會議所年報		△		函館商工會議所	函館
昭和七年版和歌山市勸業統計要覽		×二四		和歌山市役所	和歌山
佐世保市勢要覽		×七		佐世保市役所	佐世保
瀨田町勢要覽		×		瀨田町役場	滋賀
橫須賀市勢要覽		〇		橫須賀市役所	横須賀
金澤市市勢調査 (昭和五年)		△二三		金澤市役所	金澤

(ウ) 租税問題

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
地方税改革問題	神戸 正雄	一〇〇〇	〇九	立命館	京橋
地方税滞納處分精解	永井 有親	二七〇	〇三	廣島稅務協會	廣島
地方税滞納處分精解	同	二七〇	〇三	同	同
相續税の研究	北崎 進	一〇〇	〇三	千倉書房	京橋
相續税の研究	同	一〇〇	〇三	同	同
昭和七年市税特別	吉岡 政夫	六〇〇	〇一	川越印刷所	松本
山形市特別税賦課額	同	六〇〇	〇一	同	同
昭和中七年度	河原三治郎	一八〇	〇三	齊家協會	川口
合法的減税	同	一八〇	〇三	同	同
免稅の實際	藤谷 謙二	二〇〇	〇三	大阪商工會	徳島
我國最近の地租問題	同	二〇〇	〇三	同	同
租税講話	青木 得三	一〇〇	〇三	改造社	芝
小賣店帳簿と營業收益税	柴田 辰平	〇	〇三	字部商工會	宇都
安心して納税の出來	大口 周吉	〇	〇三	帝國稅務協會	下谷
増補新稿 帝國設計豫算の話	河田 烈	八五〇	〇一	財政經濟學會	赤坂

(エ) 警察・消防

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
市町村徴收事務解説	熊本 稅務監	〇		鐵西財務研究會	熊本
印紙稅の制裁を防ぐ道	木村 藤作	〇三〇	〇五	文友堂	仙臺
萬人必携印紙稅の案内	鶴 眞吾	〇三〇	〇七	坂元會計事務所	大阪
法人調査法概論篇	松倉恒次郎	〇三〇	〇二	九州二課會	熊本
改訂加除 市町村財務總覽	同	〇三〇	〇二	良書普及會	小石
警察官の日常經濟知識	渡邊男二郎	〇六〇	〇一	新光閣	神田
新稿警察實務講義補訂	梶田 芳衛	〇	〇五	井上一二三館	名古屋
警察練習書上卷	同	二〇〇	〇〇	松華堂	神田
最新警察書大全	同	一五〇	〇六	同	同
警視廳統計書第四十一回 (昭和六年)	百鳥 喜一	△四五	〇四	新光閣	神田
最新警察講義訓示大成	同	〇	〇〇	愛知縣警察練習所	愛知
警察教科書	竹田 直平	〇八〇	〇一	教育會館	神田
犯罪徵表說	同	〇八〇	〇一	同	同
捜査戰線秘録	楠瀬 正澄	〇七五	〇二	新光閣	同
刑事の眼記者の足	同	〇七五	〇二	同	同
警察官吏實務必携臨檢須知	柿添 榮	〇四〇	〇一	江島日進堂	門司
警察史研究	田村 豐三	二〇〇	〇二	良書普及會	小石
社會警察常識概論	小田川松造	二〇〇	〇二	日本警察社	神田
警察叢書二警察心鑑	石原雅二郎	二〇〇	〇二	同	同
臺東廳警察法規	臺東廳警務課	〇三〇	〇二	帝國地方行政學會	京橋
最近警察實務判例集	柏倉 光三	〇八〇	〇〇	松華堂	神田
賭博通覽	立花高四郎	〇二〇	〇二	先進社	本郷
これ以上は禁止ある檢關係長の手記	吉原 秀夫	〇三〇	〇〇	福岡縣警察練習所	福岡
警察文書論	清水 重夫	〇三〇	〇〇	警務研究會	神田
警察官執務提要	同	〇三〇	〇〇	同	同
警察實務教本	同	〇三〇	〇〇	同	同
保安警察篇二	栗原 隆平	〇八〇	〇三	同	同
特高警察要綱	尾形 隆平	〇八〇	〇三	同	同
巡查受驗提要	山口祐太郎	〇一〇〇	〇〇	同	同
滿洲巡查養成講義錄上・下二冊	同	〇	〇〇	滿洲巡查養成會	神田
愛媛縣巡查採用試驗問題集	同	〇	〇〇	愛媛縣警察課	愛媛
性的犯罪考	海老名 靖	一八〇	〇三	同	神田
捜査資料犯罪實話集	同	〇九〇	〇二	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
昭和六年 福岡縣警察要覽	警察講習會	〇	×	〇	福岡縣警察部	福岡
警察講習會第二 (保安警察篇)	警察講習會	〇	〇	〇	其發行所	福岡
警察實務教本二	警察講習會	〇	〇	〇	松華堂	神田
消防式辭揆抄集	菅野 久一	〇	〇	〇	大日本消防學會	芝
國民消防讀本	菅野 久一	〇	〇	〇	國民安全協會	大阪
飯田 消防史	飯田 逸造	〇	〇	〇	南信消防新聞社	長野
火災の恐威と火の用心	山内 逸造	〇	〇	〇	警察部保安課	島根
ガソリン	中村達太郎	〇	〇	〇	根縣聯合消防協會	島根
ボンブ講習教材	中村達太郎	〇	〇	〇	大日本消防協會	神田
給水給湯及消火設備	小宮 正彌	〇	〇	〇	善橋	日本
手帳ガソリン自動車	小宮 正彌	〇	〇	〇	大日本消防協會	神田
ボンブ實地取扱法	小宮 正彌	〇	〇	〇	警察部内福島縣消防協會	福島
福島縣消防沿革史	大坂府消防統計書	〇	〇	〇	大阪府警察部	大阪
大阪府消防統計書	大坂府警察部	〇	〇	〇	奈良縣警察部	奈良
消防概論	大坂府警察部	〇	〇	〇	奈良縣警察部	奈良

乙 法律

法學年報昭和六年	孫田 秀春	〇	〇	〇	法政大學法律學會	神田
改訂・法學通論	東京高等學校	〇	〇	〇	有斐閣	神田
法學通論	東京高等學校	〇	〇	〇	有斐閣	神田
全訂・法學通論	中村 萬吉	〇	〇	〇	東山堂	牛込

イ 外國法制

ソヴェト法論第四卷 刑法監獄法裁判法參考書目	山之内 一郎	〇	〇	〇	希望閣	神田
カピタン 佛蘭西民法の變遷	杉山直次郎	〇	〇	〇	梓書房	同
英米法教材 英米法の基本概念及制度	高柳 賢三	〇	〇	〇	有斐閣	同
獨逸抵當制度論	末延 三三	〇	〇	〇	有斐閣	同
	宮崎 一雄	〇	〇	〇	清水書店	同

ウ 各種法制研究・勞働・陪審法

航空法論 第三卷	山名 壽三	〇	〇	〇	有斐閣	神田
占有理論	岩田 新	〇	〇	〇	岩波書店	同
賠償及戰債問題	岡野 鑑記	〇	〇	〇	森山書店	同
世界法の理論第一卷	田中耕太郎	〇	〇	〇	岩波書店	同
資本逃避防止法の解釋と運用	綠川 光雄	〇	〇	〇	大同書院	同

(政治・外交・軍事・法律) 法學・六法釋義

ア 法制史・法學研究・通論

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
法制史研究一 法律史と法制史との限界	飯田 忠純	〇	〇	〇	高原書店	京橋
法律史話	瀧川政次郎	〇	〇	〇	巖松堂	神田
中世私法史	栗生 武夫	〇	〇	〇	弘文堂	京都
法學論纂	船田 享二	〇	〇	〇	刀江書院	神田
マルクス・エンゲルスに於ける史的唯物論と法律	平野義太郎	〇	〇	〇	大畑書店	同
自然法學と法實證主義	黒田 覺	〇	〇	〇	同	同
自然法の社會化	森吉 義旭	〇	〇	〇	四條書房	同
儒帝法學撮要	春木 一郎	〇	〇	〇	刀江書院	同
重要語彙譯	横田喜三郎	〇	〇	〇	大畑書店	同
ケルゼンの純粹法學	他 四氏	〇	〇	〇	巖松堂	同
早稻田法學第十二卷	中村 宗雄	〇	〇	〇	巖波書店	同
法學研究一	東京商科大學	〇	〇	〇	章華社	同
法律哲學概論	森吉 義旭	〇	〇	〇	章華社	同

イ 公益企業法案

公益企業法案	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
日本水制工論	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
日本國債法論	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
不法行為論	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
勞働法大意	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
勞働法上卷	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
佛蘭西勞働組合法制	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
カピタン 佛蘭西民法の變遷	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
勞働法提要	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
陪審法條文	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
普通選舉法	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
陪審法要論	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
陪審法解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
陪審法解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田

ロ 六法釋義

繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
The New Japanese Law on Bills of Exchange and Promissory Notes	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田
繪入陪審法の解説	眞田 秀吉	〇	〇	〇	巖松堂	神田

二二九

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	所住
英國憲法論	河野 正通	一・〇〇〇	二〇八	〇	北星堂	赤坂
同憲法官制關係法	アグネス・ヘッド ラムモレー 山之内 一郎	一・六〇〇	三三四	〇	大日本法令普及會	赤坂
歐洲新憲法論	清水 澄	二・五〇〇	三三〇	〇	有斐閣	赤坂
逐條帝國憲法講義	野村 淳治	二・八〇〇	四四〇	〇	有斐閣	赤坂
憲法提要 上卷	佐々木惣一	一・五〇〇	七〇五	〇	金刺芳流堂	同
日本憲法要論	美濃部達吉	一・五〇〇	六二六	〇	有斐閣	赤坂
憲法撮要	同	一・五〇〇	三三三	〇	大日本法令普及會	赤坂
同議會關係法	同	一・五〇〇	三三三	〇	大日本法令普及會	赤坂
註釋日本民法總則編	近藤 英吉	四・八〇〇	六〇〇	〇	松翠堂	赤坂
民法總則講義案	永田菊四郎	〇	一七〇	〇	松翠堂	赤坂
法律要覽叢書 第二分冊	普文學會	〇	三三四	〇	清水書店	同
物權法要覽	中島 弘道	〇	二四〇	〇	松翠堂	同
物權法 上卷	同	〇	二四〇	〇	松翠堂	同
日本物權法論	小池 隆一	二・五〇〇	三三七	〇	清水書店	同
物權法論	石田文次郎	四・〇〇〇	六三三	〇	有斐閣	赤坂
物權法民法講義二	我妻 榮	二・二〇〇	三三四	〇	岩波書店	同
債權法總論概說	勝本 正晃	二・八〇〇	四三三	〇	松翠堂	赤坂
債權法總論	平沼騏一郎	三・五〇〇	三九二	〇	日本大學出版部	同
債權法總則	岡村 玄治	三・〇〇〇	三三三	〇	松翠堂	赤坂
改訂債權法總論	和田 宇一	一・八〇〇	二二五	〇	大同書院	同
親族法大綱第四分冊	藥師寺志光	三・五〇〇	四二一	〇	大芳社	赤坂
增訂借地法借家法論	東伯郡土地	三・〇〇〇	三〇〇	〇	因伯時事評論社	赤坂
東伯郡土地 賃賃價格表	高村壽惠雄	二・八〇〇	三三〇	〇	森山書店	同
新制抵當證券法釋義	石田文次郎	二・八〇〇	三三四	〇	有斐閣	赤坂
投資抵當權の研究	田中 春吉	一・八〇〇	一〇一	〇	大阪稅務監督局 大阪財務協會	同
地租法耕地整理法	外 二名	一・八〇〇	一〇一	〇	松井千代造	同
不動產抵押證券並之	竹内 恒吉	三・〇〇〇	三〇〇	〇	銀行問題研究會	同
に關する勅令司令寫	古谷 善亮	一・五〇〇	二二六	〇	鐵道同志會	同
抵當證券法研究	同	一・五〇〇	二二六	〇	鐵道同志會	同
鐵道軌道自動車	同	一・五〇〇	二二六	〇	鐵道同志會	同
抵當法の研究	同	一・五〇〇	二二六	〇	鐵道同志會	同

(ウ) 商法

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	所住
商法總則概論	田中耕太郎	二・八〇〇	三七一	〇	有斐閣	赤坂
商法大系 總則編	長場 正利	二・五〇〇	二六三	〇	松翠堂	赤坂
英文日本商法	法典英譯委員會	〇	八〇〇	〇	國際聯盟協會	同
商法總則	竹田 省	二・〇〇〇	二五二	〇	弘文堂	赤坂
英文日本商法	法典英譯委員會	〇	二九〇	〇	國際聯盟協會	同
商法總論	鳥賀陽然良	一・〇〇〇	一三三	〇	弘文堂	赤坂
商法體系 總則編	馬場 正利	〇	九七	〇	松翠堂	赤坂
コンサイス法律便覽	大橋 光雄	〇	四三	〇	大同書院	同
商行為法講義	村瀨 直養	〇	三〇	〇	有斐閣	赤坂
商行為法	同	〇	三〇	〇	有斐閣	赤坂
海商法の獨自性	小町谷操三	〇	一三	〇	有斐閣	赤坂
海商法講義要訣	田中耕太郎	〇	一八六	〇	田中耕太郎	同
海商法論 上卷	鳥賀陽然良	〇	二〇〇	〇	弘文堂	赤坂
海商法要義 上卷	小町谷操三	〇	三三三	〇	岩波書店	同
再訂增補會社法概論	田中耕太郎	〇	六六	〇	同	同
會社法講義案上卷	松岡熊三郎	三・五〇〇	二九四	〇	明治大學出版部	同
改訂 會社法便覽	同	〇	七〇	〇	文信社	同
コンサイス法律便覽	同	〇	九〇	〇	文信社	同
法律上より見たる	栗栖 越夫	〇	二〇七	〇	大同書院	同
會社法の整理	椎津 盛一	一・八〇〇	二七〇	〇	松翠堂	赤坂
會社法要義	南 正樹	〇	二六	〇	松翠堂	赤坂
保險業法講義	荒川 五郎	二・二〇〇	二四〇	〇	新井正三郎	同
改正手形法正解	平尾 廉平	一・八〇〇	二二二	〇	大同書院	同
新手形法詳解	局 司法省民事	一・二〇〇	二二〇	〇	松翠堂	赤坂
新舊對照改正	大橋 光雄	〇	五〇	〇	有斐閣	赤坂
手形法釋義	局 司法省民事	一・二〇〇	二二〇	〇	松翠堂	赤坂
手形法說明書附手形法	同	一・二〇〇	二二〇	〇	松翠堂	赤坂
及商法手形編對照	同	一・二〇〇	二二〇	〇	松翠堂	赤坂
新統一手形法論	梶 康郎	一・五〇〇	二九二	〇	松翠堂	赤坂
國際聯盟經濟叢書手形法	同	一・五〇〇	二九二	〇	松翠堂	赤坂
國際統一手形法の改正	同	一・五〇〇	二九二	〇	松翠堂	赤坂
正手形法の改正	同	一・五〇〇	二九二	〇	松翠堂	赤坂
正手形法の改正	同	一・五〇〇	二九二	〇	松翠堂	赤坂
書式判例新手形法	同	一・五〇〇	二九二	〇	松翠堂	赤坂
改正日本手形法	同	一・五〇〇	二九二	〇	松翠堂	赤坂
改正手形法註解	菰淵 清雄	〇	二九七	〇	松翠堂	赤坂
新手形法	竹内 恒吉	〇	四六四	〇	銀行問題研究會	同
新舊手形法異	岩井 尊文	〇	二九	〇	岩井尊文法律事務所	同

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
英米契約法原理	谷口 和平	四・八〇〇	二五八	有斐閣	神田
契約法講義要領	三瀨 信三	三・七〇〇	一八〇	同	同
契約 總論	末川 博	一・八〇〇	二二二	弘文堂	京都
兵庫縣衆議院議員 選舉之榮	×	×	×	神戸通信社	神戸
選舉後援虎の巻	〇・七〇〇	〇・七〇〇	二二	日本プロレタリア 文化聯盟大阪地方 協議會	大阪
衆議院議員 麻布區選舉人名簿	〇・二〇〇	〇・二〇〇	三	雄文社	神田
				區民新報社	麻布

(五) 刑法

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
刑法概論 總論	島田 武夫	一・八〇〇	二二二	有斐閣	神田
刑法 讀本	瀧川 幸辰	一・二〇〇	二九	教育會館內 大畑書局	同
刑法の基本問題	奈良 正路	四・〇〇〇	五五	小川町ビル 淺野書店	同
刑法講義 各論	小野清一郎	二・〇〇〇	〇〇	有斐閣	同
刑法 講義	同	四・〇〇〇	六二	同	同
改訂版日本刑法 第一分冊	牧野 英一	三・〇〇〇	五三	同	同
改訂日本刑法	同	六・五〇〇	九八	同	同

(才) 訴訟法(民事・刑事)

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
改訂日本刑法 第二分冊	牧野 英一	三・〇〇〇	五三一	有斐閣	神田
刑法講義 總論	小野清一郎	三・〇〇〇	九八	同	同
刑法總則改正假案 手形法案	〇	〇	〇	同	同
刑事先例彙纂	司法省刑事 局	三・五〇〇	三三	松華會	同
陸軍刑法講義	岡村 峻兒	一・三〇〇	三三	良榮堂	麻布
民事訴訟法の通俗化 と訴訟の實際知識 の移送に關する研究	峯川 宏之 鈴木 啓史	二・八〇〇	七三	民衆法令普及 會	澁谷
一九二四年ヨーク アントワープ規則	野間 繁	二・八〇〇	〇〇	淺井義嗣	同
脚註訴訟記録	潮 道佐	二・五〇〇	四四	立興社	神田
刑事訴訟法質疑回答 通牒協議並列例綜覽	牧野 英一	四・五〇〇	五三	有斐閣	同
重訂・刑事訴訟法 要綱	平井彦三郎	六・五〇〇	六三	松華堂	同
刑事訴訟法要覽	普文學會	八・〇〇〇	三〇	清水書局	同
改正刑事訴訟法要覽	池田實二郎	一・五〇〇	二六	岩波書店	同
仲裁と調停	同	〇	〇	同	同

(カ) 行政法

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
破産法研究第八卷	加藤 正治	四・五〇〇	五二	有斐閣	神田
法律要覽叢書 行政法要覽下	普文學會	八・〇〇〇	三三	清水書局	神田
衛生行政法	龜山 孝一	二・八〇〇	五〇	松華堂	同
日本行刑法總論	淺井 清	三・〇〇〇	三七	松華堂	同
行政法要論	天川 信雄	一・二〇〇	一六	明善社	本郷
規範的行政法學	中村彌三次	二・〇〇〇	二五	敬文堂	牛込
行政法撮要下卷上冊	美濃部達吉	一・五〇〇	二五	有斐閣	神田
行政法撮要下卷中冊	同	一・〇〇〇	二五	同	同
改訂第三版 行政法撮要下卷下冊	同	一・八〇〇	四三	同	同
行政法講義 總論	同	四・六〇〇	七八	同	同
行政法講義 上・下卷	渡邊宗太郎	一・三〇〇	二二	弘文堂	京都
衛生法典 上・下卷	內務省衛生 局	〇	〇	日刊內務通信 社	中野
鐵道行政法下	菱谷物太郎	〇	〇	大阪鐵道局 教習所同窓會	神戸
實務理論行政執行法	沼田 照義	〇	〇	松華堂	神田
改正衆議院議員 選舉法	井上 圓三	五・〇〇〇	二四	清水書局	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
選舉運動取締規範	小林 尋次	一・五〇	〇一	良書普及會	小石川
間接國稅犯則者	藤塚 林平	二・〇〇	〇三	日本法律研究會	本郷
國外に重點を置く警察法大要	志保澤喜多	二・〇〇	〇三	新光閣	神田
警察法要論	田村 豊	一・八〇	〇三	松華堂	同
銃砲火藥類取締に就て	赤井 清一	〇・〇〇	〇三	火藥商組合事務所	岐阜
銃砲火藥類取締法要義	飯田 包亮	一・〇〇	〇二	警眼社	日本橋
全訂改版監獄法概論	正木 亮	一・三〇	〇三	有斐閣	神田
日本寺院法講話	森 岩太郎	七・〇〇	〇三	太陽社	豊島

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
法律綱要公法編	中野登美雄	一・五〇	〇二	雄風館	神田
現代公民講座 法律綱要公法篇	同	一・〇〇	〇二	同	同
國際私法第一冊分	山田 三良	一・八〇	〇二	有斐閣	同
國際私法第二冊分	同	一・八〇	〇二	同	同
國際公法要論	大竹 綠	一・五〇	〇二	大芳社	小石川
國際法學上	天野 德也	三・九〇	〇二	松堂	神田
國際法講義第一卷	橫田喜三郎	一・三〇	〇二	有斐閣	同
國際關稅問題	立作太郎	二・八〇	〇二	外交時報社	豊島
改訂國際條約集	同	一・三〇	〇二	同	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
判決總攬上・中・下	半田健次郎	二・五〇	各約	判決例調査所	愛知
判決總攬民事訴訟法	同	四・八〇	〇九	同	名古屋
判決要録第二十二卷	大橋九平治	六・〇〇	〇九	法律新聞社	日本橋
刑事判決書研究	中島 英次	四・八〇	〇六	文英社	神田
最近會社法判決實例集	同	四・八〇	〇六	同	同

(十) 六法全書・國際法

(三) 判決例

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
帝國六法全書	山野 金藏	二・五〇	〇〇	有斐閣	神田
新式六法全書	澁谷 惠	二・〇〇	〇〇	一新社	本郷
實務用六法全書	柴田 義彦	五・〇〇	〇〇	常磐書房	小石川
二色刷六法全書	鈴木 義男	三・八〇	〇〇	創造社	神田
參照條文六法全書	帝國法律研究会	四・〇〇	〇〇	帝國法律研究会	本郷
模範六法全書	同	一・〇〇	〇〇	同	同

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
判例研究第七卷	半田健次郎	三・八〇	〇〇	判決例調査所	名古屋
判例百話	穂積 重遠	二・〇〇	〇〇	日本評論社	神田
判例大完六	法學研究会	〇〇	〇〇	常磐書房	小石川
判例大完一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完二十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完三十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完四十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完五十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完六十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完七十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完八十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十一	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十二	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十三	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十四	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十五	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十六	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十七	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十八	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完九十九	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同
判例大完一百	民法總則債權	〇〇	〇〇	同	同

(四) 各種法令・法規集

(ア) 六法・法令全・地方廳令

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
加除自在現行法令	恒田 嘉文	五・五〇	〇〇	好文章	神田
輯覽第一・二・三輯	同	四・五〇	〇〇	同	同
現行法令大全	白川 一雄	三・九〇	〇〇	白東社	東京
追録昭和七年十三號	瀧本 誠一	一・五〇	〇〇	法律新聞社	日本橋
追録昭和七年九號	同	〇〇	〇〇	同	同
追録昭和七年七號	同	〇〇	〇〇	同	同
追録昭和七年五號	同	〇〇	〇〇	同	同
追録昭和七年三號	同	〇〇	〇〇	同	同
追録昭和七年一號	同	〇〇	〇〇	同	同
最近法令集	同	〇〇	〇〇	同	同
帝國六法全書附錄	同	〇〇	〇〇	同	同
法全書	同	〇〇	〇〇	同	同
昭和七年十一	同	〇〇	〇〇	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
京都府交通取締規則中運轉手免許試験に關する法規問答集	小島 保之	〃	〃	〃	京都府自治會	京都
自動車取締令及宮城縣施行規則	〃	〃	〃	〃	東京自動車學校	東京
自動車道取締法規集	〃	〃	〃	〃	東京自動車學校	東京
現代海軍法令	吉川 巖	〃	〃	〃	海文堂	神戸
機關士用海軍法令類聚	〃	〃	〃	〃	海文堂	神戸
海軍關係法規	〃	〃	〃	〃	海文堂	神戸
海軍關係法規便覽補遺	〃	〃	〃	〃	海文堂	神戸
岡山縣學事法規輯覽	岡山縣學事法規輯覽	〃	〃	〃	岡山縣學事法規輯覽	岡山
現行學事關係法規	〃	〃	〃	〃	岡山縣學事法規輯覽	岡山
現行學事法規全輯	〃	〃	〃	〃	岡山縣學事法規輯覽	岡山
茨城縣教育法規摘要	〃	〃	〃	〃	茨城縣教育法規摘要	茨城
實業教育關係法規	〃	〃	〃	〃	茨城縣教育法規摘要	茨城
療術家關係法規集	〃	〃	〃	〃	茨城縣教育法規摘要	茨城
學務局	文部省	〃	〃	〃	文部省	東京
小島 保之	〃	〃	〃	〃	〃	〃
齒科醫師關係法規要覽	加除自在	〃	〃	〃	加除自在	東京
最新藥事法令釋義	〃	〃	〃	〃	〃	東京
現行日本衛生醫藥法規全書	〃	〃	〃	〃	〃	東京
美容術營業關係法令	〃	〃	〃	〃	〃	東京
現行兵庫縣宗教法規	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
改訂名理葬印鑑身分關係例規類集	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
憲法裁判所構成法恩給法	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
民法訴訟法	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
馬法破産法和議	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
同 刑法訴訟法	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
同 地方制府縣制市制町村制	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
同 民法	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
改訂郵便貯金法規要論	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
酒造稅法講話の要領	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
未決拘禁規程	〃	〃	〃	〃	〃	兵庫
銀行法律性質疑解答集	多田 欽三	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
盜犯等の防止及處分に關する法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
知つて利益の法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
時局匡救法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
參考條文附法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
便利重寶	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
婚姻法の話	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
路上の辯護士	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
救護法に關する質疑應答集	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
借金切掛けの秘訣	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
有罪か無罪か明治の珍裁判	大澤 一六	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
裁判實話貞操の法律	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
海上衝突豫防法	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 文官養成講座三	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 民法要諦	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
新與文化學	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
黑澤松次郎	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
龜谷正司	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
武藤新次郎	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
星 嘉悦	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
川上 清	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
三田村武夫	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
落合 正隆	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
帝國協調會	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
敬神尊皇會	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
大京社	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
中山海士學館	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 大日本國民會	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 神田	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪

(才) 學事・藥事・其他雜

(五) 通俗法律知識

(ア) 法律知識

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
那威國風紀及性病取締法規	溝淵 孝雄	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
日本公證人法綱領	〃	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
市街地建築物法	〃	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
市町村條例大全	〃	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
健康保險法の要點	〃	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
瑞西保險契約法	〃	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
日本保險關係法	〃	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
統一船荷證券法論	〃	〃	〃	〃	溝淵孝雄會社	東京
法律の相談	絲山 貞規	〃	〃	〃	新日本社	東京
法律相談	大平 久三	〃	〃	〃	新日本社	東京
農村生活の中心法律	森 岩太郎	〃	〃	〃	新日本社	東京
常識涵養	岩崎 徂堂	〃	〃	〃	新日本社	東京
市町村名本位裁判	水野 嘉藏	〃	〃	〃	新日本社	東京
所登記所管轄便覽	〃	〃	〃	〃	新日本社	東京
銀行法律性質疑解答集	多田 欽三	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
盜犯等の防止及處分に關する法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
知つて利益の法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
時局匡救法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
參考條文附法律	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
便利重寶	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
婚姻法の話	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
路上の辯護士	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
救護法に關する質疑應答集	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
借金切掛けの秘訣	〃	〃	〃	〃	銀行問題研究會	大阪
有罪か無罪か明治の珍裁判	大澤 一六	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
裁判實話貞操の法律	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
海上衝突豫防法	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 文官養成講座三	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 民法要諦	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
新與文化學	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
黑澤松次郎	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
龜谷正司	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
武藤新次郎	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
星 嘉悦	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
川上 清	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
三田村武夫	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
落合 正隆	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
帝國協調會	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
敬神尊皇會	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
大京社	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
中山海士學館	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 大日本國民會	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪
同 神田	〃	〃	〃	〃	敬神尊皇會	大阪

(政治・外交・軍事・法律) 各種法令・法規集・通俗法律知識

九ポイント系統の活字の大きさ

號數活字

四十二ポイント

三十六ポイント

は種々の点

三十ポイント

に短所を有す

二十七ポイント

乍然ポイント式

二十四ポイント

活字は大きに一

二十一ポイント

定の基準を與へて

十八ポイント

其の數的關係を表は

十五ポイント

した所に長所がある。ポ

十二ポイント

イント式に依れば十ポイント

九ポイント

一つの知識さへあれば二十ポイントは

六ポイント

其二倍、九ポイントは一割小さいといふ關係を簡單に知る

第九類 經濟・財政・社會

(甲) 經濟學

(一) 經濟學・經濟學史・研究

書名	著譯者	定價	形態 頁數	發行所	所住
經濟學原論	古屋 美貞	三・〇〇	四六六	内外出版印刷會社	京都
經濟概論各論一	河津 暹	三・〇〇	二六六	北川淳一郎	松山
經濟原論	高田 保馬	三・〇〇	二四〇	岩波書店	神田
經濟學新講第五卷 變動の理論	北澤新次郎	二・〇〇	二八〇	泰文社	牛込
經濟概論	高橋 龜吉	一・五〇	五三三	千倉書房	京橋
經濟學の基礎知識	山崎覺次郎	二・〇〇	二二九	有斐閣	神田
全訂改版經濟原論	小汀 利得	二・五〇	〇	千倉書房	京橋
實驗經濟學	武田 鼎一	二・〇〇	三五六	敬文堂	牛込
全體觀的社會經濟學	猪俣津南雄	一・五〇	〇	中央公論社	麹町
金の經濟學			九三三		
經濟科學綱要	大野 信三	三・八〇	〇	敬文堂	牛込
經濟組織論	北澤新次郎	三・〇〇	〇	泰文社	同
戰争經濟學	A.C.ヒゲイ	一・二〇	〇	内外社	同
重商主義經濟學說	高橋誠一郎	五・〇〇	〇	改造社	同
農業經濟學	カウツキ 逸郎	二・八〇	〇	中央公論社	同
農政と濟高岡熊雄先生在 聯年紀念論文集	向坂 逸郎	四・五〇	〇	北海道帝國大學農學部農業經濟學教授	北海
ロンドン大學に於ける經濟學及商業學	堀部 靖雄	一・〇〇	〇	高等商業學校研究會	長崎
社會經濟評論	社會經濟研究會	一・〇〇	〇	叢文閣	麹町
經濟國家主義	詩川 健藏	一・三〇	〇	崇文堂	神田
商工經濟要論	河田 嗣郎	二・〇〇	〇	金港堂	京都
工業經濟研究第一冊	工業經濟研究會	八〇〇	〇	森山書店	神田
戰争經濟學	正木 千冬	一・〇〇	〇	一元社	本郷
ロバート・オウエン 著 經濟學史	五島 茂	一・〇〇	〇	大阪商科大學經濟研究會	大阪
マインアルに據る 經濟學講義	佐原 貴臣	二・五〇	〇	寶文館	日本橋
經濟學研究一	東京商科大學	一・八〇	〇	岩波書店	神田
理論經濟學講義 第一冊	松浦 要	二・〇〇	〇	巖松堂	同

(經濟・財政・社會) 經濟學・經濟學史・研究

合名會社 裳華房刊行優良科學書

東京市麴町區中六番町五十四番地
振替東京百七・電話九段千拾・千拾五

竹内端三著	函數論上	3.80	.21	寺澤寬一著	力學通論	2.50	.21
竹内端三著	函數論下	3.00	.21	寺澤寬一著	力學	2.00	.21
高須鶴三郎著	微積分學深義第一卷 微積分學	6.80	.33	平塚忠之助著	高等力學	2.80	.21
高須鶴三郎著	微積分學深義第二卷 積分學	7.80	.33	久未啓一著	一般力學	4.50	.21
竹内端三著	高等微分學	3.00	.21	野田哲夫著	變形する物體力學	4.00	.21
竹内端三著	高等積分學	2.50	.21	酒井澤明著	理論電氣磁氣學	6.00	.33
渡邊孫一郎著	新編高等代數學	2.40	.21	坂井澤三著	物理學	4.00	.21
渡邊孫一郎著	數學諸論大要	2.00	.21	寺澤寬一著	物理學	4.00	.21
渡邊孫一郎著	初等微分積分學	3.00	.21	小谷正雄著	物理學	5.00	.33
渡邊孫一郎著	初等解析幾何學	1.50	.15	山内恭彦著	物理學	8.50	.33
杉村欣次郎著	高等平面三角法 附五行常用對數表	1.80	.15	平塚忠之助著	重學	3.00	.21
杉村欣次郎著	高等解析幾何學	2.50	.21	平塚忠之助著	熱學	2.70	.21
高須鶴三郎著	高等立體幾何學	1.30	.15	平塚忠之助著	光學(一部)	2.30	.21
加藤平左門著	高等三角法 附對數表	2.80	.21	平塚忠之助著	波動・音響・物理光學	3.00	.21
加藤平左門著	高等三角法 附對數表	2.80	.21	平塚忠之助著	電氣學磁氣學上	3.00	.21
杉村欣次郎編	五行常用對數表 附對數表	3.80	.33	平塚忠之助著	電氣學磁氣學下	3.00	.21
福田正雄著	高等圖學	3.80	.33	久未啓一著	初等ベクトル解析	1.30	.06

廣 一三〇

◆ 婦人之友の書籍 ◆

1. 水町たづ子著 趣味と實用の日本料理	送料價 八一 錢圓
2. 山田政平著 素人に出来る支那料理	送料價 八一 錢圓
3. 家庭で出来る和洋菓子	送料價 八一 錢圓
4. 大平茂著 家庭向きフランス料理	送料價 八一 錢圓
5. 田中よね子著 四季の家庭料理	送料價 八一 錢圓
醫學博士 田村均著 育兒讀本	送料價 十一圓三十錢
醫學博士 大森憲太氏著 母と子の榮養學	送料價 十一圓三十錢

東京市豊島區 婦人之友社 振替東京百七・電話九段千拾・千拾五

婦人子供洋服裁縫講習録 (全六卷)

1. 春から秋の婦人子供服	定價 一冊 九圓八十錢
2. 婦人・子供服の縫製	定價 一冊 九圓八十錢
3. ストラスカートの縫製	定價 一冊 九圓八十錢
4. 供用下着一切	定價 一冊 九圓八十錢
5. セーラー服、男児の下着	定價 一冊 九圓八十錢
6. 夕又・子供服、結婚式服、喪服	定價 一冊 九圓八十錢
7. 赤坊から歩きはじめまで	定價 一冊 九圓八十錢
8. 赤坊から歩きはじめまで	定價 一冊 九圓八十錢
9. 赤坊から歩きはじめまで	定價 一冊 九圓八十錢
10. 赤坊から歩きはじめまで	定價 一冊 九圓八十錢
11. 赤坊から歩きはじめまで	定價 一冊 九圓八十錢
12. 赤坊から歩きはじめまで	定價 一冊 九圓八十錢

豊川エルザ著
毛糸あみもの全集 (全二卷)
定價 二冊 二圓八十錢
三冊 三圓八十錢

廣 一三二

香 月 秀 雄 著
刊新 自力全國優秀農家組合行脚

帝國農會幹事 岡田 溫著

改 增 補 版
農業經營と農政

農業技師 折目 六右衛門 著

好評 重版
農事小組活動の實際

前肥料検査官 長谷川 喜直 著

好評 重版
肥料詳説

農業技師 折目 六右衛門 著

好評 重版
成功せる農村振興策

理學士 小山 一郎 著

好評 重版
日本産石材精義

最新、工學普及會 編

刊新
建築標準規格解説

盛岡高等農林學校教授
ドクトル・オヴ・ヒロソフ・イ

好評 重版
動物學概論

農學博士 山田玄太郎 鳥取高農 助教 松浦 勇著

刊新
菌類界の特異現象

河 田 烈述

增補 新稿
帝國歳計豫算の話

農村發達上の堅實なる細胞として將來を期待されてゐる全國十二萬餘の農家組合は、各地の發達を遂げ、統一された指導規程を有せぬのは一大缺陷である。農事實行組合の先覺者たる著者は之を選ばせぬ自ら全國優秀農家組合を行脚踏査して、組合發達史、會則、活動の現況等を平易に且つ興味ある紀行文體を以て本書を公刊す。實に農村更上の好參考資料なり。
(菊判クローズ装函入美本、本文二百九十二頁、假名附、定價二圓五拾錢、書留送料金卅三錢)

日本の農業は如何なる理論の下に經營基準を置き農業政策を樹つべきか、如何なる理論の下に農村生活を考究し小作問題等を批判すべきか、これ等を始め農産物の價格並に生産費問題、食糧問題等を未解決の諸問題と鮮かに處理し農業に關する指導原理を明確にし、經營改善の方針及び要項、農村振興の方策を啓示して簡單に理解せしむる近來の名著である。
(菊判洋裝背蓋本文五百三十頁、定價三圓八十錢、書留送料卅三錢)

本書は、著者の唱導する獨自の小組活動の方策を疲弊頹滅の農村に適用して天下の模範村たらしめたる過去七年間の體驗録を中心として、著者はこれに對して、發賣以來全國町村役場、農會、學校等に於て、記録的歡迎を受けつゝあり、農村救濟農事振興の指導原理を科學的に記述し、形骸せる小組の方式は、現下行詰る農村に對する救済の神である。
(四六判洋裝總假名附本文四百五十頁、定價二圓廿錢、書留送料廿一錢)

多年肥料の分析鑑定に従事し、或は其の供給の實際を觀察して研鑽し、改訂せる著者が、實地を掃つて農村振興のために提供せる肥料に關する著書中の傑作である。理論に偏重せず實際上の指導書たるの眞に傑出せるの故を以て新刊早々各地農學學校、農事試驗場等に於て好んで用され、重版増版の盛況である。これ眞に農家必備の書。
(菊判本文五百三十頁洋裝別冊分折表四十葉、定價三圓八十錢、書留送料卅七錢)

本書は、著者が農村青柳村に著者獨特の振興策所謂折目式振興策なるものを適用して七年間の農家の年收を三倍にし、同村を共存共榮の理想郷とするに至るまでの貴重な經驗談を詳述せるもので、各地方に於てその特色環境農作物副業等の現況に鑑みてこの振興策を應用し得る條親切に述べられてゐる。小組活動の實際の姉妹篇として好評。
(菊判洋裝總假名附本文二百五十頁、定價二圓八十錢、書留送料卅三錢)

新設事業の建築用石材採定に著者が拾數年を費して究つた豊富な資料と貴重なる記録とを新なる研究を添加して編纂したのが本書である。石材の種類、分布、性質、組織、成分、風化、強度等から産地の地理採石の法、質量運材等に至る迄土木建築業者の知らんことを一切を網羅した寶典である。
(四六倍判製本文二百九十餘頁、原色版各種石材標本九十六圖、本邦石材產地他高眞圖版百四十四圖、定價七圓、書留送料四十五錢)

本書は、工業品規格統一調査會の決定告示せる日本標準規格中から建築土木に關する重要なもののみを選出輯録し、從業者の便宜のためこれに簡單なる解説を附したるものにして携行至便の小冊子である。製品の標準化、技術の合理化、更に商業の合理化のために本書を利用せられよ！これ産業合理化に向つての第一手段である。
(四六判總假名附至便本文二百餘頁、建築土木標準規格附、定價一圓五十錢、書留送料十五錢)

本書は、盛岡高等農林學校教授たる著者が同校生に講述せる稿本にして少の補筆を施したるもので、文部省の高等學校動物教授に準據して多高等學校、專門學校の既刊教科書並に參考書の缺を補ふ目的の下に編著した、動物學書中の標準書であると同時に、中等教員檢定受驗者の參考書として好評を博す。殺虫殺菌劑に關する一章は本書の特長である。
(菊判洋裝本文五三三餘頁、圖版滿載、定價四圓八十錢、書留送料卅三錢)

著者が、多年の研究に基づき、日本産菌類の特性、特異現象を述べて感興裡に其の知識を與へる傍ら人工栽培の法を指導し、研究法並に屬名檢索表を附して専門家の研討に資せんとする三部制の機構を有する名著で、印刷鮮明裝幀新穎この種書中會て見ない完璧の出来栄である。
(菊判洋裝總假名附本文二百二頁、着色寫眞卅二圖、普通寫眞百六十九圖、定價三圓五十錢、書留送料廿一錢)

本書は多年大藏次官として財政界の手腕家として名聲を博したる著者が、曾て陸軍大學に於て試みたる講演稿本を今回新に増補せるもので、我國の豫算の組織編成、實行方法、決算の取扱方等に關し昭和六年度の豫算を捉へ來つて學理と實際の兩方面より國家財政の建前と銀行人必讀書。
(菊判洋裝パンフレット、定價八十五錢、書留送料十五錢)

廣 一三三

廣 一三三

東京市赤坂區 龍吟社 電話 〇四三〇(48)坂赤話電
東京市赤坂區 龍吟社 電話 〇〇〇七京東座口替振

東京市赤坂區 龍吟社 電話 〇四三〇(48)坂赤話電
東京市赤坂區 龍吟社 電話 〇〇〇七京東座口替振

社本るす關に物書
版出大三の行發

著城稻田蒔
史商籍書阪京
頁余百五裝メロク判菊
錢十送 圓五價特・圓六 價定

著生春里上
史商籍書戶江
本美頁十五百三判菊
錢六送 錢十五圓三價定

編磨勝田村
觀大版出本日
本美頗革背金天判菊
圓十價特・圓二十 價定

究研店露
横井弘三著
定價壹圓
送料六錢
初めて露店商を志す人の必携書、一般の人にも興味ある讀物。

一ノ二路小川今田神京東
番九七七〇三京東替振
社イタム版出

各宗佛敎書籍
圖書出版誌
佛敎雜誌
委託販賣
(カタログ御申越次第進呈ス)

文華堂書店

京都市正面通油小路西入
山内正次郎
振替口座大阪二〇三二〇番

上川并梨葉著 梨葉句集 箱四六判入 特一・五〇 一・四〇	輪講會編 古俳句講義(新年) 四六判 一・〇〇	輪講會編 古俳句講義(春上) 四六判 一・〇〇	輪講會編 古俳句講義(春上) 四六判 一・〇〇	正岡子規著 俳諧大要 箱菊半載入 一・八〇	虚子鳴雪著 子規句集講義 箱菊半載入 一・八〇	初山梓月著 連句入門 箱四六判入 一・二〇	大須賀乙字著 故人春夏秋冬 箱菊半載入 一・八〇	顯原退藏序 俳人惟然の研究 箱四六判入 一・八〇	岩本梓石著 五元集全解 箱四六判入 二・五〇	幸田露伴題 俳諧史上の人々 箱四六判入 二・〇〇	鈴木重雅著 俳人許六の研究 箱四六判入 一・八〇	藤井紫影序 俳人許六の研究 箱四六判入 一・八〇
俳書堂編 俳句用語 箱菊半載入 〇・七〇	俳書堂編 俳句季寄せ 袖珍判 〇・三〇	三宅邦吉校 新釋奥の細道 箱四六判入 〇・六〇	同 芭蕉書簡集 箱四六判入 〇・七〇	同 蕪村新花摘 箱四六判入 〇・八〇	同 一茶おらが春 箱四六判入 〇・六五	初山梓月校 俳諧古典集 箱四六判入 二・五〇	齋藤知白著 俳諧お遍路さん 箱四六判入 一・五〇	初山梓月著 句集淺草川 箱菊半載入 〇・五〇	小村雪岱裝幀 續白水郎句集 箱四六判入 一・〇〇	大場白水郎著 白水郎句集 箱四六判入 一・〇〇	久保田万太郎著 句集道しば 箱四六判入 一・〇〇	

番〇〇八四内ノ丸話電
番九〇一七二京東替振
堂書俳 内ノ丸市京東
館號一廿菱三

廣一三四

國 民 叢 書

(一)新しき修養	(二)新しき修養	(三)新しき修養	(四)新しき修養	(五)新しき修養	(六)新しき修養	(七)新しき修養	(八)新しき修養	(九)新しき修養	(一〇)新しき修養	(一一)新しき修養	(一二)新しき修養	(一三)新しき修養	(一四)新しき修養	(一五)新しき修養	(一六)新しき修養	(一七)新しき修養	(一八)新しき修養	(一九)新しき修養	(二〇)新しき修養	(二一)新しき修養	(二二)新しき修養	(二三)新しき修養	(二四)新しき修養	(二五)新しき修養	(二六)新しき修養	(二七)新しき修養	(二八)新しき修養	(二九)新しき修養	(三〇)新しき修養	(三一)新しき修養	(三二)新しき修養	(三三)新しき修養	(三四)新しき修養	(三五)新しき修養	(三六)新しき修養	(三七)新しき修養	(三八)新しき修養	(三九)新しき修養	(四〇)新しき修養	(四一)新しき修養	(四二)新しき修養	(四三)新しき修養	(四四)新しき修養	(四五)新しき修養	(四六)新しき修養	(四七)新しき修養	(四八)新しき修養	(四九)新しき修養	(五〇)新しき修養	(五一)新しき修養	(五二)新しき修養	(五三)新しき修養	(五四)新しき修養	(五五)新しき修養	(五六)新しき修養	(五七)新しき修養	(五八)新しき修養	(五九)新しき修養	(六〇)新しき修養	(六一)新しき修養	(六二)新しき修養	(六三)新しき修養	(六四)新しき修養	(六五)新しき修養	(六六)新しき修養	(六七)新しき修養	(六八)新しき修養	(六九)新しき修養	(七〇)新しき修養	(七一)新しき修養	(七二)新しき修養	(七三)新しき修養	(七四)新しき修養	(七五)新しき修養	(七六)新しき修養	(七七)新しき修養	(七八)新しき修養	(七九)新しき修養	(八〇)新しき修養	(八一)新しき修養	(八二)新しき修養	(八三)新しき修養	(八四)新しき修養	(八五)新しき修養	(八六)新しき修養	(八七)新しき修養	(八八)新しき修養	(八九)新しき修養	(九〇)新しき修養	(九一)新しき修養	(九二)新しき修養	(九三)新しき修養	(九四)新しき修養	(九五)新しき修養	(九六)新しき修養	(九七)新しき修養	(九八)新しき修養	(九九)新しき修養	(一〇〇)新しき修養
----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------

常識の源泉
 新時代國民の要求する學理の通俗化、専門知識の常識化を主眼とする空前の新企て各家庭必備の國民常識百科辭典！民衆大學講座！！
知識の寶庫
 如飛行三百萬突破

廣 一三七

東京市牛込區 文藝社
 電話 二〇一一番
 東京市牛込區 文藝社
 電話 二〇一一番

文 藝 社 好 評 圖 書

文章春秋 定價 一・二〇	文章三百六十五日 一・二〇	文章報國 一・二〇	鶯里隨筆 一・二〇	警鐘の亂打 一・二〇	鈴蘭の歌へる 一・二〇	若人の胸へ 一・二〇	運命に従ふ者 一・二〇	出版の實際知識 一・八〇	出版法規總覽 三・二〇	世界出版美術史 四・〇〇	出版關係法規 一・五〇	短歌は如何して作るか 一・二〇	新しい詩は如何して作るか 一・二〇	俳句は如何して作るか 一・二〇	川柳の社會觀 一・二〇	俳趣情景 一・二〇	新興詩人選集 一・〇〇	新撰書簡文 一・六〇	口語體書簡文 一・六〇	美文精選 一・六〇	文章組立法 一・六〇	新時代の論文 一・六〇	新しき日記文 一・五〇	釋迦の生涯 一・五〇	基督の一生 一・二〇	日蓮の生涯 定價 一・二〇	大楠公 一・二〇	新田義貞 一・二〇	曾我兄弟 一・二〇	豐臣秀吉 一・三〇	武田信玄 一・二〇	眞田の智謀 一・二〇	赤穂義士 一・二〇	高山彦九郎 一・〇〇	梵鐘・籠燈輯録 一・〇〇
--------------	---------------	-----------	-----------	------------	-------------	------------	-------------	--------------	-------------	--------------	-------------	-----------------	-------------------	-----------------	-------------	-----------	-------------	------------	-------------	-----------	------------	-------------	-------------	------------	------------	---------------	----------	-----------	-----------	-----------	-----------	------------	-----------	------------	--------------

東京市牛込區 文藝社
 電話 二〇一一番
 東京市牛込區 文藝社
 電話 二〇一一番

廣 一三六

越智治成著
重要代數學問題集 .30

高橋啓藏著
重要幾何學問題集 .20

定價上下各十八錢



鳩山文相閣下、徳富蘇峰先生
床次竹次郎先生外名士讃辭

眞の國體觀念の養成と歴史教育の徹底は本書から
楽しみながら歴史が覺えられる
絶好の學習書

神戸商業實修學校大山綱志著



補習教育の革新と發展は本書から大學
を出なくとも光は實業補習教育から

定價 ¥ 1.00

目次の一部

- ・體験總論
- ・認識に基く
- ・實業補習教育の檢
- ・討論の内容
- ・私の教授訓練
- ・練習及學校
- ・青年立志篇
- ・結論

東京市小石川區水道端二ノ一〇

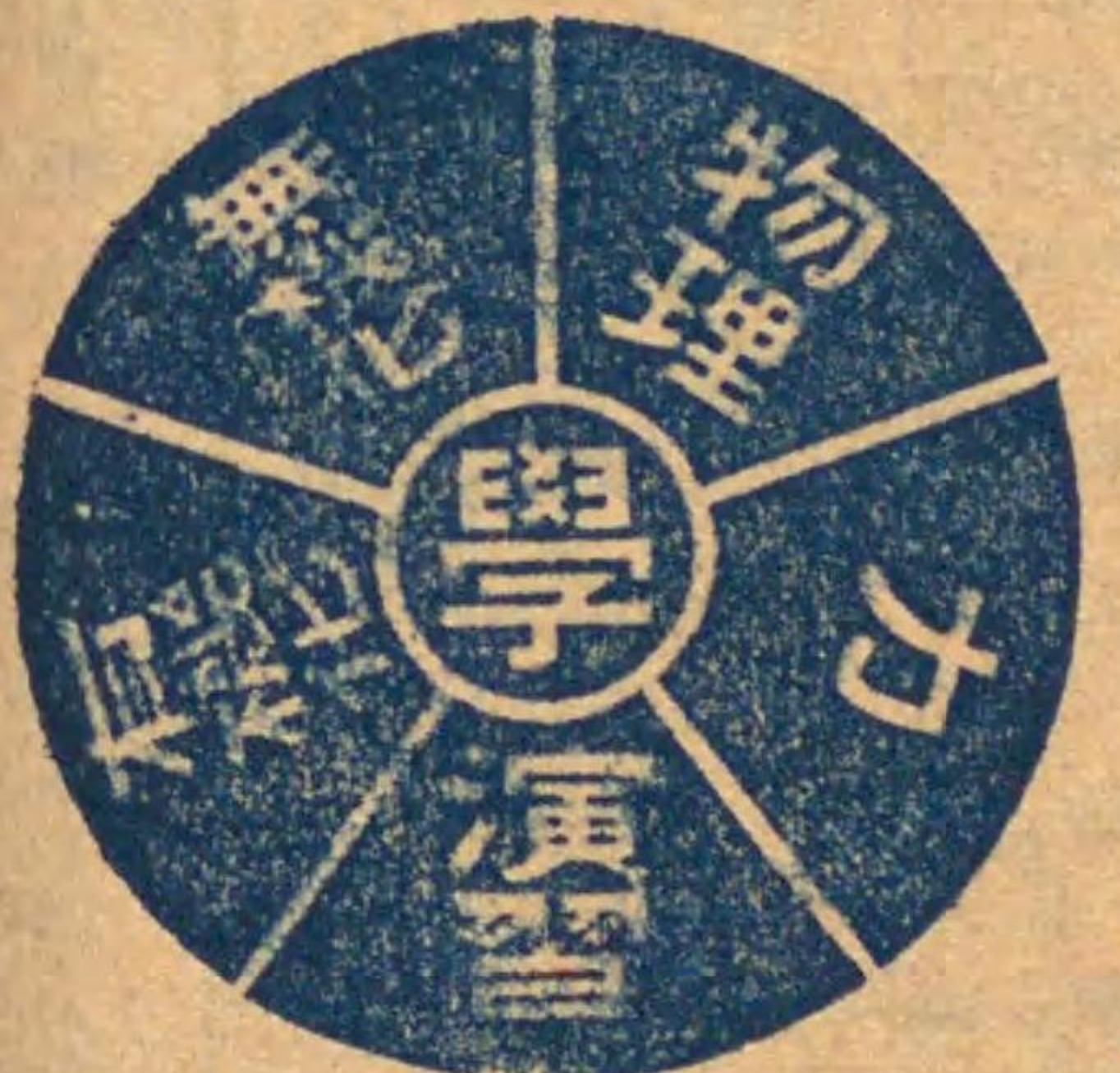
文明社

振替東京一七〇一六番

佐賀高校教授 大上茂雷著



微分 ¥3.50 積分上下代數上下各 ¥1.80
解析 1.2.3.卷 各 ¥ 1.80 稅各 .15
弘前高等學校教授 若桑光雄著
理學士



理學士 西鐵之輔著
無機 ¥3.00 有機 ¥2.50
高校高專の受験苦忽ち解消



幾何 上 ¥1.50 下 ¥1.30 代數 上 ¥1.30 下 ¥1.50

大學入試文檢の牙城をおとせ

その解決は只本書あるのみ

早稻田大學 教授

本間久雄著

(出版目錄進呈)

文學概論

菊判函入麻布製
定價參圓貳拾錢
送料廿二錢

版十三

佐佐木信綱氏評……本間氏の文學概論は、廣く文學に就いて概論的に講ぜられたもの、文學の本質、社會的現象としての文學、文學各論、文學批評論の四篇に分れ、根本的問題から文學鑑賞の方面まで整然と論及されてゐる。その理論には、廣く東西の文學論を涉獵し、泰西の近代美學の傾向を參照しつつ、實例には、主として我が國の記紀の古歌から近松の作までが引用されてゐて、自分なとにとつては親しみの多い好參考書である。

文學博士 西村眞次著

日本文化史概論 (拾版)

定價 三、五〇
送料 二二

文學博士 西村眞次著

人類學概論 (三版)

定價 三、五〇
送料 二二

文學博士 金子馬治著

現代哲學概論 (廿一版)

定價 一、八〇
送料 一八

文學博士 金子馬治著

歐洲思想大觀 (十九版)

定價 一、八〇
送料 一八

廣 一三九

東京市神田區 錦町三丁目 株式會社 東堂 振替東京一七〇一六番

廣 一三八

井上忻治先生著

▲內容見本
申込次第呈

廣一四〇

最新獨和法津經濟辭典

全一冊
總革特製四六新形
千二百餘頁
定價金五圓
送料十八錢

益々内容充實せる

再訂六版

本辭典の期する所は完全なる讀書辭典たるに止らず、組織に於て基本術語の下の凡てその複成術語これを以て一つの完全なる讀書辭典たるに止らず、組織に於て基本術語の下の凡てその複成術語派生術語を著く配列して對照比較の便に一切の語形を悉く至學術書の正讀に資する眼遣漏なく集成内容に於て單に法律學經濟學の範圍に止らず社會諸科學及び哲學の用語をも廣く約六千の羅旬術語をも收再訂本版に於てその總語數實六萬を超ゆるの驚異を實現し、本邦唯一の獨和學術辭典として益々内容の充實を見るに至つた。敢て江湖の愛用を乞ふ。

改訂增補
第五版

成句難句例獨逸文詳解

全一冊
四六版上製
定價金一圓五十錢
送料八錢

井上忻治先生 共著
藤山治一先生

本書はあらゆる獨逸語の困難を解き、譯讀の秘訣を授け、同時に作文の練習に資せんとするもの、一般獨逸語學生に取り絶好無二の指南書なり。

序文

文學博士 三上參次先生
文學博士 幣原坦先生
文學士 德川順公先生
文學士 菅楯彦先生
文學士 藤田精一先生

菊洋裝箱入
六頁
百六十餘頁
眞數五葉
定價金五圓
送料(内地)六十二錢

楠氏研究

鳩山文部大臣曰く

我國現下の難局打破には大なる道徳的基礎を要すと。その道徳的基礎とは何か？大楠の事烈は其の道徳的基礎の一ではなにか琅々として我國に鳴り渡れる大楠遺響をば何處にか聽かん。請ふこれに「楠氏研究」の一讀に問へ。

國民必讀の快著は遂に大成す!!

著者は楠氏の研究を以て令名あり其の僞まざる努力は實に數十年に及び煩を厭はず勞を嫌はず偏く實地を踏査し古文書舊記録の類は殆んど涉獵し盡し本書の大成は全く其の至誠の結晶である。學界の權威者が擧つて此の大成を祝福し楠氏研究としては殆んど到着すべき頂點に達したるものとして絶讚を惜まざることが、良く内容の權威を物語つてゐる。本書は行文極めて流暢此の種の著書に見る囁蠟の弊なく俗に墮せず専門に局せず修史家の資料として一般の教訓書として絶對的の權威書である。

發行所

東京市神田區今小路三
振替東京二〇六六番
大阪市南區安堂寺橋通三
振替大阪二九八一番

株式積善館

廣一四一

發行所 東京銀座 東海堂書店

振替東京銀座電話
東自座銀
京八五五
八一五
七六一五
七九一五

生物學研究家の必備書

農林省畜産試驗場長木村和成外六氏共著
應用動物圖鑑
 四六判八〇〇頁 特價五圓 送料二十七錢
 背革裝函入

理學博士飯塚啓外二十一氏共著
學生版動物圖鑑

動物採集便覽

昆蟲採集便覽

植物名彙

卵・乳・肉・羽毛・皮革・生糸・龜甲・眞珠・珊瑚・蜂・蜜・海綿など、數へあはざるものも、一面また各種の動物から莫大な資源を供給されてゐる。一面また小さな由ケラと侮りつゝ吾が體內に寄生されて生命を蝕まねば、或は農作物を荒されて年々多額の損害を蒙つて密接な交渉をもつ各種動物の生態習性を並に現在の利害關係との對する適策を詳述してある。見本を請求せられよ。動物採集便覽の贈呈規定あり。

携帶に便利な三五判ポケット型、總革裝。定價は至廉奉仕的、而も内容は豊富で正確な各類分擔執筆。鳥・獸・魚・貝・蟲其他の動物二七五〇種の姿態と名稱が一目瞭然。教員學生諸氏・狩獵・飼鳥・釣魚・採集趣味家の野外携帶用または一般家庭の教育資料として快適。定價貳圓五拾錢送料拾貳錢。▼内容見本御申越次第進呈紙裝七十頁日本動物圖鑑の讀者以外頒布實費廿二錢。

日本昆蟲圖鑑(定價十五圓)の別冊附録として刊行せるもの。執筆者は日本昆蟲圖鑑の著者。圖版五十五個を挿入して昆蟲の採集保存法・雌雄鑑別法等について詳説してある。四六判紙裝七十頁。頒布實費二十一錢。

植物學上に於ては和名漢字を使用せぬことを原則としてあるが、和歌・俳句等文學上に於てはこの漢字を必要とする場合が尠くない。本名彙は志田義秀氏・田中徹翁氏が日本植物圖鑑(定價十圓)に掲げられた標準和名に準據して文學上の立場から調査編纂した植物和名漢字集。四六判紙裝一三〇頁。頒布實費十七錢。

鐵道當局推獎 總紙數 五〇〇頁 箱入裝
 水島芳靜著 名所寫真 八〇葉 挿入
 定價 金壹圓 送料十錢

東京から一二泊の氣まゝな旅

何處へ行かうかと思ひ惑ふ時、多忙な事務の間の一寸した旅を、氣取らない朗らかな諧調の筆の中にその好適地を教へてゐる。近郊は勿論、温泉・スキー場・日光・箱根・江の島・筑波・水郷から房總・伊豆大島等東鐵管下全般に涉つた、他に比較のない興味深い名勝行樂地の縮圖で痒い處に手の届く實に至れり盡せりの書はこれだ。

好評ある同著者の姉妹篇

房總 俺が房總 定價 二圓
 伊豆半島の旅附大島めぐり 定價 三圓
 箱根遊覽と富士五湖めぐり 定價 四圓
 水原秋櫻子著 郵税 各十錢

俳句新講座
 一卷 評釋篇 各冊 定價壹圓參拾錢
 二卷 作法篇 送料 各拾錢
 三卷 論說篇 送料 各拾錢

法律早わかり

附公正證書問答 郵税 四錢

筆者は十數年間法律の相談に又は公證事務にたづさはつた経験から日常必須の法律を極めて明瞭に要領よく解説してあります。

ミツキーマウスの冒險 定價 三十五錢
 フレッシュな英語で書かれた面白い物語。こんなものがほんとに望ましいのではありませんか。何年生にもきつと有益ミツキーの話は餘りにも有名です。

上級必修五千英單語彙

單語の暗記に最も簡単な辭書が出ました。
 上級用(四、五年受驗生程度)
 初級用(一、二、三、年程度)の
 姉妹編が完成致しました。
 著名の辭典に何十萬の言葉が有り
 ますけれど活用必須語の標準を知
 る事は學生として最も緊要であり
 ます。

中等必修五千英單語彙

廣 一四三

東京東橋本日本通區 大東館書店 振替東京七二九〇六番 電話日本橋一四九〇番

東京東橋本日本通區 北隆館 振替東京七二九〇六番 電話一七七一八八 銀座座一七七一五

廣 一四二

著者	書名	形態	定價	送料
金井紫雲	花と藝術	四六版三〇〇、二		
金井紫雲	樹木と藝術	四六版三〇〇、二		
金井紫雲	草と藝術	四六版三〇〇、二		
金井紫雲	動物と藝術	四六版三〇〇、二		
金井紫雲	魚介と藝術	四六版三〇〇、二		
山本元	表具の栞	四六版三〇〇、二		
山本元	篆刻の栞	四六版三〇〇、二		
荒木矩	落款と箱書の栞	四六版三〇〇、二		
西澤笛畝	日本畫自在	四六版三〇〇、二		
木村小舟	推古より天平へ	四六版三〇〇、二		
著者	書名	形態	定價	送料
木村小舟	天平より藤原へ	四六版三〇〇、二		
有馬敏四郎	五節句の話	四六版三〇〇、二		
眞清水藏六	陶寄	菊判三〇〇、二		
桑原羊次郎	浮世繪師人名辭書	半切版一、五〇、〇六		
村上文芽	近代友禪史	菊判六〇〇、三		
光悦會	光悦	菊判七、五〇、二		
中村亮平	慶州の美術	菊版五〇〇、三		
石井柏亭	淺井忠	四六判六、〇〇、三		
山本元	國譯芥子園畫傳	帙入版六、五〇、三		
西陣織物館	西陣史	菊版五〇〇、三		

東 京 東 替 振 一 島 湯 區 鄉 本 市 京 東 替 振
 南 條 二 町 寺 市 都 京 社 會 名 合
 番 八 五 二 阪 大 替 振 堂 艸 芸

新版資本論解説 佐カウツキ 一〇〇〇 三九七 改 造 社 芝

〔四〕資本主義・統制計畫・非常時經濟

更生資本主義	戸野原史朗	一〇〇〇	一六	淺野書店	神田
日本統制經濟論	井關孝雄	一〇〇〇	三三	高瀬書房	京橋
國家社會主義と統制經濟	林癸未夫	二〇〇	六〇	前衛閣	神田
日本計畫經濟論	小島精一	一、八〇〇	二九	千倉書房	京橋
經濟統制の研究	早稻田大學出版部	二〇〇〇	五三	早稻田大學出版部	牛込
學創立五十年記念論文集	上野陽一	二、八〇〇	三二	同文館	神田
テーラー全集一科學的管理法の原理他三篇	上野陽一	二、〇〇〇	四	東亞經濟調查局	龜町
統制經濟に關する資料フ	上野陽一	二、〇〇〇	四	東亞經濟調查局	龜町
アリスト政府の經濟政策	上野陽一	二、〇〇〇	四	東亞經濟調查局	龜町
計畫經濟と管理	上野陽一	二、〇〇〇	四	東亞經濟調查局	龜町
經濟計算計畫	山本勝市	一、五〇〇	二九	同	同
經濟の基本問題	山本勝市	一、五〇〇	二九	同	同
統制經濟に關する資料	小日山直登	一、五〇〇	二九	創局	日本橋
料英國炭坑國有問題	小日山直登	一、五〇〇	二九	創局	日本橋
日滿統制經濟論	小日山直登	一、五〇〇	二九	創局	日本橋
統制經濟の基礎知識	井關孝雄	一、〇〇〇	二五	東京ビル内	京橋
經濟參謀本部とは何か	井關孝雄	一、〇〇〇	二五	東京ビル内	京橋

（經濟・財政・社會） 資本主義・統制計畫・非常時經濟・經濟知識・小論・郷土經濟 二五七

〔五〕經濟知識・小論・郷土經濟

時局經濟の解剖	森田久	一、五〇〇	一八	高瀬書房	京橋
經濟國難の非常對策	朝日新聞經濟部	一、〇〇〇	二二	同	同
非常對策研究報告一債務引の研究	石井秀雄	一、〇〇〇	四	經濟國策研究社	赤坂
日本戰時經濟の全貌	河合良成	一、〇〇〇	一六	千倉書房	京橋
非常時日本と財界危機	竹本孫一	一、〇〇〇	一三	全國青年時局會	京橋
我財界の緊急對策	武藤山治	一、〇〇〇	一七	千倉書房	京橋
日本資本主義經濟の發展の行跡	松尾音次郎	一、〇〇〇	二六	村井末義	品川
マルクス經濟學の科學的批判前編	松尾音次郎	一、〇〇〇	二六	村井末義	品川
社會主義乎經濟道德論	高田保馬	一、〇〇〇	三〇	北文館	三鷹山
マルキシズムの經濟學的批判	高田保馬	一、〇〇〇	三〇	北文館	三鷹山
本邦財界情勢	山中長作	一、〇〇〇	三	三菱經濟研究所	龜町
日本の財政經濟	山中長作	一、〇〇〇	三	三菱經濟研究所	龜町
經濟學の近狀と世界經濟の動き	高田保馬	一、〇〇〇	三	山中長作	牛込
世界經濟知識一現在世界經濟主要問題の解説と今後の趨勢	高田保馬	一、〇〇〇	三	銀行問題研究會	神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
世界經濟知識	奧野平	・三〇〇	一〇三	銀行問題研究所	大阪
本邦需給資源總覽	普文學會	・八〇×	二四	東亞經濟調查局	豐町
法律要覽叢書	同	・八〇×	三八	清水書店	神田
法律經濟模範解答叢書	同	・八〇×	三八	同	同
今日の常識時事	三田村武夫	・三〇〇	一〇六	報國社	世田谷
生命線は躍る	三島聰惠	・二〇〇	七三	三都合同新聞株式會社大阪支社	大阪
新滿蒙の經濟	岡部久四郎	・一〇〇	一〇六	好文堂	栃木
皇道に基づく國體一致の國民性	氣賀勲重	・一〇〇	一〇六	好文堂	栃木
國民經濟の進步	山本條太郎	・三〇〇	二〇	國民工業學院	東京
國民經濟の破壞と建設	馬場二郎	・二〇〇	三〇	新から屋吳服店	神戶
共存規範舉國の幸福	異說非常時に於ける新經濟國策	・三〇〇	七〇	養性寮	神田
圓の悲劇	木村禧八郎	・七〇〇	一六	木村書房	京橋
經濟學確證實生活篇	岡本利吉	・一〇〇	三九	純眞社	深川
預金者は目醒める	栗原千城	・三〇〇	八九	東京經濟聯盟	四谷
經濟更生への道	同	・三〇〇	四	中央融和事業協會	龜町
財界はどうなるか	同	・三〇〇	三	越智虎吉	松山
極端に消費せよ消費なくして人生なし	熊平源藏	・二五〇	一四	先進社	本郷
新國民經濟の理論と實際	山越融司	・二〇〇	二二	財政經濟時報社	日本橋
金と社會啓蒙運動を起すに際しての宣言	大口二郎	・三〇〇	一六	啓蒙運動社	本郷
日本好景氣の原理	佐藤寛次	・二〇〇	一五	成美堂	日本橋
生産者より消費者へ	森田久	・三〇〇	一四	千倉書房	京橋
弗賣買の解剖	鈴木三星	・二〇〇	三	經濟公報社	四谷
大富家の弗賣買と改裝の眞相	小野武夫	・二〇〇	一六	淺野書店	神田
郷土經濟史研究提要	聞經濟部	・一〇〇	一〇	刀江書院	同
經濟風土記中國の卷	堀内弘	・八〇〇	三	商工與信社	新潟
新滿蒙の經濟	同	・一〇〇	一〇	其發行所	福島
福島縣之經濟	同	・一〇〇	一〇	齊藤報恩會	仙臺
青森縣尻屋部落の經濟	同	・一〇〇	一〇	市立下關商業學校	下關
關門地方經濟調查一般	同	・一〇〇	一〇	南紀藝術社	和歌山
和歌山經濟の基礎知識	同	・一〇〇	一〇	中央融和事業協會	龜町
經濟更生運動	同	・一〇〇	一〇	同	同
此の難を新する要綱	同	・一〇〇	一〇	同	同
巨款資金借入手引	同	・一〇〇	一〇	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
泡沫景氣の正體	倉島清高	・三〇〇	三	經濟政策協會	芝
債務棒引戰術	山室宗文	・三〇〇	一六	歐亞社	神田
我財界の現状と其對策	關伊右衛門	・三〇〇	九	三菱經濟研究所	龜町
直ぐ實現出来る日本好景氣論	同	・三〇〇	九	伊右衛門	龜町
世界經濟不況の現狀對策	門多榮男	・三〇〇	三	内外産業資料會	龜町
非常時對策と經濟參謀本部設置の提唱	同	・三〇〇	三	同	同

(乙) 財政金融

(一) 財政學・財政史・財政研究

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
財政學	小川郷太郎	・六〇〇	六三	有斐閣	神田
財政學の理論的解説	沙見三郎	・三〇〇	三〇	鐵塔書院	同
財政經濟廿五年史第一卷政治篇上全八卷	阿部勇	・九三〇	三三〇	實業之世界社	芝
第二卷政治篇中	高橋龜吉	・二二八	同	同	同
第三卷政治篇下	同	・二〇〇	同	同	同
第六卷財界篇上	同	・二〇六	同	同	同
第七卷財界篇下	同	・二〇六	同	同	同

(經濟・財政・社會) 財政學・財政史・財政研究・財界恐慌・景氣問題

(二) 財界恐慌・景氣問題

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
財政經濟廿五年誌	高橋龜吉	・九四〇	實業之世界社	芝	
第五卷政策篇下	同	・八六〇	同	同	
赤字時代の財政諸問題	神戶正雄	・一八〇	二六	立命館	京橋
フアツシヨ財政批判	木下羊治	・一五〇	三〇	高瀬書房	同
世界經濟問題叢書	高木壽一	・一五〇	三三	同	同
世界戰後の國家財政	樽崎敏雄	・三〇〇	四七	有斐閣	同
航空經濟政策論	友松圓諦	・一〇〇	三七	大東出版社	芝
寺院經濟の前途	八木芳之助	・四八〇	六七	有斐閣	神田
米價及び米價統制問題	勝田主計	・三〇〇	二八	新使命社	芝
非常時の財政經濟策	同	・三〇〇	二八	同	同
變革期の財界と其對策	高橋龜吉	・一五〇	三四	千倉書房	京橋
半世紀財界側面誌	西野喜與作	・二〇〇	四三	東洋經濟出版	日本橋
財界は何處へ行く	木村孫八郎	・一五〇	三七	先進社	本郷
非常時財界の解剖	大藏省	・三〇〇	四	栗田書店	神田
財界の統計的觀測	道家齊一郎	・二〇〇	三三	白鳳社	同
財界の戦慄明日の日本はどうなる	財界實狀調査會	・八五〇	一六	公望閣	日本橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
米國金再禁止問題と財界の動向	遠藤 昇二	二七〇	一七六	大同書院	神田
世界經濟界の大勢と日本財界の將來	平野 常治	〇〇〇	〇二二	文明協會	牛込
世界經濟恐慌の將來	同	〇〇〇	〇二六	同	同
世界經濟恐慌の過程並に様相	慶應義塾大學 金融研究會	二〇〇〇	四九	善橋	日本
世界經濟恐慌月報 第二號	茂森 唯士	二〇〇	二七	木星社	島
世界經濟叢書六數字に現れた世界恐慌	ワリヤシ 經濟批判會	九〇〇	三三	文閣	島
日本經濟恐慌の研究	小島昌太郎	三〇〇	三三	雄風館	神田
國民經濟組織の欠陥と世界恐慌	小島昌太郎	三〇〇	三三	雄風館	神田
大阪商科大学研究叢書二景氣豫測法研究	小島昌太郎	三〇〇	三三	雄風館	神田
世界經濟機構と景氣變動	小島昌太郎	三〇〇	三三	雄風館	神田
景氣變動論入門	加藤 直士	二〇〇	二七	千倉書房	京橋
景氣轉換論	高橋 龜吉	三〇〇	六九	時事研究會	京橋
最近の景氣好轉は愈々財界の本直りか 經濟情報十月號附録	勝田 貞次	三〇〇	六九	時事研究會	京橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
景氣轉換期	高橋 龜吉	一五〇	四八	千倉書房	京橋
景氣轉換の可能性	同	〇〇〇	〇二九	東洋經濟新報社	日本
東洋經濟新報附録 犬養景氣はどうかなる?	貴島 桃隆	三〇〇	二六	經濟タイムス社	芝
立直るか アメリカの景氣	塚本 義隆	三〇〇	六二	新聞聯合社	大阪
通貨と景氣の理論解説	同	三〇〇	一〇〇	財政經濟時報社	京橋

(三) 貨幣・金融關係

(ア) 貨幣・爲替・インフレーション

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
三貨圖彙	草間 直方	二〇〇	二四六	白東社	京橋
校註兩替年代記原編	三井 高維	一〇〇〇	△五〇〇	岩波書店	神田
ケインズ貨幣論第一分冊 貨幣の性質貨幣の價值	鬼頭仁三郎	一四〇	一六五	同	同
同 第二分冊 貨幣の基本方程式	同	一〇〇	一七二	同	同
新貨幣學入門	高後 虎雄	四〇〇	〇五〇	日本評論社	京橋
米國正貨準備 制度の本質	淺田 惠一	九〇〇	〇二五	内外書房	京橋
不換紙幣發行と金再禁止に於ける爲替と物價	宮川貞一郎	一〇〇	〇三〇	高瀨書房	京橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
昭和五年度造幣局長 第五十七年報告	外 六郎	一〇〇〇	二三五	同	同
金と物價マルクス主義貨幣論争	井關 孝雄	二八〇	〇三六	先進社	神田
人の貨幣價值	本郷 桂	四〇〇	〇九〇	幣制改革既成同盟會	本郷
外國貨幣換算表	山口 恭佑	五〇〇	一八〇	春陽堂	日本
斯くして景氣を直せ 貨幣制度の改正	鈴木 益三	一〇〇〇	〇三〇	東京ビル	京橋
爲替相場變動と爲替管理	池田 政雄	一五〇	〇二〇	伊藤書店	日本
外國爲替要諦	森田 久	八〇〇	〇二〇	高瀨書房	京橋
外國爲替講話	小林 行昌	一八〇	〇二二	世界堂	牛込
外國爲替の實際知識	大久保 一路	四〇〇	〇一五	高瀨書房	京橋
爲替管理の發動	同	五〇〇	〇一五	同	同
爲替管理の運用と其影響	同	五〇〇	〇一五	同	同
爲替相場の騰落	國 顯雄	一五〇	〇二六	先進社	本郷
動態爲替相場論	勝田 貞次	三〇〇	〇一七	景氣研究所	京橋
爲替相場はどうかなる	山崎 靖純	三〇〇	〇二二	千倉書房	京橋
圓はどうかなる	同	三〇〇	〇二二	千倉書房	京橋

(イ) 金融論・金問題

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
時局とインフレーション	高橋 龜吉	一〇〇	〇二五	淺野書店	神田
カーレント・インフレーションと日本經濟の危機	木村 禮八郎	三〇〇	〇九〇	文新社	同
ネオ・インフレーションとインフレーション補給案	谷口 吉彦	一五〇	〇三〇	第一相互館	京橋
インフレーション時代	小汀 利得	一〇〇	〇三〇	高瀨書房	同
世界經濟叢書國際信用恐慌	經濟批判會	一〇〇	〇二二	叢文閣	京橋
インフレーションへの途	勝田 貞次	五〇〇	〇二二	時事新報社	同
インフレーションはどうかなる	黒岩 島	三〇〇	〇一五	文雅堂	同
財界非常時とインフレーション	石橋 湛山	二〇〇	〇三二	東京ビル	京橋
理論と實際	同	二〇〇	〇三二	東京ビル	京橋
金融機構と物價平準	森川 太郎	三〇〇	〇三九	甲文堂	大阪
金融論講義・上册	木村 禮八郎	二〇〇	〇二六	千倉書房	京橋
世界金融恐慌の真相	斯波 武	一八〇	〇五〇	一元社	本郷
金融亡國論	大藏省理財局	一〇〇	〇四二	内閣印刷局	京橋
金融事項参考書 昭和七年調	西野喜典	一五〇	〇五三	高瀨書房	京橋
金融讀本	マツケンナ	一五〇	〇三三	千倉書房	同
金融政策十四年	前馬 治一	一五〇	〇三三	千倉書房	同
日本兩替金融史論	松好 貞夫	四〇〇	〇四七	文藝春秋社	京橋

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
世界金融外交戰	伊地知軍司	二・二〇	二二〇	淺野書店	神田
本邦不動産金融に關する諸統計	松本俊藏	三・〇〇	二〇〇	日本勸業銀行	神田
世界不況と銀の解剖	貴島桃隆	三・〇〇	二〇〇	新經營社	神田
不動産金融の知識	倉持徳久	三・〇〇	二〇〇	高瀬書房	神田
中小工業金融及中央銀行の研究	石坂橋樹	一・〇〇	一〇〇	有斐閣	神田
農村庶民金融	青木節一	一・八〇	一八〇	泰文館	神田
國際聯盟經濟叢書五	金本位制の職能	三・〇〇	三〇〇	國際聯盟事務局	東京
金本位制の職能	殊に金融との關係	三・〇〇	三〇〇	海上ビル	東京
此の金融恐慌	渡邊進	一・二〇	一二〇	啓明會	東京
金の武装抗爭	繪所陣平	一・五〇	一五〇	千倉書房	東京
我國の金本位制	何故に金再禁止をしたか	三・〇〇	三〇〇	同人社	神田
金本位制の研究	金再禁止と本年の景氣	二・三〇	二三〇	工業之日本社	東京
何故に金再禁止をしたか	金再禁止から財界復活の途へ	二・三〇	二三〇	東洋經濟出版	東京
金貨ボンドの悲劇	藤原俊雄	一・五〇	一五〇	政治と産業社	東京
	伊地知軍司	一・二〇	一二〇	先經社	神田

(ウ) 銀行・會社・保險・無盡

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
金再禁止と善後	金輸出再禁止後の財界問題	二・〇〇	二〇〇	國民同志會	大阪
金再禁止と財界の復活	金再禁止と我財界の前途	二・〇〇	二〇〇	鳩見屋商店	日本
金再禁止と我財界の前途	國民を盗む	二・〇〇	二〇〇	床枝房	吉芝
金再禁止の非違	井上準之助	二・五〇	二五〇	朝日新聞社	神田
銀行論	山口義一	三・〇〇	三〇〇	千倉書房	東京
銀行論	三宅馨	二・五〇	二五〇	財政經濟研究	目黒
銀行論	山崎覺次郎	一・五〇	一五〇	橫濱貿易新報	横濱
銀行論	町田義一郎	四・〇〇	四〇〇	有斐閣	神田
銀行論	伊地知軍司	一・五〇	一五〇	日本評論社	神田
銀行論	大藏省銀行	七・五〇	七五〇	淺野書店	神田
銀行論	銀行研究社	九・五〇	九五〇	金融統計社	大阪
銀行論	佐藤七郎	三・八〇	三八〇	內閣印刷局	神田
銀行論	川上丑藏	一・八〇	一八〇	文雅堂	神田
銀行論	寶人一君	一・五〇	一五〇	創生社	神田
銀行論	日本興業銀行	一・二〇	一二〇	東洋經濟新報	日本
銀行論	増地庸治郎	一・〇〇	一〇〇	同文館	神田
銀行論	高野竹次郎	一・〇〇	一〇〇	同文館	神田
銀行論	田中靜夫	五・〇〇	五〇〇	交通經濟社	神田
銀行論	同	五・〇〇	五〇〇	同	同
銀行論	瀧谷喜一	一・三〇	一三〇	寶文館	日本
銀行論	末高信	四・八〇	四八〇	明善社	本郷
銀行論	林精治郎	一・五〇	一五〇	生命保險協會	神田
銀行論	帝都生命界の現況	一・五〇	一五〇	生命保險協會	神田
銀行論	保險國營に關する	一・五〇	一五〇	生命保險協會	神田
銀行論	火保助成金の真相と善後處置	一・五〇	一五〇	火保研究社	牛込
銀行論	生命保險代理店要訣	一・五〇	一五〇	生命保險協會	神田
銀行論	復利精表	一・五〇	一五〇	生命保險協會	神田
銀行論	生命保險の庶民金融化	一・五〇	一五〇	生命保險協會	神田
銀行論	生命保險利廻り精覽	一・五〇	一五〇	生命保險協會	神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
銀行總覽(第三十八回昭和六年末現在)	大藏省銀行局	二・五〇	二五〇	內閣印刷局	神田
銀行業務報告書の使命と目的に就て	岡崎公宏	三・〇〇	三〇〇	天人社	神田
改訂新版銀行實務誌	原靜	四・二〇	四二〇	同文館	神田
銀行の取引先に對する應對上の心得	中田政吉	七・五〇	七五〇	大阪銀行集會	大阪
銀行實務の觀察方法	銀行研究社	五・〇〇	五〇〇	同文堂	神田
銀行標準經費の計算	如何にして取引を開拓すべきか	八・〇〇	八〇〇	銀行問題研究	大阪
專業會社經營効率の研究	商法常議合會社	三・〇〇	三〇〇	東洋經濟出版	日本
今後に於ける我國の普通銀行	岸谷梧郎	二・二〇	二二〇	商法研究社	神田
銀行經營經濟論	西村勝太郎	二・八〇	二八〇	大同書院	神田
會社設立と清算の話	野村男三	二・五〇	二五〇	寶文館	日本
關西貳百會社の解剖	昭和七年上半期末	二・〇〇	二〇〇	高瀬書房	神田
全國銀行預金一覽	七大會社正味掛	二・〇〇	二〇〇	東洋經濟新報	日本
金一覽表	會社金融論	二・〇〇	二〇〇	金融統計社	大阪
中小工業金融及中央銀行の研究	倉持徳久	一・〇〇	一〇〇	同文館	神田

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
株式小成金物語	株式調査會	二〇〇	二五九	甲陽研究所 大阪	大阪
株式の研究第一號	三丸文商店	〇〇	三	丸文商店 日本橋	日本橋
株式必勝戰術	平和堂經濟部	〇〇	二五九	平和堂經濟部 杉並	杉並
短期新東米綿糸天底前知併連續取法安全なる利殖株式	岩井洋服店	〇〇	三	岩井洋服店 神田	神田
株式小成金物語	甲陽研究所	〇〇	三	甲陽研究所 同	同
株式放資と實買の基礎知識	森山書店	〇〇	三	森山書店 神田	神田
アメリカ株式恐慌と其後の發展	同文館	〇〇	三	同文館 同	同
金再禁止の株式は何なるか	成瀬省一商店	〇〇	三	成瀬省一商店 日本橋	日本橋
線より見たる株式の實買の新觀測法	大同書院	〇〇	三	大同書院 神田	神田
東新活歴史	吉川商店	〇〇	三	吉川商店 名古屋	名古屋
現株應用株式短期必勝法	淺井貞雄	〇〇	三	淺井貞雄 大阪	大阪
新東短期騰落豫知法	信義堂	〇〇	三	信義堂 日本橋	日本橋
短期新東株針路認識	金指清三郎	〇〇	三	金指清三郎 本郷	本郷
岩井式株式期綿糸天底前知連續必勝法株式相場觀測の原理と實際	井尻固	〇〇	三	井尻固 同	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
有望投資株研究	勝田貞次	〇〇	二〇三	景氣研究所 神戶	神戶
株式利殖の理論と實際	美嶋近一郎	〇〇	六	世と人社 四谷	四谷
短期新東週問必勝秘法	南波正剛	〇〇	四	南波正剛株式通信部 京橋	京橋
今年の相場	勝田貞次	〇〇	四	中島道翁 横濱	横濱
昭和八年前半期投資相談一九三三年	大阪屋商店	〇〇	三〇	大同書院 神田	神田
主要産業の投資價值	井尻固	〇〇	二〇	森山書店 神田	神田
開設以來短期新東日高低表昭和八年版株式線の理論と應用研究	東京株式取引所調査課	〇〇	一九	財政經濟時報社 日本橋	日本橋
株式質疑應答集	勝田貞次	〇〇	一七	景氣研究所 神戶	神戶
爲替時代のインフレ投資法則	勝田貞次	〇〇	二二	時事新報社 同	同
時局と投資方針	小資本投資研究所	〇〇	二二	二人社 京橋	京橋
五十圓で出来る株式投資の研究	森永新惠齋	〇〇	二〇	期米研究粹尙會 大阪	大阪
期米秘訣龍宮之卷	森永新惠齋	〇〇	二〇	期米研究粹尙會 大阪	大阪

(五) 經濟・雜

(ア) 消費組合

(經濟・財政・社會) 相場・投資・經濟・雜

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
最新株式相場成功法	金の要心	〇〇	三	經濟廣潤社 滋谷	滋谷
相場必勝	神通自在寶鑑	〇〇	三	吉見商店 日本橋	日本橋
景氣と投資	景氣研究所	〇〇	六	景氣研究所 神戶	神戶
短期新東日捧解説	還元作用より見たる株式天底の新觀測法	〇〇	一七	大同書院 神田	神田
株式期米一撃の秘義	米商必携昭和八年相場豫報	〇〇	四	河村次三郎 名古屋	名古屋
國債相場日別圖表	昭和八年株式相場	〇〇	三	野村證券會社 大阪	大阪
株式期米必勝法	三木瑤浦	〇〇	三	三木忠財界研究所 高松	高松
相場天底速知明鑑	熊田克郎	〇〇	三	利殖の友社 小樽	小樽
金儲けの近途並相場新インフレーション時代の株式市場	第三大毎投資相談	〇〇	三	一元社 本郷	本郷
相場必勝新戰術	東新	〇〇	三	一元社 本郷	本郷
海外消費組合事情	城西消費組合	〇〇	二八	産業組合中央會 牛込	牛込
國際消費組合運動一九三一年	消費組合方針書集	〇〇	八〇	日本無産者消費組合聯盟 東京	東京
消費組合實踐指針	消費組合經營事例第二輯	〇〇	三七	河野清 大阪	大阪
新聞經濟記事の基礎知識	阿部賢一	〇〇	二〇	栗田書店 神田	神田
趣味對話經濟通	多賀宇龍	〇〇	八	文教社 神戶	神戶
明日を語る名士の財界前途觀	通信保健叢書六	〇〇	五	鎌田憲吉商店 廣島	廣島
恩給金融のしるべ	厚川長作	〇〇	三	齊家協會 世谷	世谷
預金者讀本	友田芳男	〇〇	四	中央銀行研究會 下谷	下谷
増補預金者讀本	同	〇〇	四	中央銀行研究會 下谷	下谷
富民叢書 第三集	佐久間榮吉	〇〇	五	富民協會 大阪	大阪
自由人の警鐘 生活戦線の危機	同	〇〇	五	經濟タイムズ社 芝	芝

(イ) 通俗經濟知識

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
ヒットラー主義	ノイデイカス	・八〇〇	一八二	改造社	芝
フアツシヨの嵐	木崎 龍城	・一六〇	〇七七	明治圖書出版會	神田
フアツシヅム論	伊達 龍城	・一〇〇	〇七七	協同會	神田
フアツシヅム研究	吉野 次郎	・一〇〇	〇七七	協同會	神田
ムツソリニ運動	磯貝 實	・九〇〇	〇三三	協同會	神田
日本主義の論理	室伏 高信	・五〇〇	〇二二	協同會	神田
フアツシヅムと	松永 材	・七〇〇	〇二二	協同會	神田
科學的の日本主義	岡田 怡川	・一八〇〇	〇三六	大雄	小石
國家社會主義の不合理性	森 清人	・一〇〇〇	〇一六	先進	神田
日本に於ける	蜷川 新	・二〇〇	〇二九	自衛	神田
フアツシヅムの活動	廣瀬庫太郎	・二〇〇	〇二九	新興	神田
ヒットラー運動	室伏 高信	・五〇〇	〇二七	平凡	神田
國家主義團體一覽	橋 孝三郎	・五〇〇	〇二七	建設	中野
日本愛國革新本義	橋 孝三郎	・五〇〇	〇二七	建設	中野
急進的愛國	橋 孝三郎	・五〇〇	〇二七	建設	中野
刻下衝動せる	中村 一一	・〇〇〇	〇三三	日統	荒川
重農思想と	小島 憲	・〇〇〇	〇三三	日統	荒川
國家社會主義	小島 憲	・〇〇〇	〇三三	日統	荒川
現代思想界の動向	江平 重雄	・五〇〇	〇二三	友堂	本郷
新國民運動の基調	赤松 克麿	・五〇〇	〇二九	萬里	本郷
日本の社會主義	津久井龍雄	・三〇〇	〇一三	先進	本郷
國家社會主義の提唱	柴原 龜二	・三〇〇	〇三六	的場	神田
國民社會主義の考察	中谷 武世	・二〇〇	〇三三	國民思想研究會	神田
國家社會主義の原理	林 癸未夫	・二〇〇	〇三三	國民思想研究會	神田
日本中産黨創立原案	赤尾織之助	・三〇〇	〇二六	立準會	神田
マルクス社會主義の	石川準十郎	・三〇〇	〇二六	立準會	神田
日本社會科學の	福原 武	・三〇〇	〇二六	立準會	神田
獨裁政治論叢書四	今中 次鷹	・二〇〇	〇三〇	發行所	中野
民族的政治主義	岡見 齊	・五〇〇	〇三三	發行所	中野
國家主義運動大觀	岡見 齊	・五〇〇	〇三三	發行所	中野
帝國主義の產別整理	齊藤内閣通信	・〇〇〇	〇〇〇	發行所	中野
關西に於ける國家社	關西に於ける國家社	・〇〇〇	〇〇〇	發行所	中野
國家社會主義の陣營	國家社會主義の陣營	・〇〇〇	〇〇〇	發行所	中野
一覽表關東關西之部	一覽表關東關西之部	・〇〇〇	〇〇〇	發行所	中野
國家社會主義の	國家社會主義の	・〇〇〇	〇〇〇	發行所	中野
不合理性	不合理性	・〇〇〇	〇〇〇	發行所	中野

(カ) 左翼思想觀察

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
日本愛國運動總覽	石川 龍星	・六〇〇	一七五	東京書房	東京
改訂版國家主義運動大觀	岡見 齊	・五〇〇	〇三三	新光	神田
不況打開根本策と	菅 舜英	・三〇〇	〇三三	新光	神田
國家社會主義	山根 儀重	・三〇〇	〇三三	新光	神田
私有財產制度と	菅 舜英	・三〇〇	〇三三	新光	神田
親鸞の執行と	菅 舜英	・三〇〇	〇三三	新光	神田
フアツシヅム治下の	室伏 高信	・五〇〇	〇三三	平凡	神田
フアツシヅム	伊太利	・五〇〇	〇三三	平凡	神田
マルクス	同	・一〇〇〇	〇二八	一元	神田
學生思想問題	河合榮治郎	・四〇〇	〇一五	岩波書店	神田
思想問題	深井 安文	・三〇〇	〇〇八	大雄	神田
藤井博士全集五ノ二	藤井 元一	・一五〇〇	〇二六	玉川學園出版會	世田
社會思想パンフレット八	オトマルシユベ	・一〇〇〇	〇二六	中央報德會	四谷
マルクス主義の修正	十時 彌	・一〇〇〇	〇二六	中央報德會	四谷
社會思想パンフレット九	奥山 義一	・一〇〇〇	〇二六	中央報德會	四谷
資本主義の終末か	福田 明照	・一〇〇〇	〇二六	中央報德會	四谷
マルクス主義に就て	福田 明照	・一〇〇〇	〇二六	中央報德會	四谷
惡思想に囚はれたる青年の爲に	福田 明照	・一〇〇〇	〇二六	中央報德會	四谷
二面的社會觀を排す	川合 貞一	・四〇〇	〇一五	青年教育普及會	神田
現代社會主義の批判	大島 正徳	・五〇〇	〇一八	中央報德會	四谷
マルクス主義は破産したか	佐藤力之助	・三〇〇	〇一四	勞働時報社	松江
社會主義は何處へ?	田畑 忍	・二〇〇	〇一五	政經書院	京都
政治的民主主義と	田畑 忍	・二〇〇	〇一五	政經書院	京都
社會思想パンフレット	ヨハネス・ラウレンス	・四〇〇	〇二七	カトリック思想科學研究所	岡山
第三インターナシ	ヨハネス・ラウレンス	・四〇〇	〇二七	カトリック思想科學研究所	岡山
ヨナルの國家政策	夏秋 龜一	・一〇〇	〇二七	カトリック思想科學研究所	岡山
共産主義と其實相	小野 陽一	・八〇〇	〇二六	文明協會	牛込
共産主義社會主義の解剖	鈴木 猛	・九〇〇	〇二九	文明協會	牛込
共産黨を脱する迄	桐生 政次	・三〇〇	〇一七	大日方利雄	長野
マルクス主義とボルシエイズム	ゾムバルト	・一〇〇〇	〇三三	日本評論社	神田
赤色團體の嚴正批判	田邊 忠雄	・一〇〇〇	〇三三	日本評論社	神田
社會文庫プロレタリア的社會主義	田邊 忠雄	・一〇〇〇	〇三三	日本評論社	神田

(三) 社會問題・社會政策

(ア) 社會相・小論

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
社會を診斷する性と犯罪と社會福利	淺野 研眞	一・五〇	三三	日東書院	神田
新時代學藝叢書四修 正下のデモクラシー	H.G. ウエルズ 堀口 五郎	三・〇〇	八八	文閣	小石川
社會思想と近代生活	井藤 半彌	一・二〇	三四	同文館	神田
月刊論集今後の社會	社會第二册	〇・七〇	七	社會思想研究會	豊島
現代社會要典	鈴木 宗一	三・二〇	八四	雄文館	米澤
自殺論	鈴木 宗一	三・五〇	五四	寶文館	日本橋
社會思想論	齋藤善治郎	三・五〇	一六	齋藤善治郎	秋田
資本主義の一般的危機	池内 龜雄	一・五〇	四	時事評論社	佐賀
一九三二年 時事評論集四	警察研究會	六・〇〇	三五	松華堂	神田
社會運動に直面して	松浦 要	三・五〇	一〇六	日本評論社	豊島
社會文庫社會連帶責任主義	井上吉次郎	一・〇〇	四二	社會思想研究會	神田
月刊論集今後の社會	ルンペン社會學	〇・三〇	三三	小川町ビル	神田
現代世相論	土田 杏村	一・五〇	三三	千倉書房	京橋
當世側面觀	柴田靖一郎	一・〇〇	二七	高田日報社	高田
世界觀の進化問題	人類の進化問題	三・〇〇	四八	光明社	札幌
歐洲都市の近代相	歐洲都市の近代相	三・五〇	四六	文閣	神田
社會スケッチ	人類は祈る	一・五〇	三三	世相錄社	大森
ルンペンと共に	横から見た華族物語	武智 徳本	〇・四〇	帝國美化實行會	深川
猶太禍問題の検討	猶太禍問題の検討	山口 愛川	一・二〇	一心社	本郷
社會問題パンフレット	社會問題パンフレット	滿川 龜太郎	三・〇〇	内務省社會局分室	豊島
社會問題パンフレット	社會問題パンフレット	杉山 幸一	二・〇〇	若き時代社	本郷
所謂ルンペンの考察	所謂ルンペンの考察	畑野喜一郎	二・〇〇	同	同
勝伯魯急死の真相を語る	勝伯魯急死の真相を語る	同	二・〇〇	同	同
東西朝日新聞の誤報	東西朝日新聞の誤報	山崎 賢一	一・五〇	同	同
明糖脱稅事件の真相	明糖脱稅事件の真相	野依 秀市	二・〇〇	同	同
明糖脱稅事件の真相	明糖脱稅事件の真相	野依 秀市	三・〇〇	同	同

(イ) 農村・農業問題・自力更生

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
歐洲に於ける農村協同組合	農村協同組合	二・〇〇	三三	日本評論社	豊島
農村實地調査の仕方	現代經濟組織を批判して農村に訴ふ	有川 義一	二・〇〇	協調會	石川
世界農業の現勢と本位農業恐慌	三好 幸雄	七・〇〇	二二	木星社	豊島
農業恐慌第二輯	農業問題研究會	一・〇〇	六〇	改造社	芝
農村社會運動の動向	農山 政道	五・〇〇	二八	協調會	芝
農村行政財政問題	岡本 利吉	一・〇〇	三三	日本青年館	四谷
農村問題總解決	農山 政道	一・〇〇	三三	日本青年館	四谷
農村はどうなる	レノン 岩雄	一・八〇	八三	改造社	芝
非常時農村と對策	レノン 岩雄	一・八〇	八三	改造社	芝
系二ロシア農業問題	杉山元治郎	一・八〇	二八	日曜世界社	大阪
農村教化の研究	土田 杏村	一・二〇	三七	第一書房	豊島
社會學的基础	農業問題研究會	一・〇〇	三八	叢文閣	同
改訂版農業恐慌第二輯	農業問題研究會	一・〇〇	三八	叢文閣	同
百姓の貧乏物語	自力に依る	前川 正一	一・〇〇	勞働問題研究會	大阪
農村更生の道	自力更生に依つて救はれた村々	相原言三郎	一・二〇	泰文館	神田
農村計劃委員會設置論	農村計劃委員會設置論	岩谷 愛石	一・八〇	同	同
自力更生に依り救はれた村々	自力更生に依り救はれた村々	岩谷 愛石	一・五〇	同	同
更生へ進む町村	更生へ進む町村	東京朝日經濟部	一・〇〇	同	同
我國に於ける勞働者教育の趨勢	勞働者教育の趨勢	一・五〇	三六	協調會	芝
東京市及近郊町村第三回勞働統計實地調査	東京市及近郊町村第三回勞働統計實地調査	一・五〇	六九	東京市役所	豊島
現代勞働問題叢書三 勞働者教育の根本思想と其方法	現代勞働問題叢書三 勞働者教育の根本思想と其方法	一・五〇	六九	東京市役所	豊島
日備勞働調査昭和六年十一月一日現在	日備勞働調査昭和六年十一月一日現在	一・五〇	六九	東京市役所	豊島
勞働爭議の戦術と對策	勞働爭議の戦術と對策	繁田 淺二	一・七〇	新光閣	神田
現代勞働問題叢書第二册 勞働爭議防止策論と戦術對策	現代勞働問題叢書第二册 勞働爭議防止策論と戦術對策	宇野 利右衛門	一・五〇	工業教育會	大阪
魚河岸争議の真相	魚河岸争議の真相	小肌此四郎	一・五〇	工業教育會	大阪
産業經濟資料米國勞働爭議に對する裁判所の禁止命令制に對して	産業經濟資料米國勞働爭議に對する裁判所の禁止命令制に對して	渡邊道太郎	一・〇〇	同	同
日本の勞働組合	日本の勞働組合	渡邊道太郎	一・〇〇	同	同

(ウ) 勞働失業・借家問題

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
ラスキンのセイソ ト・ジョージ組合 國際消費組合 デーのたぬに 第十六回國際勞動會議議案 に關する意見並參考資料	スゴツト 御木本隆三 産業労働調 査所	・五〇	一六〇	近藤書店 東京橋	
失業打開策	池内 一明	・一〇〇	〇	希望閣 神田	
失業登録者の手記	仲木屋 鑛一	・二〇〇	〇	全國産業團體 聯合會 高知	
失業の話三・經濟	葛岡 常治	・一〇〇	〇	日本労働組合 自由聯合協議會 淺草	
英國失業問題	森田 良雄	・二〇〇	〇	社會教育會 小石	
失業補償論	第一卷第一號 第一卷第二號	・四〇	〇	其 社 山和歌	
雇主と使用人報知	協調會労働 課	・四〇	〇	東京市役所 芝	
退職手当制度の現状	堂前孫三郎	・一〇〇	〇	大日本生産黨 職業組合聯合會 大阪	
借地借家爭議調查	提唱に就て	・一〇〇	〇	名古屋借家人 同盟出版部 名古屋	
家賃半減の 提唱に就て	共同住宅居住者 生活調査第二回	・一〇〇	〇	同 潤 會 豊町	

(エ) 財産・職業

(オ) 融和・公娼・女給問題

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
思想善導用 國富分制論	大木 基臣	・六〇	〇	松田承久 大阪	
私財限度制定案	茂木 實臣	・三〇	〇	富士丸永講出 版部 下谷	
吾々はどうなる 普及版人は何故 に貧乏するか	高島 素之	・三〇	〇	急進愛國主義 經綸學盟 前橋	
躍れわが職業戦線 に貧乏するか	春田 莞兒	・三〇	〇	政治批判社 在取	
即日就業生活 必勝新職業百種	東亞協會	・一〇〇	〇	日本佛教新聞 神田	
千葉市職業案内 滿蒙讀本附小資本 開業及就職案内	東亞協會	・一〇〇	〇	千葉庶民新報 千葉	
特殊部落の史的考察 人類愛第三・四輯	坂本 清作	・一〇〇	〇	關東水平本社 群馬	
融和促進同胞哀話集 融和問題に 關する歴史的考察	成澤 初男	・三〇	〇	全關東水平社 同	
人類愛第三・四輯 融和論集	喜田 貞吉	・一〇〇	〇	三重縣社會事 業協同會 津市	
融和問題に 關する歴史的考察	坂本 清作	・一〇〇	〇	全關東水平社 同	

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
水戸社運動の批判 全國水戸社解消論	山本 正男	・二〇〇	〇	全國水戸社解消會 東京都	
同胞相愛第一輯	群馬縣融和會 同	・二六〇	〇	群馬縣融和會 同	
青年融和運動の提唱	廓清會婦人矯 風會	・二六〇	〇	廓清會婦人矯 風會 澁橋	
廢娼決議一覽	天 俠	・二六〇	〇	廓清會婦人矯 風會 澁橋	
自由を求むる 廓の女達へ	廓の女達へ	・二六〇	〇	廓の女達へ	
公娼	廓の女達へ	・二六〇	〇	廓の女達へ	
農村疲弊と子女賣買問題 形勢最上郡西小岡村娼妓出 稼實情調査	廓の女達へ	・二六〇	〇	廓の女達へ	
高野博士還曆記念 女給生活の新研究	廓の女達へ	・二六〇	〇	廓の女達へ	
女給の脅威	廓の女達へ	・二六〇	〇	廓の女達へ	

(カ) 雜錄

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
少年法發布十周年 記念保護統計圖集	小村 充雄	・一〇〇	〇	日本少年保護 協會大阪支部 大阪	
吾人の使命と その事業	足利友愛俱樂部	・一〇〇	〇	足利友愛俱樂部 足利	
社団法人足利友愛 義國四十年誌	足利友愛俱樂部	・一〇〇	〇	足利友愛俱樂部 足利	
失明者に關する統計 昭和六年十二月一日調査	中央盲人福祉 協會	・一〇〇	〇	中央盲人福祉 協會 東京	
本邦水道事業に 關する調査	東京市政調査 會	・一〇〇	〇	東京市政調査 會 東京	
社會事業調査報告書 女工に關する調査書	新潟縣社會課 內中野財團	・一〇〇	〇	新潟縣社會課 內中野財團 新潟	

監獄部屋廢止論

著譯者 定價 頁形體數 發行所 所住

補遺

沒落する階級 齋藤 野火 〇 三 共 生 關 本 郷 利殖と金儲の近道 有本歎之助 一 吾 〇 三 四 實業之日本社 京 橋

英國の重なる出版業

Publishers' Association of Great Britain and Ireland, Stationers Hall Hourt, London, E. C., 4. Macmillan and Company, Ltd., 10-15, St. Martin's Street, Leicester Square, London, W. C., 2. Longmans, Green & Company, 38-41, Paternoster Row, London, E. C., 4. Thomas Nelson & Sons., Ltd., 35 and 36, Paternoster Row, London, E. C., 4. Sir Isaac Pitman & Sons, Ltd., 39 & 41, Parker Street, London, W. C., 2. Methuen and Co., Ltd., 36, Essex Street, Strand, London, W. C., 2. The Macmillan Company, 60, Fifth Avenue, New York, N. Y.

第十類 産業

(甲) 一般産業

〔一〕産業研究・産業史・各國産業

Table with columns: 書名, 著譯者, 定價, 頁形體數, 發行所, 所住. Includes titles like '自治産業發達史', '産業刷新の理論と實際', '維新産業建設史'.

(産業) 産業研究・産業史・各國産業・産業合理化・産業組合

〔二〕産業合理化・産業組合

Table with columns: 書名, 著譯者, 定價, 頁形體數, 發行所, 所住. Includes titles like '經營學論集六', '産業合理化と失業', '産業合理化圖録'.

(産業) 産業合理化・産業組合 産業界一般・郷土産業

Table of books in the 'Industry' section, including titles like 'Social Library Cooperative Group', 'Industry Combination and Future of Agriculture', and 'Industry Combination Lecture 1-5'. Columns include book name, author, price, page count, publisher, and location.

(三) 産業界一般・郷土産業

Table of books in the 'Industry' section, including titles like 'Rice Cultivation and Farming Methods', 'Industry Statistics', and 'Industry and Temperature in the North'. Columns include book name, author, price, page count, publisher, and location.

(産業) 産業界一般・郷土産業・農政一般

(乙) 農業

(一) 農政一般

(ア) 農業政策・農業問題・恐慌

Table of books in the 'Agriculture' section, including titles like 'New Agricultural Policy Outline', 'Agricultural Policy Upper Volume', and 'Agriculture and Fear'. Columns include book name, author, price, page count, publisher, and location.

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
日本農業恐慌研究	小野 道雄	一・五〇	三六	改造社	芝
農業經濟論	近藤 康男	三・五〇	四三	淺野書店	神田
日本農業年報第一輯	日本農業研究會	一・三〇	四三	改造社	芝

(イ) 農業・農村經營・組合

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
不況打開農政及農業經營	中込 茂作	〇・三〇	一三	中込果樹園	山梨
農業經營と農村計畫	久保佐土美	三・三〇	二四	養賢堂	鹿野
農業實行叢書・有畜農業經營法	田村 新一	一・九〇	二五	同	同
新時代の農業經營	東京日日新聞經濟部	一・五〇	四四	創造社	鹿野
優良農村の經營	松本 寛	一・五〇	四九	文館	神田
農村經營論講	山内 豊重	一・三〇	二五	金洋堂	大分
農業の認識と更生の道	竹原 貞治	一・八〇	一八	泰文館	神田
多角形農業	堀 徹	一・五〇	三三	板倉良吉	淀橋
農家經營と産業組合	山梨縣農會	〇・二〇	二	山梨縣農會	甲府

(ウ) 農村問題・自力更生・雜記

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
農村自救論	權藤 成卿	一・二〇	二二	文藝春秋社	鹿野
農村問題大系	小出 滿二	〇・三〇	三八	日本評論社	同
農村再建論	木村 靖二	一・九〇	二四	白楊社	神田
農村問題の研究	渡邊庸一郎	一・三〇	二四	明治神宮外苑	四谷
農村計畫叢書一・農村指導調査に際して	佐藤淺五郎	一・五〇	三〇	同	同
農村を救ふべきか	横尾惣三郎	一・三〇	八七	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
農村對策	室伏 高信	一・三〇	三〇	財政經濟時報社	日本橋
農民は起ちあがる	親泊 康永	一・四〇	二二	新興社	神田
非常時農村對策	豐福 保次	一・二五	五九	成蹊堂	澁谷
農村都市緊急救済策	鈴木榮太郎	一・三〇	七〇	刀江書院	神田
農村社會調查法	滋賀縣島小學校	四・五〇	六八	明治圖書會社	京橋
都市農村實態調査の理論及實際	大谷 政敬	一・三〇	一〇〇	立命館	同
農村經濟の窮乏と對策	橋本 傳左衛門	三・八〇	六三	三友社	四谷
農村經濟の更生策	山本条太郎	一・三〇	二〇	先進社	本郷
農村郷土の社會學的研究	佐藤 隆徳	二・三〇	三六	厚生閣	麹町
農村救済問題に就て貨幣制度改善非常時即時通貨増發論	原 鐵五郎	一・三〇	一〇〇	東京旭印刷社	神田
農村時局問題	大阪毎日新聞經濟部	一・五〇	一七	一元社	本郷
農村更生の活資料	東浦 庄治	一・二五	三二	社會教育協會	小石川
此の不況に直面した農村更生の道	滋賀の官村	一・六〇	三三	社會教育協會	鹿野
農村自力更生の道	西川光二郎	一・二五	四三	自働道話社	杉並

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
農産物の販賣統制	川村 芳次	三・五〇	〇・二六二	西ヶ原刊行會	赤坂
農家經營の心得	小林 隆平	三・〇〇	〇・二〇〇	小林隆平大森	大森
農産物商品化の基調	竹澤 篤	三・八〇	〇・五八	西ヶ原刊行會	赤坂
農村生産品販賣の榮				福島縣農會	福島
農業倉庫會計學下卷				本城 基	岡山
愛知縣に於ける品種に關する調査				愛知縣農業教育會	愛知
米穀問題				京都商工會	京都
農産物審査要覽	川崎 甫	一・八〇	〇・四六	明文堂	神田
(二) 農學・農事					
(ア) 農學・農業研究					
農學研究第十八卷	近藤萬太郎	三・〇〇	〇・四二	大原農業研究會	倉敷
農學原論	橋本傳左衛門	三・〇〇	〇・三七	西ヶ原刊行會	赤坂
萬有科學大系續篇三				新光社	神田
農學研究第十九卷				大原農業研究會	岡山
現代肥料學	岡崎 慶郎	六・〇〇	〇・四〇	大日本圖書	京都
肥料經濟論	網野 新哉	四・五〇	〇・四〇	養賢堂	神戶
肥料學各論上卷	小野寺 伊勢之助	三・八〇	〇・三六	同	同
最新肥料知識	鶴田 萬平	二・〇〇	〇・三六	富民協會	大阪
肥料計算の話	工藤 齋	五・〇〇	〇・二二	誠堂	京都
肥料界の大勢	川崎 一郎	一・〇〇	〇・二八	大日本法令出版會社	長野
新編肥料の實際問題				同	同
新制・土壤肥料學教科書				同	同
(イ) 土肥・農作					
地方的稻作栽培法				新編縣立吉川農林學校	新潟
酒類防滴消毒除酸劑に關する必携				安光養馬	高知
自給自足の農産加工	柘植 六郎	七・〇〇	〇・四六	成美堂	日本橋
自家用醬油の醸造	高橋 武雄	三・〇〇	〇・三三	明文堂	神田
農山村副業叢書五	三浦伊八郎	四・五〇	〇・三三	大日本山林會	赤坂
蠶絲業統制論	近藤 康男	一・八〇	〇・二七	明文堂	神田
最新廣瀬式養蠶法	廣瀬 次郎	二・三〇	〇・三五	育英館	同
文部省主催蠶絲業經營講習會講演録第二輯	高瀬 慶作	二・〇〇	〇・三九	東京高等蠶絲學校	野田
養蠶の要義	三浦英太郎	六・五〇	〇・八	中島書院	京都
本邦蠶絲業の重大問題原蠶種國營案是非				大野 鎮	同
桑園改植總覽	長崎 章一	一・〇〇	〇・四六	信濃毎日新聞	長野
蠶絲業更生の途	入江 魁	五・〇〇	〇・三六	明文堂	神田
改訂製絲能率論	中川 房吉	四・〇〇	〇・四九	同	同
煮繭學原論	同	二・三〇	〇・三五	同	同
蠶絲業を語る	片田銀五郎	五・〇〇	〇・二〇	同	同

(ウ) 蠶糸業・蠶糸經營

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
改訂耕地整理法要論	大石 芳平	四・七〇	〇・六九	大石芳平品川	品川
耕地整理執務事例	長谷川正一	二・五〇	〇・三九	千葉縣耕地協	千葉
時局區耕種關係農業土木事業に關する要綱				帝國耕地協會	赤坂
耕地主任官會議要録	農林省農務局	七・五〇	〇・二八	農林省農務局	麹町
改正新編實地價格新編縣別羽郡地所持一覽				弘友社	新潟
耕地擴張改良事業に依り不況を緩和せる事例	局			帝國耕地協會	赤坂
安房郡の土性と水稻標準肥料	丸本 彰造	二・〇〇	〇・三三	千葉縣安房郡農會	千葉
ラ イ 麥 考	香川 冬夫	五・〇〇	〇・二六	子安農園	横濱
子安農書飼料の話	安城農藝研	二・〇〇	〇・二五	養賢堂	神戶
農藝寶典	究會			養賢堂	神戶
小澤式甘藷栽培法	矢崎 藏雄	五・〇〇	〇・一八	小澤 豐	豊橋
農家の匡救と馬鈴薯パン	岩槻 信治	三・〇〇	〇・三六	山梨縣南都留農會	山梨
青年教本 作物篇	藤井 國武	一・〇〇	〇・一六	山梨縣南都留農會	山梨
農民叢書 米麥篇				山梨縣南都留農會	山梨
臺灣糖業を行く				山梨縣南都留農會	山梨
有畜農業と大豆粕の飼料化				山梨縣南都留農會	山梨
馬鈴薯王牛島謹爾				山梨縣南都留農會	山梨

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
電照養蠶の實驗報告と考察	櫻井 吉利	一・二〇	〇	〇	伊豫鐵道會社	松山
實驗養蠶法	櫻井 吉利	一・二〇	〇	〇	電氣會社	松山
最新合理的經濟育蠶法	松村 季美	三・〇〇	〇	〇	蠶絲雜誌會社	上田
蠶絲科學講演集 第三輯	松村 季美	三・〇〇	〇	〇	明 文 堂	上田
春蠶合理的飼育法	金崎 眞英	一・五〇	〇	〇	都留安全育普及會	山梨
上族改良の理論と實際	永井 淳雄	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
養蠶實行組合の經營	千坂 高興	一・七〇	〇	〇	同 業 組合 中央	牛込
蠶絲業の恐慌に直面して組合製絲へ邁進せよ	岩瀬美樹之助	一・七〇	〇	〇	同 業 組合 中央	牛込
桑園改良講習録	鍵谷 傳	一・七〇	〇	〇	大日本蠶絲會	赤坂
合理的桑樹栽培法	鍵谷 傳	一・七〇	〇	〇	大 正 堂	岩手
蠶病鑑定檢索表	鍵谷 傳	一・七〇	〇	〇	明 文 堂	神田
桑樹栽培の實際	小鷹利村農會	一・七〇	〇	〇	小鷹利村農會	岐阜
蠶絲業關係例規類聚	福岡縣蠶業試驗場	一・七〇	〇	〇	福岡縣蠶業試驗場	福岡
層繭の處理から染色加工まで	山口縣農務課	一・七〇	〇	〇	山口縣農務課	山口
蠶絲業時局對策に關する研究座談會要記	山口縣農務課	一・七〇	〇	〇	山口縣農務課	山口

(工) 農家知識・蔬菜園藝

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
自作農となるまで	東出 重一	一・二〇	〇	〇	土師農事實行組合	大阪
昭和三十四年度農家經濟調查報告	松原 一夫	一・二〇	〇	〇	農林省農務局	鹿野
昭和三十二年農家經濟調查報告	松原 一夫	一・二〇	〇	〇	農林省農務局	鹿野
農村調查錄	農業學校長	一・〇〇	〇	〇	農業學校	神田
農業便覽	農業學校長	一・〇〇	〇	〇	農業學校	神田
常西合口用水誌	常西合口用水會	一・〇〇	〇	〇	常西合口用水會	富山
農業必携	農業必携會	一・〇〇	〇	〇	農業必携會	茨城
農家の副業を語る	農家副業會	一・〇〇	〇	〇	農家副業會	茨城
自作農創設維持會記	自作農創設維持會	一・〇〇	〇	〇	自作農創設維持會	茨城
資金年賦償還表	資金年賦償還表	一・〇〇	〇	〇	資金年賦償還表	茨城
植物病害研究第一輯	植物病害研究會	一・〇〇	〇	〇	植物病害研究會	茨城
模範農家の事績	模範農家會	一・〇〇	〇	〇	模範農家會	茨城
米穀問題は踊る	米穀問題會	一・〇〇	〇	〇	米穀問題會	茨城
小作調停委員會	小作調停委員會	一・〇〇	〇	〇	小作調停委員會	茨城

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
十四キロ立米 價換算早見表	白井 紅白	一・二〇	〇	〇	飯田常吉	深川
酪農と牛乳	上島與三	一・八〇	〇	〇	西ヶ原刊行會	赤坂
簡易にして經濟的な穀物の乾燥法	小野 稔	一・三〇	〇	〇	新 潟 縣 農 業 會	新潟
農事改良の葉	多角農學	一・三〇	〇	〇	多角農學	京都
最新農村の丁抹	高崎鐵之助	一・三〇	〇	〇	有 誠 堂	東京
働いて擱んだ丁抹	増田 亮一	一・七〇	〇	〇	興國同志會	鹿野
家庭稻作實習指導書	佐島彦石工門	一・五〇	〇	〇	大石公民學校	福井
稲摺機に關する研究問答	近藤 康男	一・五〇	〇	〇	農業と機械社	本所
農業の機械化と農具利用組合	河原 治作	一・五〇	〇	〇	産業組合中央會	牛込
自力更生讀本	東 勇	一・四〇	〇	〇	肥後農友會	熊本
農家讀本	伊東圭一郎	一・四〇	〇	〇	色川農業補習學校	和歌
農村副業の手引	堀 徹	一・三〇	〇	〇	朝日新聞社	鹿野
設計から販賣まで	服部眞一郎	一・三〇	〇	〇	板倉良吉	鹿野
副業六拾五種	服部眞一郎	一・三〇	〇	〇	明 文 堂	神田
新訂十二月の農藝	服部眞一郎	一・三〇	〇	〇	明 文 堂	神田
JOHK講演集	越卷 茂樹	一・三〇	〇	〇	東北支會	仙臺
實用蔬菜早熟促成軟化栽培要覽	越卷 茂樹	一・三〇	〇	〇	明 文 堂	神田

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
推草年中發生秘法	中野 佐市	一・六〇	〇	〇	副 農 協 會	中野
米穀加工指針	外 野	一・五〇	〇	〇	山 上 萩 平	岡山
統合新作物	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
統合農業教科書	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
肥料	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
制業として有利なる能勢菜栽培の理論と實際	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
食用草の人工栽培法	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
農家讀本西瓜の栽培	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
販賣・教材・家庭用蔬菜及果實加工法	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
農家の智慧一四	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
儲かる副業	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
わさび栽培法	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
家鴨と眞鴨の繁殖法	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
實驗百合栽培法	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
實地除虫菊栽培法	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
露地栽培・蔬菜の育苗と其定植	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
蘭草の栽培	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田
市場向蔬菜の作り方と促成軟白早出法	山 口 啓	一・五〇	〇	〇	明 文 堂	神田

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
朝鮮文蔬菜栽培法 便覽	清水 湖	〇・五〇	三〇	〇	タキイ種苗社	京都
簡易農藝化學實驗書	富 士	一・九〇	三〇	〇	成美堂	日本橋
最近農藝化學實驗	齋藤 義男	一・九〇	三〇	〇	同	同
趣味の有用植物	飯田 彌助	八〇〇	八〇	〇	修 教社	同
有利有望果樹栽培	山田 親典	五〇	二〇	〇	改良大和專會	同
花の作り方	加藤 信幸	五〇	二〇	〇	市役所勸業課	岐阜
富 津 南 瓜	作業科協會	〇	六	〇	内岐市農會	岐阜
園藝農作物業	米田 義一	七〇	二〇	〇	平野 勝美	千葉
實驗栽培西瓜の研究	角田 安啓	五〇	七〇	〇	大 光館	同
青年教本蔬菜果樹篇	大隅 正	二〇〇	一六〇	〇	研 友社	同
葡萄の強耐砧木	前田 政吉	三〇〇	三〇〇	〇	明 文堂	同
實驗西洋松茸の栽培					社 友	同

(丙) 林業・牧畜・水産・鑛業

〔一〕 林業

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
(ア) 林學・林業研究	日本森林協會	二・〇〇	二〇〇	〇	共 生	同
林學講座 第一卷	同	二・〇〇	二〇〇	〇	同	同
同 第二卷	同	二・〇〇	二〇〇	〇	同	同
森林利用學	本多 靜六	六・三〇	三〇〇	〇	三浦書店	同
自然科學叢書十 森林肥料論	本多 靜六	三・五〇	一〇〇	〇	日本評論社	同
造林學各論	本多 靜六	三・三〇	一〇〇	〇	同	同
森林生態學講義	河田 杰	四・八〇	一四〇	〇	三浦書店	同
多角形林業の提唱	仲摩 照久	〇・五〇	〇	〇	養 賢堂	同
萬有科學大系續篇四 林業・水産	藤井 郷川	一・三〇	二二〇	〇	大日本森林會	同
臺灣糖業の實際	田中 勝吉	三・三〇	二二〇	〇	新 光社	同
有用木材の性質及用途訂正版	燃料協會	四・五〇	七〇	〇	亞細亞書房	同
實用燃料便覽	田中波慈女	〇・三〇	〇	〇	同	同
地表空氣層及森林の氣候と生態	二田原嘉彦	九・五〇	一三六	〇	帝國森林會	同
滿蒙の森林及林業					同	同
森林組合解説 我國木材供給と 米材滿洲材					同	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
經濟的なる 林道開鑿法	西垣 晋作	一・二五	三〇	×	同	同
木炭検査手簿	三浦伊八郎	一・〇〇	×	〇	同	同
森林治水氣象彙報 第十二號					同	同
森林組合執務の手引 昭和五年木材 需給狀況調査書	昭和三十五年 需給狀況調査書	〇・二五	二七	×	同	同
木炭批判座談會					同	同
木炭検査成績 昭和五年度 立木・木材・石數尺 丸鋸使用法	佐藤 立造	一・五〇	三〇	×	同	同
漆樹栽培組合一覽表 相關關係解析法					同	同
山村語彙					同	同
樹種名方言集	農林省山林局				同	同
樹種名方言集	同				同	同
滿蒙林業事情概要	庄田 作輔	一・三〇	〇	〇	同	同
東山葉煙草耕作法					同	同
セルリーの栽培法					同	同

(イ) 果樹栽培法

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
メロン年中栽培法	川上善兵衛	五・五〇	〇	〇	旭 農園	同
栗の栽培	古屋 清	一・八〇	〇	〇	同	同
最新梨栽培法	野呂 突巳次郎	四・〇〇	〇	〇	同	同
柿栗李無花果 栽培法	古屋 清	一・八〇	〇	〇	同	同
實驗葡萄全書上篇	川上善兵衛	五・五〇	〇	〇	同	同
實験栗栽培講話	兵藤 直彦	六・〇〇	〇	〇	同	同
農山村副業叢書六 山茶及茶梅と椿油	大國 三郎	四・〇〇	〇	〇	同	同
青年教本林業篇	同	二・〇〇	〇	〇	同	同
同 作物病虫害篇	同	二・〇〇	〇	〇	同	同
同 にも出来る 果樹の作り方	東京園藝研 究會	八・五〇	〇	〇	同	同
早生温州密柑の經營論	井關 早生	五・〇〇	〇	〇	同	同
實地應用果樹栽培要義	菅野 壽章	二・六〇	〇	〇	同	同
農民叢書果樹篇	市川實太郎	五・〇〇	〇	〇	同	同

〔二〕 牧畜

(ア) 牧畜研究

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
牧野概論	園田三次郎	三八〇	三三〇	〇	養賢堂	養賢堂 鹿野町
畜産學	中野誠一	三八〇	三三〇	〇	養賢堂	養賢堂 鹿野町
副業畜産全講家畜篇	馬俊雄	三〇〇	四四〇	〇	明文堂	明文堂 鹿野町
家畜病理解剖學上卷	江本修	二五〇	一五〇	〇	誠明堂	誠明堂 本郷
家畜組織學	大澤竹次郎	一七〇	一五〇	〇	同	同
蹄病學	川田信平	一七〇	一五〇	〇	同	同
家畜内科學下卷	松葉重雄	一五〇	一五〇	〇	同	同
馬學 外貌篇	勝島仙之助	六〇〇	一五〇	〇	同	同
家畜傳染病診斷法	新美信太	六〇〇	一五〇	〇	同	同
有畜農業講義錄	久合田勉	二九〇	三〇〇	〇	同	同
日本釧路種馬畫帖	石井進	二〇〇	三六〇	〇	同	同
護蹄	外二名	二〇〇	三六〇	〇	同	同
多年の經驗が生んだ養鶏の管理秘訣	丸山藤右衛門	一〇〇	二五〇	〇	養賢堂	養賢堂 鹿野町
實際の技術が物語る最新養鶏育雛法	成田熊吉	一〇〇	一六〇	〇	中央家畜タム	中央家畜タム 鹿野町
初生雛の雌雄鑑別法	小島三學	七〇	八〇	〇	愛知養鶏新聞社	愛知養鶏新聞社 同
學理と實地・初生雛雌雄鑑別秘法	増井清	一〇〇	六〇	〇	養鶏之日本社	養鶏之日本社 同
多産鶏鑑別法	門脇三藏	六〇	一五〇	〇	同	同
實驗多産養鶏法	米澤雄一	一三〇	二六〇	〇	同	同
多産鶏と其飼養管理	同	一三〇	二六〇	〇	同	同
二百羽養鶏法	同	一三〇	二六〇	〇	同	同

(イ) 養禽

愛知式養鶏法の秘訣	高橋延吉	一八〇	一五〇	〇	三河産業協會	長橋
實際家の養鶏座談會	喜多村修	二〇〇	三〇〇	〇	中外商業新報社	名古屋
知らねばならぬ 養鶏の智識	同	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
採肥養鶏の利益	同	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
養鶏講演集	同	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
育雛參考書	同	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
趣味と實益の 副業養鶏	徳田義信	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
革新增收連合養鶏法	青柳浩次郎	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
養鶏の初歩より 奥義まで	本間谷鷹	三〇〇	四二〇	〇	同	名古屋
養蜂の棗	平塚保雄	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
コレガ養蜂	同	二〇〇	三〇〇	〇	同	名古屋
採毛用アンゴラ 養兔の棗	渡邊寛	四〇〇	六三〇	〇	同	名古屋
最新實利養蜂の經營	馬淵亮衛	八〇〇	一八〇	〇	同	名古屋
蜜蜂の安全な飼ひ方	同	八〇〇	一八〇	〇	同	名古屋
鶏卵の價格低減對策として 鶏養の普及に依る生産所得 増進の急務	非賣	〇	〇	〇	同	名古屋
春の養鶏初生雛雌雄鑑別研究に就て	同	〇	〇	〇	同	名古屋
兎の飼ひ方	辻田正一	三〇〇	三三〇	〇	同	名古屋

〔三〕 水産・鑛業

(ア) 水産・養魚

最新養兔法	衣川義雄	三〇〇	三三〇	〇	西ヶ原刊行會	赤坂
養狐必携	三島康七	一〇〇	九〇	〇	明文堂	鹿野町
養脚試育の研究	淺野雅三	一〇〇	二〇〇	〇	同	鹿野町
養狐の理論と實際	高橋關晴	一八〇	四〇〇	〇	丸善	日本
養兔の獎め	同	一〇〇	四〇〇	〇	同	日本
養狸の實際	同	一〇〇	四〇〇	〇	同	日本
多産鶏の飼ひ方	同	一八〇	二七〇	〇	同	鹿野町
水産二十年史	勝田孝一	一五〇	三三〇	〇	水産新聞社	京都
明治大正水産回顧録	下啓助	一八〇	三三〇	〇	同	鹿野町
帝國水産讀本	中澤毅	一三〇	三七〇	〇	同	鹿野町
帝國水産讀本	同	一三〇	三七〇	〇	同	鹿野町
青年水産教科書	同	〇	〇	〇	同	鹿野町
函數漁況論	小安正三	四〇〇	二六三	〇	水産教育研究會	鹿野町

書籍の半型と紙の取り方一覽表

名	稱	印刷用紙		全紙の取方		仕上り寸法	
		の大きさ	計	縦	横	縦	横
菊半裁判	菊半裁判	縦三・一尺横二・一尺判	四ツ切	十六取	七寸三分	五寸	
菊相判	菊相判	同	四ツ切	三十二取	五寸	三寸七分	
三五相判	三五相判	同	六ツ切	三十六取	四寸八分	三寸三分	
四六縮刷判	四六縮刷判	縦四・六尺横二・六尺判	四ツ切	四十取	四寸九分	二寸八分	
四六倍判	四六倍判	同	六ツ切	三十二取	六寸二分	四寸二分	
四六半裁判	四六半裁判	同	四ツ切	三十六取	五寸八分	四寸二分	
三六判(變形)	三六判(變形)	同	八ツ切	十六取	八寸五分	六寸二分	
大形菊判	大形菊判	縦三・三尺横二・三尺判	四ツ切	十六取	四寸三分	三寸	
大形菊半裁判	大形菊半裁判	同	四ツ切	四十八取	五寸七分	三寸	

第十一類 商・工業・交通・通信

(甲) 商業

(一) 商業學・商業研究

(ア) 商學・商業經營

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
商學要論	江藤誠之・吾	〇・二三	同	文館	神田
商學研究一	中山伊知耶・吾	〇・三〇	〇・三〇	岩波書店	同
世界商業史	横井春野・吾	〇・四〇	〇・四〇	メデコ書院	小石川
商學全集・商業通論	増地庸治郎・吾	〇・三三	〇・三三	千倉書房	京橋
標準商品學	南種康博・吾	〇・二九	〇・二九	杉本書店	京都
商品學要論上卷	河合諄太郎・吾	〇・四三	〇・四三	三省堂	神田
重商政策發達史	竹内謙二・吾	〇・三八	〇・三八	日本評論社	神田
日本小商業史	横井時冬・吾	〇・二九	〇・二九	白楊社	神田
商業經營	増地庸治郎・吾	〇・二三	〇・二三	雄風館	神田
商業組合概説	小林愛雄・吾	〇・二二	〇・二二	振興館	京橋
增訂・商業美學	西依六八・吾	〇・六三	〇・六三	丸善	日本橋
最新商品學講義	高垣寅次郎・吾	〇・三三	〇・三三	千倉書房	京橋
商學全集三四 産業心理學	金子弘・吾	〇・三三	〇・三三	千倉書房	京橋
內國商業實踐圖解と指導	岡田市治・吾	〇・三三	〇・三三	岡村書店	淺草
商學全集四二 經營學文獻解説	平井泰太郎・吾	〇・三三	〇・三三	千倉書房	京橋
經營學研究	馬場敬治・吾	〇・三〇	〇・三〇	森山書店	神田
再訂・内外商業政策	小林行昌・吾	〇・五五	〇・五五	丸善	日本橋
商業經營要論	鈴木保良・吾	〇・一八	〇・一八	山中ビル	京橋
經營學入門	平井泰太郎・吾	〇・三三	〇・三三	千倉書房	同
經營學の常識	同	〇・二五	〇・二五	同	同
經營學の常識	上野陽一・吾	〇・二六	〇・二六	同	同
經營學の常識	池田憲司・吾	〇・三九	〇・三九	西ヶ原刊行會	赤坂
經營學の常識	荒木孟・吾	〇・二三	〇・二三	市政會館内東	神田
經營學の常識	小田久太郎・吾	〇・三九	〇・三九	實業之日本社	京橋

(商・工業・交通・通信) 商業學・商業研究

(イ) 企業・商工業案内

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
公 企 業 論	麻生平八郎	一・五〇	二五〇	章華社	目黒
本會調査公益企業法案に對する世論一斑		〇・三〇	三〇	市政會館内東	同
公益企業に關する調査報告		〇・七〇	七〇	同	同
二ノ四本邦電氣供給事業に關する調査		〇・三〇	三〇	同	同
電氣事業概観	高木 勝起	一・六〇	三三〇	橋書店	牛込
本邦地方鐵道事業に關する調査	篠田 勇	一・二〇	二二〇	東京市政調査	同
鳥取名所商工業案内	本田 肇	〇・七〇	七〇	會取商工	鳥取
滿洲商工業事情概要	小須田 常三郎	〇・三〇	三〇	普及協會	同
神戶市商工業要覽		〇・三〇	三〇	南滿洲鐵道會社	同
昭和六年度・京都商會吉商工業案内		〇・九〇	九〇	京都商工會議	京都
山形商工業案内		〇・二〇	二〇	山形商工會	山形
桑名商工業案内		〇・二〇	二〇	桑名商工會	三重
津市商工業紀要		〇・二〇	二〇	津商工會	津市
萩町商工業案内		〇・二〇	二〇	田中喜三郎	山口

(ウ) 商人・商業知識

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
羅紗洋服商工名鑑		〇・三〇	三〇	中外毛織	大阪
秋田商工會議所二十五年史		〇・三〇	三〇	秋田商工會	秋田
東京市に於ける中小商工業者の實際上編		一・八〇	二七〇	工政會	同
商人讀本	蟻川 行道	一・〇〇	一〇〇	文修堂	同
昭和七年度・物價人氣豫想表		〇・一〇	一〇	大馬孫作	同
商品鑑定法	高種 康博	七・九〇	八四〇	成美堂	同
商況記事解説	國民新聞經	一・二〇	二二〇	雄文閣	同
誰にてもわかる商品	岡田 純夫	一・三〇	三三〇	財政經濟時報	同
現代社會裏面産業破抜記一名損をせぬ秘訣	寶來 正芳	一・〇〇	一〇〇	良榮堂	同
家作を貸す秘訣	細木 盛枝	二・五〇	二五〇	田口書店	同
東京市に於ける中小商工業者の實際中編		二・八〇	三三〇	工政會	同
同 下編		二・四〇	二四〇	同	同
賣藥の智識		一・三〇	一三〇	富山藥事新聞	同
商業法規大意	藤田 徳松	一・二〇	二四〇	同	同

(ニ) 市場・取引

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
續予を繞る人々	林 幸平	一・〇〇	二五〇	百貨店商報社	同
旅 商 記	阿部 三虎	一・五〇	四三〇	日本雜誌協會	同
紋 帳	村松 早苗	一・八〇	四三〇	愛知縣實業組合	同
商用通信提要	田中 滿三	〇・四〇	四〇	聯合會	同
商業書解説	前田定之助	一・〇〇	三三〇	泰文社	同
商業英語研究	松崎 壽一	一・三〇	二七〇	大同書院	同
實際商事項下卷	酒井 俊雄	一・四〇	三三〇	南天閣	同
最新商事項下	宮島 正夫	一・三〇	三三〇	東陽社	同
實踐商事項	金井 浩二	一・〇〇	三三〇	同文書院	同
精說實踐商業作文	鈴木 隆輔	一・〇〇	三三〇	京都商工會	同
商店學教科書六	金子源三郎	一・三〇	三三〇	同	同
新商業實踐書式	神戶市教育會	一・三〇	三三〇	同	同
商業新教科書上卷	西島 良爾	一・〇〇	三三〇	近代文藝社	同
三週間完成	平田 幹三	一・〇〇	三三〇	現代ペン字研	同
日支商用會話獨修		一・〇〇	三三〇	尾道	同
現代ペン字商業文		一・〇〇	三三〇	尾道	同
市場政策原理	福田敬太郎	一・五〇	四三〇	春陽堂	同
最近の海外新市場上卷	大道 弘雄	一・五〇	四三〇	朝日新聞社	同
同 下卷	中外商業新報	一・五〇	四三〇	同	同
最新市場用語詳説	向井 梅次	一・三〇	三三〇	森山書店	同
配給市場論概要	沼田 嘉穂	一・二〇	二二〇	同	同
合併貸借對照表論	中山 成基	一・三〇	三三〇	森山書店	同
商品取引所	志賀 寛一	一・三〇	三三〇	巖松堂	同
米國に於ける生絲の取引	向井 虎松	一・五〇	四三〇	同	同
綜合取引所論	和田 好陽	一・五〇	四三〇	同	同
名古屋市貨物集散概況昭和五年	小肌此四郎	一・五〇	四三〇	同	同
大阪天滿市場隱語集		一・五〇	四三〇	同	同
東京魚市場の將來		一・五〇	四三〇	同	同
横濱市中央卸賣市場年報昭和六年		一・五〇	四三〇	同	同
中央卸賣市場の話	三宅 孤軒	一・〇〇	三三〇	同	同
中央卸賣市場法	小金 義照	一・〇〇	三三〇	同	同
中央卸賣市場解説	矢野 實	一・五〇	四三〇	同	同
並收容より開業迄	定石 宗利	一・六〇	四三〇	同	同
中央卸賣市場		一・六〇	四三〇	同	同

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
世界の古物市場と珍商賣を尋ねて	外山與治郎	一・七〇	四八	堂大阪	大阪

〔三〕貿易・關稅

自由貿易經濟論	ロバート・スミス 井上貞蔵	一・八〇	二六六	同文館	神田
英國に於ける貿易統制諸提案	小林茂次郎	二・〇〇	二九	東亞經濟調查局	神田
商業政策第一節	油本 豊吉	四・〇〇	三六	有斐閣	神田
昭和六年日本貿易年表上篇	大藏省	二・八〇	三三	内閣印刷局	神田
綿織貿易現況に就いて	伊藤竹之助	〇・五〇	一〇	日本綿業俱樂部	大阪
貿易振興	對滿通商貿易局	〇・三〇	三〇	日本貿易振興會	東京
對滿通商貿易局注目すべき西	外務省通商局	一・八〇	三六	三省堂	神田
南米産業と貿易	商工省貿易局	一・二五	二二	ハラルド社	神田
The Foreign Trade of Japan	門多 榮男	〇・一五	一〇	内外産業資料調査會	東京
重要商品別に就いての關稅改正の基礎及其影響	富永 祐治	三・五〇	四四	大阪商科大學經濟研究所	大阪
關稅に就いて	關稅に就いて	〇・一五	一〇	大阪自由通商協會	大阪
本邦鐵鋼業と關稅	關稅に就いて	〇・一五	一〇	大阪自由通商協會	大阪
關稅引上の裏に	關稅に就いて	〇・一五	一〇	大阪自由通商協會	大阪

〔四〕商店經營・販賣・廣告

上野氏商店經營	上野 陽二	二・二〇	一三	賢文館	神田
暴かれた百貨店	石狩 二郎	〇・五〇	八	精華書房	東京
百貨店の分析的的研究	山田 忍三	〇・四〇	一〇	進弘社	本郷
大阪市に於ける見本市並商店街	山田 忍三	〇・三〇	七	千倉書房	東京
同業部長訓示其他營業部	山田 忍三	〇・三〇	七	千倉書房	東京
經營秘話	山田 忍三	〇・三〇	七	千倉書房	東京
經營五年	山田 忍三	〇・三〇	七	千倉書房	東京
菓子小賣店の繁昌策	山田 忍三	〇・三〇	七	千倉書房	東京

〔ア〕商店經營

喫茶店經營秘訣	山内 秀綱	三・三〇	四〇	ゆめ荘印刷部	神田
無資本小資本	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
小資本商人唯一の友問屋と友達	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
均一店の開業と經營	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
藥店を生かす	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
誠文堂文庫	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
藥店繁榮策	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
老舗越竹の沿革と高橋竹藏氏	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
白山繁昌記	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田
チップ增收の秘訣	山内 秀綱	一・〇〇	一三	日本佛教新聞社	神田

〔イ〕販賣術

販賣の研究	坂本 重關	一・二〇	二二	森山書店	神田
現代商業商人と販賣術	柳原 民司	〇・五〇	一五	柳原民司	秋田
販賣政策に関する二研究	佐々木良雄	一・五〇	二九	大丸本部調査課	大阪
販賣秘法	佐々木良雄	一・五〇	二九	大丸本部調査課	大阪
商戰三十年	小川 菊松	〇・二五	三五	誠文堂	神田

〔ウ〕宣傳廣告・商標

煙草販賣	有賀 祿郎	八・五〇	二六	時事新報社	神田
百貨店の跳躍	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
商賣の呼吸	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
一九三二年新綜合賣	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
買術豫測圖象從篇	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
成功の秘訣と商賣繁昌の鍵	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
自動車用品販賣秘訣	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
通信販賣大寶典	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
初歩より奥儀まで	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
通信販賣術講義錄	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
原價計算例題集	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
大大阪業界仕入	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
綜覽昭和八年版	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
能率叢書	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
模範仕入販賣法	阿波野才二	一・五〇	三〇	誠文堂	神田
宣傳廣告の計畫論	森崎 善一	八・〇〇	六二	谷口春雄	大阪
論篇・資料篇	森崎 善一	八・〇〇	六二	谷口春雄	大阪
廣告の心理學	有田 二郎	一・八〇	三六	日東書院	神田
廣告研究第二輯	有田 二郎	一・八〇	三六	日東書院	神田

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
日本廣告寫真	室田 康造	一・三〇	二二	誠文堂	神田	
廣告論叢第十七輯	結城 操	〇・〇〇	七	萬年社	大阪	
着手事業篇實傳篇	小沼 昇	〇・五〇	〇三	早稻田大學廣告研究会	神田	
廣告概論	新井 泉男	二・〇〇	三	廣島廣告協會	廣島	
廣告の拵へ方	池邊 義敦	二・八〇	一四	アトリエ社	牛込	
ポスターの理論と方法	室田 康造	△三・八〇	三六	誠文堂	神田	
廣告實務便覽	堀田善太郎	二・二〇	五三	雄文閣	小石	
廣告界新年號附錄	水川健之助	一・〇〇	一四	協會關西支社	大阪	
街頭宣傳學	井上 一平	一・〇〇	〇三	正明堂	神田	
JOBK講演集八		〇・四〇	一五	日本放送出版協會關西支社	大阪	
商店常識廣告戰術		〇・三〇	三	譯文社	大阪	
近代窓飾としてのプラカートの話		〇・三〇	三	松堂	神田	
大阪の優良商標		〇・三〇	三	正明堂	神田	
心得置くべき商標の知識		〇・三〇	三	正明堂	神田	
最近一ヶ月間の特許新案及商標集		〇・三〇	三	正明堂	神田	

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
工業管理學	桐淵 勘藏	四・八〇	七八	吉田工務所出版部	神田	
製絲原料論	岡村 源一	三・三〇	四九	明文堂	神田	
最新人造品及模造品の研究	井口豊八郎	三・五〇	三四	太陽堂	同	
應用自在工業便覽	吉原 鐵夫	三・三〇	六五	知進社	同	
我帝國の工業力	田代 秀雄	五・〇〇	八七	延原觀太郎	大阪	
大阪の護謨工業		〇・六〇	二六	大阪市役所産業部調査課	同	
臺灣輪業大觀		〇・五〇	二〇	大阪輪友新聞	同	
企業者間の相互啓發		〇・三〇	一四	日本工業協會	同	
日本若し職はど		一・〇〇	一三	日刊工業新聞	京橋	
工業界はどう動く		一・〇〇	一三	日刊工業新聞	京橋	
標準工業大意	鷹部屋福平	一・二〇	一五	富山房	神田	
國防工業讀本	門田 傳三	一・八五	二八	工業之日本社	京橋	
日本工業地帯の展望	松村 金助	一・五〇	三七	古今書院	神田	

(乙) 工業・工學

(一) 工業・工場 (ア) 工業學・工業研究

(イ) 化學工業・金木工業

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
生産管理委員會提案の趣旨	臨時生産管理委員會	〇・四〇	六	大阪府廳工務課内日本工業協會	大阪	
燃料節約		〇・二五	二八	同	同	
從業員互換制度		〇・六〇	九	同	同	
企業者間の相互啓發		〇・五〇	二	同	同	
適性考查		〇・三〇	元	同	同	
業務改善研究會		〇・六〇	一九	同	同	
見習工教育の改善		〇・五〇	二	同	同	
企業經營者の資格についての注意及職員の適性登用		一・〇〇	四	同	同	
賃金制度		〇・八〇	二三	同	同	
生産管理の改善を目的とする中央機關設立案		〇・四〇	二	同	同	
最新各種織詰製造講義下	山添長四郎	五・七〇	九九	日本織詰協會	日本	
化粧品製造講習要録	藤井 勇美	三・〇〇	七三	中三社	芝	
最近應用化學實驗叢書一 簡易化粧品の作り方	加藤與五郎	三・五〇	二五	共立社	神田	
電氣化學工業	中野 徹堂	〇・五〇	吳	中央化學工業研究所	名古	
實際化學工業品製造法二 揮石鹼化粧品製造教授書	越智主一郎	〇・二五	〇五	大日本聯合火災保險協會	神田	
化學工業と金屬材料	山本 洋一	一・七〇	二二	工政會	同	
萬有科學大系續編二 電氣化學工業化學工業染料と染織	仲摩 照久	三・五〇	六九	新光社	神田	
實際化學工業品製造法一 粉末石鹼製造教授書	中野 徹堂	〇・二八	二八	中央化學工業研究所	名古	
實際化學工業品製造法二 小資本で出来る石鹼製造法	山添長四郎	〇・五〇	九	三三社	芝	
實際化學工業品製造法三 固形洗濯石鹼製造教授書	吉崎 義郎	〇・三三	三三	中央化學工業研究所	名古	
實際化學工業品製造法四 模範化粧品粉末	中野 徹堂	〇・二八	二八	同	同	
模範化粧品粉末	北山 伍一	〇・一四	一四	千姬化粧料製造本舖	大阪	
石鹼製造法	内田 宗義	〇・四二	四二	岩波書店	神田	
珪酸鹽類工業概論	島田 義照	五・〇〇	四七〇	大阪石鹼商報	大阪	
日本石鹼工業史						

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	所住
製罐毛書物要覽	能代 仙吉	二・五〇	△		清水製作所	蒲田
新案捕蠅器製法		一・〇〇	△		中村千代松	水戸
粉末石鹼製造販賣法		〇	〇		東京石鹼化學研究所	深川
最新罐詰製造講義		〇	〇		日本罐詰協會	日本
油脂石鹼塗料	岩本 義虎	二・八〇	〇	二七六	中央化學工業株式會社	神田
粉末石鹼製造教授書	中野 徹堂	〇	〇	六五	研究所	芝
塗料界の龍兒ラッカーの作り方とその塗り方	立澤 勇吉	一・八〇	〇	六四	三 圭 社	芝
毛皮の鞣し方と製革法	山添長四郎	〇	〇	八五	田邊書房	世田
白井恒三郎	田邊 一郎	〇	〇	二四	中央書院	八幡
鐵力板製造に就て	小田 隆信	〇	〇	二四	大阪時計學院	大阪
時計學學理技術	辻 萬平	〇	〇	二五	日本鑄物協會	豊町
鑄物作業標準		三・〇〇	△	二二三	東京分析技術研究所	在
金合金分析の指導附金鍍金法		二・〇〇	〇	一八	協 調 會 社	芝
不良鑄物の原因と其防ぎ方		〇	〇	二二	商品興信新聞	本郷
時計修理の實際	藤井 勇二	〇	〇	二二		

(ウ) 紡績業

(エ) 工場研究・工場管理

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	所住
工場と地域制	矢野 兼三	〇	〇	一八七	森山書店	神田
工場と地域制	同	〇	〇	一八七	東京工場協會	豊町
工場材料の管理と商品の検査	小原龜太郎	二・五〇	〇	二九三	春 陽 堂	日本
第十二次全國製絲工場調査昭和五年年度	農林省蠶絲局	△	△	二七五	帝國農會内、全國製絲組合聯合會	豊町
煤煙防止と石炭の經濟	若林金五郎	〇	〇	六	内藤燃料研究所	品川
工場統計と疲勞調査	柴原 弘	二・〇〇	〇	二三八	大同書院	神田
工場振興物語	岡本 瓊二	〇	〇	二九	文化書房	本郷
工場内の運搬と運搬用具	伊藤 誠輔	一・七〇	〇	一四	マネジメント	四谷
昭和五年工場統計表		七・〇〇	△	一〇三五	商工大臣官房	豊町
織布工場の合理化と原價計算	喜多卯吉	二・五〇	〇	二二六	紡績織布研究所	大阪
工場食の改善	警視廳工場課	〇	〇	三六	社會局内	豊町
工場法適用工場一覽	課	〇	〇	一〇八	産業福利協會	豊町
工場體操	鯉沼 荏吾	二・〇〇	〇	七	産業福利協會	豊町
職長及職長指導者の教育		〇	〇	二〇八	協 調 會 社	芝
工場の寄宿舎から	淺田 きく	二・〇〇	〇	〇	日 東 社	大阪

(ニ) 土木一般

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	所住
丹後縮緬案内		一・五〇	〇	三二	日本織物通信	杉並
小千谷縮布考		〇	〇	〇	西脇新次郎	新潟
昭和五年生絲検査調査報告下巻		〇	〇	一七	神戸市役所	神戶
最新綿糸紡績術		〇	〇	〇	工政會出版部	豊町
最新實用織物の出来上るまで		〇	〇	〇	大日本文化研究所	天森
支那紡績の發達とその將來		〇	〇	〇	東亞經濟調查會	天森
鐘紡と東洋紡		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
靜岡縣の織物		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
紐育生糸集統計		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
最新紡績織布便覽		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
特殊人絹の彈性に就て		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
我が紡績事業の強味と弱味		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
ミニール精紡機		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
綿綿サロン		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
ブライット式混棉機		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野
カタログ集		〇	〇	〇	大泉武雄	瀧野

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所	所住
橋梁工學橋台と橋脚の設計	佐藤 廉平	二・八〇	〇	二二	淀屋書店	大阪
大野橋梁汎論	大野 諫	四・〇〇	〇	四四	同	同
鋼 橋	上野 正夫	三・〇〇	〇	三九	淀屋書店	大阪
網並鐵筋コンクリート不穩定橋	仲摩 照久	二・五〇	△	三七	新光社	神田
萬有科學大系橋梁	三浦 七郎	七・〇〇	△	七四	常磐書房	小石
鋼 橋	良本 正勝	二・七〇	〇	二八	淀屋書店	大阪
コンクリート堰堤	吉田 彌七	四・〇〇	〇	四二	善 橋	日本
コンクリート及び鐵筋コンクリート汎論上巻		二・〇〇	△	二四	道路研究會	品川
滑り止め鋪裝		〇	〇	〇	大正商工社	四谷
座談會記錄		〇	〇	〇	大正商工社	四谷
工事實例青山隧道編	西畑 常	四・〇〇	△	二七	淀屋書店	大阪
簡易鐵筋混凝土	中村 猪市	〇	〇	〇	淀屋書店	大阪
鐵筋混凝土計算便覽		〇	〇	〇	淀屋書店	大阪
計算初步便覽		〇	〇	〇	淀屋書店	大阪
實用のコンクリート		〇	〇	〇	淀屋書店	大阪
土木研究資料二		〇	〇	〇	淀屋書店	大阪
日本治水史		〇	〇	〇	淀屋書店	大阪
土木建築資料		〇	〇	〇	淀屋書店	大阪
撰定表一九三二年		〇	〇	〇	淀屋書店	大阪

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
船用補助機關學	臨時公立商船學校	○三〇	海文堂	神田	
實地機械工學	藤村 義樹	○四七	修教社	同	
改訂增補機構學	丹羽 重光	○二九	丸善	日本橋	
機械工學圖集	山本 次男	○一七	大石堂	大阪	
機械工學術語集	竹村 勘悉	×三五	島根信吉	淀橋	
實用受驗船用各種石油發動機	齋藤 善一	○四七	受驗研究社	神戶	
非同期遞相機	磯野達一郎	○二九	オーム社	神田	
船用內燃機關附圖	臨時公立商船學校	△六六	嵩山房	本郷	
增補力織準備機學	大住 吾八	○三〇	丸善	日本橋	
同期機の理論と應用	倉斗 武夫	○三六	實用工學社	京橋	
日本標準機械總覽	樹田 政一	○〇〇	會	同	
ビウイク解説書	一九三二年式	○〇〇	日本ゼネラルモーターズ會社	大阪	
圖録工作機械	倉橋藤治郎	○一五	工政會出版部	麹町	
國產機械圖表	朝倉 希一	△	機械學會	同	
三聯成船用汽機のバルブセツチングの實測に就て	八田志津馬	○六〇	谷口鐵工所	神戶	
實用機械設計		○五七	實用工學社	大阪	

(四) 測量・度量衡・製圖

(ア) 測量・度量衡・メートル法

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
近世機械學問題詳解	宮城音五郎	○一七	○二〇	丸善	日本橋
空氣制動機	石井 貞次	○二五	○三七	石井貞次	兵庫
船舶經濟運行裝置		△		杉山	保大阪
實用測量學	關 信雄	○二〇		山海堂	神田
測量學	同	○三〇		常磐書房	小石川
圖解土地測量法	福田西之介	○八〇	○一五	圖書刊行會	茨城
實地測量法講義	森田 虎起	○一六	○一五	淀屋書店	大阪
測量下	龜田 惠	○八六		大阪鐵道局	神戶
測定と圖表	竹内 時男	○一八	○一七	内田老鶴園	日本橋
度量衡要綱	上野 蓮三	○二〇	○一七	上野蓮三	福岡
度量衡換算表		○二〇		三浦川工務所	香川
メートル法自由自在		○九		日本度量衡協會	同

(イ) 製圖

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
メートル度量衡法の智識	景山 吾六	○二〇	○二〇	國際メートル普及會	神田
滿洲國に於ける度量衡とメートル法	松本岩太郎	○七〇	○二〇	廣陵社	神田
解り易い覺え易い實用メートル法	外 二名	×	×	淀屋書店	大阪
メートル法を中心としたる換算表		×	×	メートル會	水戸
メートル法換算表		○二〇	○三〇	京濱羅紗商同會	麹町
メートル法實行早わかり		○二〇	○三〇	鐵道圖書局	同
詳解計算尺の使ひ方	坂元左馬太	○八五	○二六	鐵道圖書局	同
高等圖學	東京高等學校	○二〇〇		有文閣	本郷
最新工業製圖法	隅部 一雄	○四〇		山海堂	神田
日本標準規格應用實用機械設計製圖	井上 善吉	○三〇	○三〇	竹原文泉堂	大阪
家具製圖	鈴木 太郎	○一〇〇	○一五	中央工業會	小石川
日本標準製圖の指針	山中 秀男	○一〇〇	○三〇	大日本工業學同會	同
機械製圖法講義二製圖實習篇	松田 辰司	○八〇	○二五	錦ビル内東京機械製講習會	麹町

(丙) 交通・通信

(一) 交通一般

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
日本古印刷文化史	木宮 泰彦	○七〇	○七七	富山房	神田
活版印刷術講義	川村市兵衛	○一七		大阪市立福島商工專修學校	大阪
活版印刷講義錄上卷		○四		活版印刷普及會	澁谷
印刷美術大觀	島屋 政一	△		大阪出版社	大阪
文撰術講座	石川淺次郎	○六〇	○六〇	石川淺次郎	小石川
謄寫版印刷法	長谷部優司	○六〇	○八〇	中島書店	千葉
謄寫版研究		○七		同	大阪
日本最新簡易交通地圖		○七		日本教材研究會	豊島
最新交通名所案内		○三	○八	交通時報社	和歌山
近畿之部		○三	○八	郵船ビル	同
最近の滿蒙交通事情		○二	○六	日本交通協會	麹町
交通事業の合理化		○二	○六	同	同
小樽海港博覽會誌	笠松慎太郎	○一四	○三三	小樽商工會議所	小樽

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
最近の交通諸問題		〇・二五	〇・六五	郵船ビル	神戶
最新日本交通圖表		一・二五	〇・四五	交通研究會	日本
新與滿洲國	滿蒙資源調查會	一・三五	〇・四五	三一元堂	神戶
滿洲に於ける最近の交通事情		〇・四〇	〇・四〇	郵船ビル	神戶
交通物語	三井 高陽	一・七〇	一・五〇	丁未出版社	同
第四回全國安全週間報		〇・三〇	〇・三〇	社會福利協會	同
スピード時代の常識		〇・四〇	〇・四〇	土谷大正堂	岡山
伯備沿線案内		〇・四〇	〇・四〇	同	同

(一) 海運

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
海運夜話	廣幡 忠隆	一・三〇	〇・三三	日本海事學會	滋谷
海運諸統計一九三三		一・〇〇	〇・三三	神戶海運集會	神戶
我國海運側面觀・交通機關と吾等の使命		〇・〇〇	〇・〇〇	郵船ビル	神戶
船主別日本船名録		四・〇〇	一・四〇	日本交通協會	神戶
昭和七年版				海商社	中野

(イ) 航海術

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
昭和七年度日本貨物船明細書		七・〇〇	〇・二四	昭和日本船名録	神戶
昭和七年日本船名録		五・六〇	〇・五八	昭和日本船名録	神戶
Teikoku Kaifu Kyokai The Imperial Japanese Maritime Corporation List of Merchant Steam Vessels of Japan 1932		四・五〇	〇・五八	昭和日本船名録	神戶
海運賃率論	渡信	五・〇〇	〇・六二	海上ビル	同
老船長の回顧六十年	白杵 春水	四・〇〇	〇・五三	森山書店	神戶
	横山 愛吉	一・二〇	〇・三四	高橋南益社	大阪
運用術上卷	臨時公立商船學校	〇・一六	〇・一六	海山房	神戶
航海科機關學	同	〇・二五	〇・二五	同	同
海上危険論	加藤 由作	三・八〇	〇・四四	巖松堂	神戶
沿岸及小形船・各種運轉士教科書	中山海士學館	八・〇〇	〇・八二	其	大阪
郵船運轉士會誌 第四號		〇・二二	〇・二二	郵船運轉士會	神戶
航海學上卷	臨時公立商船學校	〇・一六	〇・一六	海山房	神戶
船用汽罐學上卷		〇・一六	〇・一六	海山房	神戶
船舶動力計算用參考表		五・〇〇	〇・一八	日本海事學會	滋谷

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
運用術義汽船	戸井田悦宏	六・〇〇	〇・七五	寶文館	日本
海上夜話	住田 正一	一・二〇	〇・一六	交通經濟社	神戶
船舶積量噸に就て		〇・〇〇	〇・〇〇	神戶市役所商工課	神戶
海上衝突豫防法並附錄	臨時公立商船學校	〇・〇〇	〇・〇〇	海商社	神戶

(三) 運輸

(ア) 鐵道・運送

書名	著譯者	定價	頁形體數	發行所	所住
訂正増補・鐵道線路と建造物	川越 温	三・二〇	〇・三三	鐵道圖書局	神戶
鐵道線路測量表	木下武之助	三・七五	〇・三三	鐵道時報局	神戶
野外篇設計篇二册		〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道時報局	神戶
手小荷物運輸	秋田 穰	一・五〇	〇・三六	鐵道書院	神戶
貨物知識と運送保管の實際	橋本 武昭	三・八〇	〇・四四	二里木書店	神戶
旅客及荷物運送規則並同取扱細則	鐵道省	〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道省	同
貨物運送の指針	琴地平太郎	〇・〇〇	〇・二四	交通展望社	神戶
鐵道貨物運送の指針	山口 外二	〇・五〇	〇・六六	交通展望社	神戶
鐵道貨物帖表取扱の指針	森 從太郎	一・五〇	〇・四〇	同	同
鐵道統計	田中 廣	〇・〇〇	〇・〇〇	大阪鐵道局	神戶
鐵道保險讀本	岡田 信次	九・〇〇	〇・一八〇	鐵道保險會	神戶
鐵道線路圖	藤井友次郎	二・五〇	〇・二五	鐵道業務研究會	神戶
鐵道職員用貨物事務用鐵道線路地圖	石田 精一	七・〇〇	〇・二九	鐵道旅行社	神戶
鐵道停車場一覽	藤井友次郎	四・〇〇	〇・二五	鐵道旅行社	神戶
片假名引總畫引・全國驛名の讀方	木下 彌輔	〇・一五	〇・一五	大阪鐵道局	神戶
列車電燈	鷲谷 瀧雄	二・〇〇	〇・二〇	鐵道技術社	下谷
防雪林の話		〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道業務研究會	神戶
鐵道線路圖		〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道業務研究會	神戶
貨物事務用		〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道業務研究會	神戶
五十番別驛名早見表	東京鐵道局新橋運輸事務所	〇・二〇	〇・二〇	大日本鐵道會	同
機關車	有原 俊二	〇・〇〇	〇・〇〇	大阪鐵道局	神戶
旅客運輸	川西 實夫	一・三〇	〇・五〇	鐵道書院	神戶
鐵道經濟の話	瓜生 卓爾	二・〇〇	〇・二四	鐵道之日本社	同
鐵道豫算の話	北原 信男	一・八〇	〇・四〇	鐵道書院	同
鐵道豫算の細則		〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道書院	同
轉轍器及明細圖追録第一號	鈴木 東司	一・五〇	〇・三六	鐵道時報局	神戶
鐵道運轉取扱の理論と運用		〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道時報局	神戶
鐵道測量補助表		一・五〇	〇・四六	鐵道時報局	神戶
鐵道教範草案附錄		〇・〇〇	〇・〇〇	鐵道時報局	神戶
機關車乘務員各科問答集		三・〇〇	〇・〇〇	鐵道時報局	神戶

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
競技用單葉模型飛行機V型製作圖解	石川邦太郎	△	△	△	ダイヤモンド模型飛行機研究会	淺草
競技用單葉模型飛行機A型製作圖解	山田 徹	△	△	△	同	同
世界優秀飛行機スケール模型製作の設計と作り方	飯田藤一郎	△	△	△	ダイヤモンド模型飛行機研究会	淺草
逓信事業總覽	島田憲之助	一六〇△	一六〇	△	二六新報社調査部	總町
逓信事業經營論	渡邊音二郎	二〇〇〇	二〇〇	△	交通經濟社	神田
日本郵便切手詳解	大柴 峰吉	二八〇〇	二八〇	△	日本郵券俱樂部	豊島
日滿郵便規則解釋	今道文一郎	五〇〇	二〇〇	△	日本逓信學會	橋本
取扱の栞第一輯	今道文一郎	一五〇	二〇〇	△	長崎聯合協會	長崎
改訂逓信回議文	今道文一郎	七〇〇	二〇〇	△	日本逓信學會	橋本
逓信計理規定考	第一輯	五〇〇	二〇〇	△	副業研究會内	蒲田
逓信計理規定考	第二輯	四〇〇	二〇〇	△	逓信計理社	同
郵便物計量之指針	澁井 一夫	三〇〇	八〇	△	日本計量新聞社	大阪
逓信官吏受驗準備講義錄第一・二・三卷	吉松 氏吉	二〇〇	五七	△	オーム社	神田
第三種逓信標準解答	昭和三十六年	三〇〇	三〇	△	逓信受驗講習會	淺草
逓信講習所高等科	昭和三十六年	二〇〇	三〇	△	逓信受驗講習會	淺草
昭和全年度第三種逓信問題模範解答	昭和三十六年	三〇〇	三〇	△	逓信受驗講習會	淺草
第二種逓信標準解答	昭和三十六年	三〇〇	三〇	△	逓信受驗講習會	淺草
自昭和二年至六年	昭和三十六年	三〇〇	三〇	△	逓信受驗講習會	淺草
最新電話 中編	道田 貞治	三〇〇	三六	△	電氣之友社	京橋
發達史的電信學	戸川 三郎	二〇〇	四〇	△	ラヂオ畫報社	大阪
外國無線電信電話制度調査資料第五號	臨時公立商船學校	〇	一七	△	電務局業務課	同
無線電信電話學	對馬 米吉	三〇〇	三三	△	厚生閣	總町
船用真空管式無線電信電話	對馬 米吉	三〇〇	三三	△	厚生閣	總町
有線無線電報の知識	對馬 米吉	三〇〇	三三	△	厚生閣	總町

(五) 逓信・郵便・無線電信・電話

(イ) 電信・電話研究

逓信教科書構造工學

文部省管内國民工業學院事務所

志水 眞一

無線タイムス

(ウ) ラヂオ・テレヴィジョン

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	所住
一九三二年七歐	ラヂオ・プレテン	五〇〇	二〇四	△	七歐無線電氣商會	麻布
最新ラヂオ科學概説	ラヂオ聽取者は何を好むか	八五〇	二六三	△	日本放送出版協會關西支社	大阪
ラヂオの知識	ラヂオ聽取者は何を好むか	二〇〇	四〇	△	社會教育協會	小石川
聽取者として心得置くべきラヂオの知識	ラヂオ聽取者は何を好むか	二〇〇	四〇	△	社會教育協會	小石川
放送講演集第五輯	ラヂオの知識	五〇〇	二〇四	△	誠文堂	神田
ラヂオの手引	ラヂオの知識	八〇〇	二〇七	△	日本放送協會	熊本
ラヂオの最新高級トード使用の最新製作法	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	九州支社	熊本
最新ラヂオ各種製作法	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	東海支社	名古屋
ラヂオの故障と直し方	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	野地ラヂオ商會	京橋
最新ラヂオ受信機配線配置圖と註釋	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	ラヂオ研究會	大阪
ラヂオ受信機組立と修繕法	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	日本放送協會	大阪
ラヂオ機器製作用尺	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	中國支部	廣島
優秀ラヂオ・エリミネータ受信機の製作と修理法	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	中國支部	廣島
補遺	ラヂオの知識	〇	二六〇	△	中國支部	廣島

(商・工業・交通・通信) 通信・郵便・無線電信・電話

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
實用パワートランス 製作法	菊地 武雄	一・三〇〇	〇六	田中商店研究部	淺草
齋藤大吉先生還曆 記念論文集	能城 仙吉	三・五〇〇	△七〇	清水製作所	京都
製罐毛書物要圖	吉田徳次郎	七・八〇〇	△五九	養賢堂	豊田
鐵筋コンクリート 設計法	高藪 良二	三・五〇〇	〇六	中央工學會	小石川
土木建築工事 施行法					

佛國の重なる出版業

Librairie Hachette.	79, Boulevard St-Germain, Paris.
Lib. Ernest Flammarion.	26, Rue Racine, Paris.
Lib. Félix Alcan.	108, Boulevard St-Germain, Paris.
Editions du Mercure de France.	26, Rue de Condé, Paris.
Agence générale de librairie et de publication.	7, Rue de Lille, Paris.
Larousse.	13-17, Rue Montparnasse, Paris.
Les presses universitaires de France.	49, Boulevard St-Michel, Paris.

第十二類 醫學・衛生

(甲) 醫學・醫事

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
血液型と氣質	古川 竹二	二・八〇〇	〇三三	三省堂	神田
血液型と民族性	同	七〇〇	〇七	共立社	同
優生學と遺傳病學	川上 理一	一・五〇〇	〇四八	文友堂	大阪
最新法醫學叢話	岸 孝義	三・五〇〇	〇四八	文友堂	大阪
性の心理四 性感動の解析	増田 一期	一・八〇〇	〇〇	日教社	日本橋
新潟醫科大學精神學教室 業務フアンホッフの生涯に 關する	式部隆三	一・〇〇〇	〇七	同	同
精神病	遠山 郁三	一・〇〇〇	〇七	同	同
高橋 明	高橋 明	一・〇〇〇	〇七	同	同
馬場 和光	馬場 和光	一・〇〇〇	〇七	同	同
人の醫學概論					
萬有科學大系續篇 七・醫學					
醫學輯覽臨時號					

(醫學・衛生) 醫學研究・醫學史・基礎醫學

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所	所住
醫語基本五千語 增補改訂・趣味の 醫學機微談話	山根 匡志	一・八〇〇	〇二〇	通俗醫學普及會	神田
歐洲醫學通路	西川 義方	三・五〇〇	〇六五	會	同
日本生理學文獻 明治六年—昭和五年	廖 溫仁	八・〇〇〇	〇四三	方ニヤ書店	京都
支那中世醫學史					

(二) 基礎醫學

(ア) 病理學・組織學・細菌學・解剖學

簡明小病理學總論	講 醫 會	一・三〇〇	〇二二	富倉書店	本郷
近世病理學總論	今 裕六	三・五〇〇	〇四〇	南山堂	同
簡明組織學	堀 泰二	三・〇〇〇	〇一八	金原商店	同
家畜病理解剖學下卷	江本 修三	三・〇〇〇	〇二七	克誠堂	同
增補改訂版 細菌學概論	小川 政修	三・八〇〇	〇四三	三省堂	同
教科用簡明醫學 叢書二・細菌學	竹内松次郎	四・二〇〇	〇二六	金原商店	同
細菌及免疫學綱要	志賀 潔	三・五〇〇	〇二九	南山堂	同

編本 纂社	編本 纂社	編本 纂社	編本 纂社	編本 纂社	編本 纂社	編本 纂社	清野 治間	清野 治間	清野 治間	清野 治間	清野 治間
永井柳太郎氏大演說集第一集 第二集	テーブル・スピーチ	式辯 十分間演說集	式辯 五分間演說集	現代青年雄辯集	美談逸話集	交遊 座談術	修養 雜誌	出世 の礎	處世 の道	體驗 を語る	榮えゆく道
一・五〇	一・〇〇	一・八〇	一・八〇	一・五〇	一・三〇	一・五〇	〇・二〇	〇・二〇	〇・二〇	〇・二〇	〇・五〇

細井	編本 纂社	莊小 一郎	祐鶴 輔見	祐鶴 輔見	澤謙 田	澤謙 田	澤謙 田	山太郎	武者 篤小	武者 篤小	柳太郎
日本の決意	新滿洲國寫真大觀	猛獸境探檢記	英雄待望論	ナポレオン	世界十傑傳	エチソン傳	ムツソリニ傳	九條武子夫人	大石良雄	二宮尊徳	大隈重信
〇・五〇	一・五〇	一・三〇	〇・五〇	一・二〇	一・三〇	一・三〇	一・二〇	一・二〇	一・三〇	一・三〇	〇・五〇

（座口替振）社談講會辯雄本日大 京郷 東本

山太郎	晋策	素文	素文	政二	小島	豐彦	祐輔	祐輔	武羅	中夫	菊池	菊池	正雄
敵中橫斷三百里	われ等の陸海軍	漫川 うき世さまぐ	漫川 いのちの洗濯	新版義士銘々傳	一粒の麥	母	子	嘆	仇討新八景	心の日月	白夜は明くる		
一・三〇	一・三〇	二・三〇	一・八〇	一・六〇	一・三〇	二・〇〇	一・八〇	一・六〇	一・二〇	一・五〇	一・六〇		

澤田	宣政	次郎	大佛	大野	宮尾	水田	水田	水田	則吉	八波	西十	西十	山太郎
少年プリニターク英雄傳	リンカーン物語	日本人オイン	長靴の三銃士	漫画のお祭	漫画の罐詰	漫画常設館	のらくろ上等兵	少年模範文	少年詩集	少女純情詩集	亞細亞の曙		
一・五〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・三〇	一・〇〇	〇・八〇	一・五〇	一・五〇	一・三〇		

（座口替振）社談講會辯雄本日大 京郷 東本

老鶴園發行科學圖書名著集

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 物理學通論
本多光太郎氏著 ¥ 5.00 送 .33 | 飛行機の理論と設計
甲斐茂吉氏著 ¥ 7.80 送 .33 |
| 物理學詳解講義
本多光太郎氏著 ¥ 5.00 送 .33 | 鐵及鋼の研究(第一卷)
本多光太郎氏著 ¥ 4.50 送 .33 |
| 物理學上卷 力學物性
川北清氏著 ¥ 6.00 送 .33 | 鐵及鋼の研究(第二卷)
本多光太郎氏著 ¥ 3.50 送 .33 |
| 物理學大要
山田光雄氏著 ¥ 2.50 送 .21 | 鐵及鋼の研究(第三卷)
本多光太郎氏著 ¥ 4.50 送 .33 |
| 高等物理學計算問題集
庄司彦六氏著 ¥ 1.50 送 .21 | 鐵及鋼の研究(第四卷)
本多光太郎氏著 ¥ 5.00 送 .33 |
| 應用物理學實驗
東京帝大物理學實驗室 近 刊 | 鐵鋼の腐蝕と防錆の研究
遠藤彦造氏著 ¥13.00 送 .33 |
| 新制物理學精解(全二冊)
福井私城氏著 ¥各2.50送各.21 | 耐酸耐蝕金屬及合金
遠藤彦造氏著 ¥ 6.00 送 .33 |
| ベクトルとテンソル
山田光雄氏著 ¥ 3.50 送 .33 | 金屬總論
濱住松二郎氏著 ¥13.00 送 .45 |
| 電子論
三枝彦雄氏著 ¥ 4.00 送 .33 | 近代の金屬材料
濱住松二郎氏著 ¥ 8.50 送 .45 |
| 新電子論
三枝彦雄氏著 ¥ 4.00 送 .33 | 冶金學
濱住松二郎氏著 ¥ 3.00 送 .21 |
| 質點の力學
玉城嘉十郎氏著 ¥ 4.50 送 .33 | 東洋鍊金術
近重眞澄氏著 ¥ 2.50 送 .21 |
| 最近に於ける物理學の發展
三枝彦雄氏著 ¥ 1.50 送 .21 | 金屬と人生
加瀬 勉氏著 ¥ 3.50 送 .21 |
| マツハカ學の發達とその歴史的批判的考察
青木一郎氏譯 ¥ 5.00 送 .33 | 電氣化學實驗法
田中正三郎氏著 ¥ 3.80 送 .33 |
| 流體力學と翼並に水力機の理論
池田氏・加藤氏共著 ¥ 4.00 送 .33 | 電氣專家の電氣化學
加藤與五郎氏著 ¥ 2.20 送 .21 |

廣
一
四
九

東京市日本橋區
大傳馬町一丁目

内田老鶴園

振替東京一二一四六
電話浪花一八六五

【目錄送呈要郵券6錢】

老鶴園發行科學圖書名著集

- | | |
|--------------------------------------|--|
| 增訂五版化學語彙
日本化學會編 ¥ 3.00 送 .21 | 熱傳導論
竹前源藏氏譯 ¥ 7.50 送 .33 |
| 改訂十版化學本論
片山正夫氏著 ¥10.00 送 .45 | フーリエ級數及積分論
前源源藏氏譯 ¥ 8.00 送 .33 |
| 無機化學實驗法詳解
近重氏・村上氏共著 ¥ 6.00 送 .33 | フーリエの級數とルジャンドル並にベツセルの函數(應用數學)
池田芳郎氏著 ¥ 4.50 送 .33 |
| 高等無機化學の基礎
永海佐一郎氏著 ¥ 5.00 送 .33 | ローレンツ微分積分學
山田光雄氏著 ¥10.00 送 .45 |
| 化學理論及計算
越山季一氏著 ¥ 5.00 送 .33 | 微分積分學序論
池田芳郎氏著 ¥ 3.00 送 .33 |
| 近世有機化學講義(全二冊)
加納清三氏著 ¥各6.50送各.33 | 高等數學通論
池田芳郎氏著 ¥ 2.00 送 .21 |
| 有機化學構造論上卷
山岡 望氏著 ¥ 6.00 送 .33 | 微分積分の意味と用法
池田芳郎氏著 ¥ 1.20 送 .21 |
| 實驗有機合成化學(上卷)
森山剛一郎氏著 ¥ 2.80 送 .33 | 代數學(第一卷)
藤原松三郎氏著 ¥ 7.50 送 .45 |
| 實驗有機合成化學(下卷)
森山剛一郎氏著 ¥ 8.50 送 .45 | 代數學(第二卷)
藤原松三郎氏著 ¥ 8.50 送 .45 |
| 新兵器化學毒ガスと煙
西澤勇志智氏著 ¥ 6.00 送 .33 | 高等代數學通論
山崎榮作氏著 ¥ 4.80 送 .33 |
| 新兵器化學花火の研究
西澤勇志智氏著 ¥ 8.00 送 .33 | 最新高等平面幾何學通論
山崎榮作氏著 ¥ 3.50 送 .33 |
| 纖維素塗料
西澤勇志智氏著 ¥ 6.50 送 .33 | 最新高等立體幾何學通論
山崎榮作氏著 ¥ 2.30 送 .33 |
| 石鹼製造化學
中江大部氏著 ¥ 6.50 送 .33 | 立體解析幾何學講義
山崎榮作氏著 ¥ 3.50 送 .33 |
| 香料製造化學
關根氏・赤井氏共著 ¥ 7.50 送 .33 | 平面解析幾何學講義
山崎榮作氏著 ¥ 4.50 送 .33 |

廣
一
四
八

東京市日本橋區
大傳馬町一丁目

内田老鶴園

振替東京一二一四六
電話浪花一八六五

【目錄送呈要郵券6錢】

見よ！この素晴らしの
子供叢書 正地禪生著

堂々類比なき豪華版

學校備付として

無二の模範的兒童圖書

全國各學校一千六百三十二校より
 絶大の讚辭と御申込の榮を賜はる

何れも
 二百五十頁内外
 四六版・装幀美麗
 各册共
 タツタ
六十銭
 送料十銭

お母さん！ （母の愛物語集）	兄さん！ （兄弟姉妹愛物語集）	お父さん！ （父の愛物語集）	友と友 （友情物語集）	先生！ （師弟愛物語集）	西長を護れ （主従愛物語集）	金貨の袋 （動物美談集）	夜の星 （發明發見物語集）	土人の唄 （隣人愛物語集）	手のない兵士 （愛國物語集）
-------------------	--------------------	-------------------	----------------	-----------------	-------------------	-----------------	------------------	------------------	-------------------

全國有名書店にあり

東京市小石川區 創造社 振替口座 東京 番〇三四〇七

廣一五〇

陸軍大學教授 宮島吉敏 矢野藤助 共著 特價提供 二圓半

ポケット
支那語辭典 尚文堂版

俄然大好評 八大特色

忽二萬部突破

各學校指定辭書
 各大學・專門學校
 各地高商・中商學校
 支那語學會推賞

- 語彙八萬語
- 譯語正鵠
- 各語發音付
- 檢索至便
- 輯錄廣範圍
- 裝幀優美
- 紙質精選
- 價格至廉



總羊革・頗美裝・紙數八百頁
 定價二圓八〇錢 送料六錢

——呈贈本見容内——

忽八版 奈良一著 矢野藤助先生著 大阪商科大学教授 奥平定世先生著
 支那語作文 支那語の能動的創作的研究
 四月下旬發賣

廣一五一

東京市神田區 尚文堂發行 電話九段一三九四 電話九段一四七五

出版自呈贈錄

佛典講義の權威書

舟橋水哉著	谷大前教授	安井廣度著	文野博士	足立俊雄著	舟橋水哉著	谷大前教授	安井廣度著	文野博士	足立俊雄著	舟橋水哉著	谷大前教授	安井廣度著	文野博士	足立俊雄著	
10	俱舍論講義	7	阿含經講義	8	維摩經、勝鬘經講義	9	因果經、法句經、四十二章經、六方講義	10	俱舍論講義	11	唯識論講義	12	大乘起信論講義	13	天台四教講義
立正大前學長	清水龍山著	龍大前教授	梅原眞隆著	神保大學教授	如天著	今津洪嶽著	東洋大學教授	立正大前學長	清水龍山著	龍大前教授	梅原眞隆著	神保大學教授	如天著	今津洪嶽著	東洋大學教授
21	立正安國論、開目講義	17	正信偈、歎異鈔講義	18	正法眼藏講義	19	碧巖集講義	20	立正安國論、開目講義	21	唯識論講義	22	大乘起信論講義	23	天台四教講義

佛典の講義は本社の講義に依つて完成さる！
 本講義は從來の抽象的講義に據らず、又舊式の字訓に止るを排し、原文・和譯・大意・講說、要義等の項目を設けて講述し、上欄に字訓を収める等、用意周到を極めてゐる。
 佛敎を知らんとする人は先づ本書を見よ。
 正確・懇切・嶄新・斯界第一流の大家が心血をそそぎて執筆せらる。初學者、研究者、學生諸君になくてならぬ權威書。
 ・體裁・
 △各巻讀切、菊判、クロ1ス製、金文字金模様、函入
 △一冊約五百頁乃至六百頁
 △本文九ボ或は八ボ組、頭註六號
 ・定價・
 各冊 金貳拾四圓
 送料

東京★東 院書方東★神田

東方書院發行佛敎文庫

郊譯註	史譯註	敬編	敬編	法著	海著	學著	泰譯註	雄譯註	足立俊	足立俊	著者
和淨土三部經	和淨土三部經	入繪	入繪	曹洞宗概論	天台宗概論	佛敎概論	譯和	譯和	譯和	譯和	書名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	定價
師著	敬編	敬編	敬編	策傳著	雄譯註	飯塚米	史編	一休著	郊編	白隱著	著者
一休和尚文集	入繪	日蓮宗概論	真宗概論	佛典講話(二)	佛典講話(一)	入繪	入繪	入繪	入繪	白隱禪師文集	書名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	定價
福田行	敬編	敬編	敬編	策傳著	雄譯註	飯塚米	史編	一休著	郊編	白隱著	著者
行戒上人文集	入繪	入繪	醒睡笑	譯和	佛像圖繪	佛敎和讚集	入繪	入繪	入繪	白隱禪師文集	書名
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	定價

東京★東 院書方東★神田

廣一五三

廣一五二

目錄贈呈

諸氏の御希望により、各編とも堅牢・典雅な保存版が出来ました。定價三〇錢増

基督教教程叢書

明治學院 都留仙次著 新刊

X 舊約文學序說

關西學院 河邊滿麿著 新刊

IIIX 概說舊約地誌

寫真版三葉

保存版 〇・九〇

紙裝 〇・六〇

送料 〇・〇六

地圖及寫真六葉

保存版 一・〇〇

紙裝 〇・七〇

送料 〇・〇六

廣一五四

II 新約文學序說

青山學院 松本卓夫著 重版

.50 價
.04 送

III 基督教の本質

日本神學校 桑田秀延著 四版

.70 價
.06 送

IV 讚美歌小史

讚美歌改訂 員木 康著 重版

.60 價
.06 送

V 概說教會史

青山學院 氣賀重躬著 重版

.70 價
.06 送

VI 日本基督教史要

青山學院 比屋根安定著 重版

.70 價
.06 送

VII イエス傳

橫濱バプテスト 教會 橋本正三著 重版

.50 價
.04 送

●● 近刊豫定書 ●●

日本神學校 村田四郎パウロ思想概說

青山學院 渡邊善太 聖書の神の國思想

小波お伽全集總目錄

- 怪奇物語
- 教訓物語
- 少女小説集
- 幼年お伽集
- 兒童劇集
- 少年小説集
- 幼女お伽集
- 少年教訓集
- 少女對話集
- 立志物語
- 長篇物語
- 歌劇童謠集
- 實演お話集
- 傳説物語
- 教訓短篇集

定價 各三圓

四倍版。色總クロース。金版金唐草。細密なる文様。精巧な原色版。色版と箔金。併用光彩色。燦爛。挿畫。原色版。彩色石版印刷。頁數極美。堅牢製本。美裝箱。入二十。イボ。組ビ付一冊紙數五百頁前後

佛像圖鑑(全四卷完成)

豪華版

殘部僅少、定價 金拾五圓 特價十二圓
送料三十錢……申込に應ず……

大日本思想全集(全十八卷)

- 一回配本濟 17卷 吉田松陰・佐久間象山集
- 二回配本濟 15卷 頼山陽集
- 三回配本濟 10卷 平田篤胤・富永仲基集
- 四回配本濟 13卷 藤田東湖集
- 林平子集
- 高野長英集
- 渡邊華山集

原正男著

神道の根本研究

我が神典に表はれたる宗教的意義

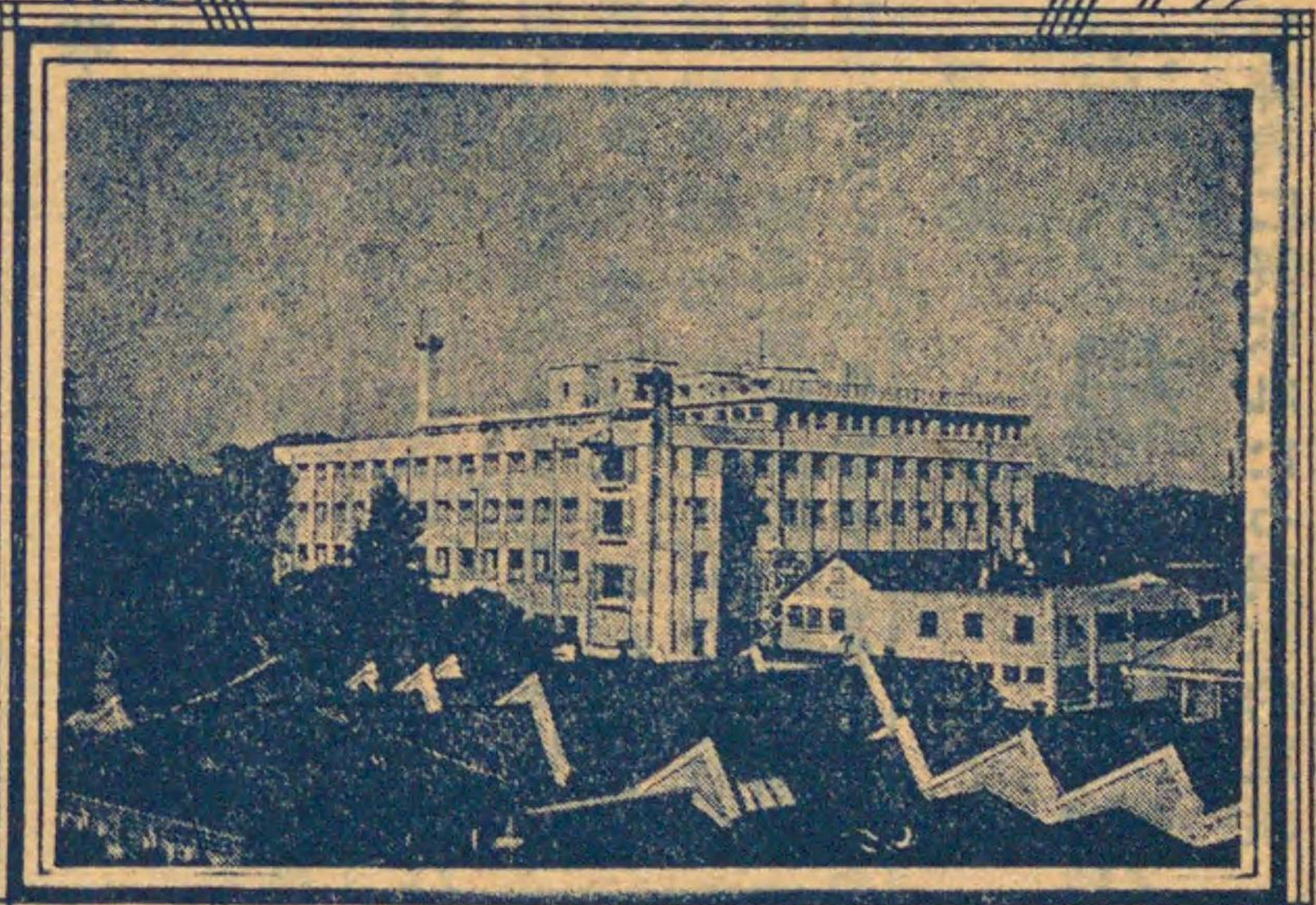
菊列國入特製・定價參圓八拾錢

送料市内 金二十六錢
内地 金二十錢

廣一五五

東京市深川區 吉田書店出版部 電話 東京三九九六番 電話本所 七一六番

昨秋第三號館第四號館を竣
 工最新の諸設備が完備
 致しまして大の方の御
 利用を御待ち
 居て



東京・小石川
 共同印刷株式會社

廣一五六

共同印刷株式會社

本社 東京市牛込區榎町七番地電話牛込 [34]

二四四〇番
 二四四一
 二四四二
 三〇九八番
 三八七一
 三五〇二番
 六三一一番

早稻田分工場(平版) 東京市牛込早稻田大學前電話牛込 [34] 一五九一

大崎分工場(グラビヤ) 東京市品川區上大崎四丁目電話高輪 [44] 四〇〇八

大阪出張所 大阪市北區西堀川町電話北 [36] 一六三三

神戸代理店 神戸市榮町四丁目電話三宮 [3] 二四一八

廣一五七

印刷 鮮明

各種 印刷

日期 正確

東京市神田區小川町一丁目十一番地

宮本印刷所

電話神田(25)七三八番

所主 綾部喜久二

日本喫煙史

最新刊

煙草は全人類の嗜好品の王座を占む。本著者は學生時代より煙草を嗜み、その生活をしてこれに没入し、古今の文獻を渉獵する事多し。其筆致、妙趣横溢、海內外に知らしむ。著者は、この研究に、古今の文獻を渉獵する事多し。著者は、この研究に、古今の文獻を渉獵する事多し。著者は、この研究に、古今の文獻を渉獵する事多し。

東京大學教授 曾我重郎 著

菊判三百頁 上製 定價二圓五十錢 送料十錢

異說日本史

文藝學博士 本多辰次郎 監修
史料編輯官 花見朔巳

第一冊 菊判 約四百頁
第二冊 菊判 約四百頁
第三冊 菊判 約四百頁
第四冊 菊判 約四百頁

全十二冊 一冊四十二冊
人物社會史 政治經濟史 社會思想史 宗教史 藝術史 科學史 文學史 哲學史 經濟史 政治史 社會史 人物史

和服は其の時代の反映であり文明のバロメーターである。本書は原始時代からの衣服の發生より其の全盛時代に到るまでの時代別を排列して、其の統系を造つて時勢を象徴するに足る顯著な服裝に就て詳述したものである。近來の快著である。

日本服裝史

和服は其の時代の反映であり文明のバロメーターである。本書は原始時代からの衣服の發生より其の全盛時代に到るまでの時代別を排列して、其の統系を造つて時勢を象徴するに足る顯著な服裝に就て詳述したものである。近來の快著である。

東京麴町區飯田町 雄山閣
振替東京一六八五

文學博士 吉田熊次先生著 (菊判背皮) (定價・三圓五十錢) (送料・十八錢)

版四十第

教育學原論

教育學に對する博士の創見、學說の大集成である、教育學、哲學的見解と教育諸問題の解答を平明に述べてある。

●文學博士 吉田熊次著 最近教育思潮 大増補 四六判上製 定價 十八錢 送料 七錢

東京帝大教授 入澤宗壽先生著 (四六判特製) 定價 三十錢 送料 七錢

入澤教育辭典

新智識 教育學、教育史、教育哲學、新制度等に關する新舊知識を網羅すること共に、哲學、心理學、論理學、美學、社會學、生理學等に關するものをも取入れた。尙學校圖書館には必備の辭典、時代に遅れざらんことを教育者の座右の名著である。精密な索引を付し學びの丁寧を極めたり。大號三冊組、挿繪豊富。

月刊雜誌・一部四十錢 算術新教育 發行所 東京・麹町・富士見町五丁目九番地 振替東京五八一八〇番 大阪六八八八〇番 電話九段七二七番 教育研究會

著生先市助原篠 士博學文 理論的教育學 (菊判背皮) (定價 五十二錢) (送料 八錢)

著生先助茂永補 士博學文 說纂 日本思想史 (菊判上製) (定價 三十錢) (送料 八錢)

新 內 科 學 新撰內科治療法集成 簡明內科學 上卷 井上內科新書第二卷 內科類症鑑別 內科臨牀講義集二 內科臨牀講義案 內科書 中卷 日本內科全書第六冊 日本內科全書六 中樞神經病 診斷學內科學要綱 內科診斷學要訣 日本內科全書八 デフテリ一篇 日本內科全書七 脊髓病篇 糖尿病と食餌計算 日本內科全書七 末梢神經症篇 教科用簡明醫學 叢書・小外科總論	藤森 雄平 八三三 金原商店本郷 岩井勝三郎 六三〇 九四三 南江堂同 額田 豐 七五〇 六五五 金原商店同 井上善次郎 三〇〇 七四八 吐鳳堂同 額田 晉六 六〇〇 六九九 金原商店同 岩男 晉一 一〇〇 六九 南山堂同 同 一五〇 一四〇 岩男晉赤坂 吳建 七五〇 五八〇 南山堂本郷 坂本 恒雄 七五〇 五八〇 南山堂本郷 小田 平義 一〇〇 六 吐鳳堂書店同 同 三六〇 三六 同 額田 晉 二七 金原商店同 岩男 晉七 五〇 五五 南山堂同 小田 平義 二九〇 一八一 吐鳳堂同 同 二五〇 一六〇 同 小澤 修造 一八〇 一七〇 同 岩鶴 龍三 一八〇 一七〇 同 小田 平義 一五〇 一六一 同 青山 徹藏 七〇〇 四二 金原商店同	簡明外科各論 上卷之一 小外科學概要第一卷 外科類症鑑別診斷學 簡明小眼科學 眼科 新眼科學 下卷 產科婦人科臨牀綱領 白木產科學 前編 新撰產科手術學 新產科學 下卷 簡明產科學 上卷 木下產科婦人科叢書一 子宮癌のラヂウム療法 木下產科婦人科叢書一 異常妊娠分娩一〇〇例並其 處置 木下產科婦人科叢書三 慢性子宮症論 白木產科學 後編	小川 善七 七〇〇 三三〇 金原商店本郷 井上 重喜 六五〇 五五五 鳳鳴堂同 茂木藏之助 〇〇〇 七四九 南山堂同 講醫 會一 〇〇〇 一四四 富倉書店同 石原 忍 五五〇 二八九 同 仁會神田 外 一名 五五〇 二八九 同 仁會神田 畑 文平 七〇〇 七三 鳳鳴堂本郷	(イ) 産科婦人科・小兒科・診斷其他 木下 正中 四八〇 三八 南山堂本郷 白木 正傳 三三〇 一三三 同 磐瀬 雄一 五〇〇 二八三 同 塚原伊勢松 八五〇 四八 金原商店同 川添 正道 五〇〇 三二 同 白木 正博 一〇〇 四 南山堂同 井上 秀夫 一〇〇 四 同 小笠原 清二 〇〇 三三 同 大石 貞夫 一八〇 一七 同 白木 正博 四〇〇 三三 同
--	---	---	--	---

(醫學・衛生) 臨床醫學

廣 一六〇

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
白木産科藥物的療法	白木 正博	一・八〇	七〇	南山堂	本郷
簡明小胎生學	講醫會	一・〇〇	一六〇	富倉書店	同
小兒科學	山本 康祐	一・五〇	三三〇	江堂	同
新小兒科學	内村 良二	一・五〇	三三〇	金原商店	同
具體的小兒科學	佐藤 彰	一・八〇	三六〇	南山堂	同
日常兒科臨床の實際	長尾 美知	一・〇〇	四七〇	金原商店	同
小兒腦膜炎	中村 政司	一・八〇	一三〇	同	同
兒童診療書第四輯	小山 武夫	二・三〇	二二〇	三菱二十一號館	豊町
百日咳とデブテリア	外二名	一・〇〇	一〇〇	斷ミ治瘰社出版部	同
耳鼻咽喉科臨床の實際	中村 登	一・五〇	一五〇	南山堂	本郷
耳鼻咽喉科手術學	和田德次郎	一・五〇	一八〇	金原商店	同
齒科醫事輯覽第一編	松尾 保	一・五〇	二七〇	齒科資料研究會	渋谷
齒科クローリエ	松田 良身	一・三〇	一六〇	齒科資料研究會	本郷
チール全身麻酔法	矢崎 正	一・八〇	一六〇	齒科科學報社	神田
局部義齒の分類と設計圖	川上 政雄	一・〇〇	一〇〇	齒科科學報社	神田
齒科補綴學全集三	三浦謙之助	一・五〇	一五〇	齒科科學報社	神田
三浦診斷學第二輯	須野 敏夫	一・三〇	一三〇	金原商店	同

(ウ) 其他臨床法

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
打診と聽診	八田善之進	二・三〇	一六〇	金原商店	本郷
臨牀皮膚科學	谷村 忠保	一・五〇	三〇〇	克誠堂	同
人體寄生虫病診療の實際	田邊 操	二・八〇	三三〇	南山堂	同
精神病学提要	三宅 鐵一	一・六〇	三〇〇	同	同
臨床寄生虫卵圖譜	高橋操三郎	一・三〇	一三〇	金原商店	同
彩色幼兒糞便圖譜	室橋 民衛	一・五〇	一五〇	同	同
輸血の實際	熊谷藏之九	一・四〇	一四〇	鳳鳴堂	本郷
輸血法講習録	齋藤 眞	一・八〇	一八〇	三菱二十一號館	豊町
臨牀放射線學	外二名	一・八〇	一八〇	斷ミ治瘰社出版部	同
臨牀外科産科婦人科腹部觸診の實際	中泉 正徳	一・八〇	一八〇	金原商店	本郷
臨牀紫外線療法	岩男 督	一・五〇	一五〇	同	同
扁桃腺病學	藤田 宗一	一・八〇	一八〇	南山堂	同
淋巴醫法概観	細谷 常一	一・三〇	一三〇	金原商店	同
淋巴醫法概観	山本 常一	一・三〇	一三〇	山縣病院	大阪

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
病理解剖より見たる主要疾病	柏木 正俊	一・八〇	一八〇	金原商店	本郷
淋巴學論と其療法	壺色 春峰	一・五〇	一五〇	淋巴醫法講習會	神戶
淋巴管病原論	和野 潤	一・〇〇	一〇〇	心靈科學會	渋谷
血液及血液病上卷	和田 潤	一・〇〇	一〇〇	同	同
血液及血液病下卷	同	一・〇〇	一〇〇	同	同
腫瘍と内分泌	森 茂樹	一・〇〇	一〇〇	熊本醫科大學	熊本

(四) 醫事・醫藥

(ア) 藥學・藥事

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
世界藥學史索引	ラッナルス エツチ	一・八〇	一八〇	厚生	同
簡明藥理學	久保野 十四夫	一・五〇	一五〇	金原商店	本郷
藥品配伍禁忌	杉井 善雄	一・〇〇	一〇〇	南江堂	同
増補醫藥獨語教程	西大路隆憲	一・〇〇	一〇〇	竹中書店	牛込
藥學獨文集	齋藤 基	一・八五	一〇〇	竹中書店	牛込
藥學分析法	山下 泰明	一・八五	一〇〇	金原商店	本郷
實際調劑學	鈴木 文亮	一・〇〇	一〇〇	甲榮社	小石川
附藥局製劑	横田 敬三	一・八〇	一八〇	藥劑誌社	豊島

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	所住
臟器藥品化學	緒方 章	一・五〇	一五〇	南山堂	同
藥品液菌學	松本 孝一	一・三〇	一三〇	同	同
藥學理論化學	山本 博人	一・五〇	一五〇	前野書店	牛込
改正増補製藥化學上卷	下山順一郎	一・五〇	一五〇	同	同
臨牀藥物十講第一卷	林 良材	一・〇〇	一〇〇	日本新藥會社	京都
藥事必携	三木 一義	一・〇〇	一〇〇	川島印刷所	岐阜
關東廳令麻酔劑取締規則	井上 周吉	一・〇〇	一〇〇	功文社	神田
皮膚科尿道科藥方鑑	土肥 章司	一・六〇	一六〇	南江堂	本郷
麻藥取扱の栞	正村 要藏	一・五〇	一五〇	伊藤幸次郎	大阪
異名類似新藥對照便覽	調 源太	一・三〇	一三〇	春陽堂	日本橋
新藥詳解追録第九輯	井上廉太郎	一・五〇	一五〇	醫局及藥局社	大阪
内外新藥文獻抄	明智 一雅	一・〇〇	一〇〇	神養不老會	渋谷
傷寒論國字解	赤木滿洲雄	一・〇〇	一〇〇	道修藥報社	大阪
日本藥局方新舊異同對照備考	鬼頭武襄甫	一・〇〇	一〇〇	濟文閣	杉並
治驗應用第五改正	清水藤太郎	一・〇〇	一〇〇	日本藥報社	牛込
藥局方概論	同	一・〇〇	一〇〇	同	同
第五改正日本藥局方便覽	同	一・〇〇	一〇〇	同	同